

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)		家電量販店（経営者）	・加湿器、空気清浄機、巣籠り需要の調理家電などの販売は引き続き堅調に推移することが見込まれる。新型コロナウイルス感染拡大が鎮静化すれば、景気は一層良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する年末年始の感染対策が奏功し、2月の流水を中心とする冬季観光の需要が回復することを期待している。当地では2月からLCCが新規就航する予定となっており、既に宿泊助成などの施策も発表されていることから、新規路線就航を春～夏の観光需要拡大につなげていくことが期待される。
		通信会社（企画担当）	・例年であれば、新入学や就職に向けて、通信端末の販売が大きく動く時期であり、今年は通信料金の大幅値下げの効果も期待できることから、集客及び販売量の増加を期待している。
		住宅販売会社（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始される時期が近づいてくることになる。年明けからは治療薬などもどんどん開発されてくると期待していることから、先行きへの期待も込めて景気は少しずつ良くなる。
		商店街（代表者）	・Go To Travelキャンペーンなどの施策効果よりも、ワクチン接種の開始時期や治療薬の開発状況、当地の感染者数の動向によって景気が左右されることになる。当地における感染者数がゼロになる日が頻発するようにならない限り、景気回復は望めない。
		商店街（代表者）	・ワクチンの効果が現れるのは早くとも初夏以降になるとみており、まだまだ油断のできない状況が続く。この年末年始の我慢とワクチンの相乗効果での早期収束を願うばかりである。新型コロナウイルスの収束に先行きが見えない限り、経済対策を打っても効果はないと断言できる。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・依然として新型コロナウイルスの収束が見通せない状況下にあるため、今後も景気は変わらない。
		百貨店（売場主任）	・気温が上昇し始める来春までは、現在のような新型コロナウイルスの感染状況が続くとみられるため、今後も景気は変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・例年2月に開催されている大規模イベントの中止が決定したことから、景気が上向くのはまだ先になる。このままの厳しい状況がしばらく続く。
		百貨店（営業販促担当）	・例年インフルエンザが流行する期間は、新型コロナウイルスの影響が続くとみられるため、今後も景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・各種イベントも中止が相次いでおり、急激なトレンドの回復は見込めない。ワクチンの状況によっては、景気回復が見込めるが、早くとも来春以降になるとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・巣籠り需要と来客数減少の影響があるため、全体的には平均的に推移するとみられる。
		コンビニ（店長）	・20時以降の来客数が回復してこない。飲食店が通常営業できるようになるまで、現在の状況が続くことになる。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の受注について、12月も引き続き前年の水準を上回っていることから、この傾向は当面続く。コロナ禍のなか、パーソナルな移動手段である乗用車の需要に底堅さが感じられる。
		乗用車販売店（経営者）	・よほどの変化がない限り、当面、今の状況は変わらない。
	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが騒がれれば騒がれるほど、マインド的に自粛の動きが強まってしまうことになる。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていた7～10月は景気も上向き傾向にあったことから、新型コロナウイルスが収束して初めて景気の底がみえてくる。今はまだ厳しい時期であるため、今後も厳しいまま変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・期末ボーナスが前年よりも減っている客が多いため、今後必要な商材しか購入しないとみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・年末年始における新型コロナウイルスの感染状況次第である。1月の状況によっては景気が悪くなる恐れもある。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は上向き傾向になりにくい。ただ、店舗の努力によっては、売上を若干上向かせることはできるとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・冬期間は厳しい状況が続くと見込まれる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンが再開され、地方自治体による観光支援事業が始動することになれば、景気の回復が見込める。ただ、今のところは景気がどうなるか判断できない状況にある。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されていることから、今後の景気回復に向けての明るい兆しは余りみられない。
		旅行代理店（従業員）	・現在が最も需要のない状況であり、これ以上の悪化は考えられないことから、景気は変わらない。主力となる企業や組織の団体旅行の実施は、現状のような新型コロナウイルスの感染状況が続く限り、皆無となる。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが延長されない限り、2～3か月後も今と変わらずほとんど予約のない状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・現在の政策や医療体制などをみても、今後の景気が良くなると見込めるような状況にない。
		タクシー運転手	・静かな正月が提唱される以上、売上の好転は期待できない。特に接待の伴う飲食店の自粛要請が解除されない限り、夜間の売上は期待できないため、今後も景気は厳しいまま変わらない。
		観光名所（職員）	・Go To Travelキャンペーンでの札幌市の除外以降、来客数が一段と冷え込んでいる。全国的に新型コロナウイルスの感染者数が落ち着かない限り、観光業界は今後も右往左往する状況が続くことになる。収束に向けて、少しでも早いワクチンの接種開始が待たれる。
		美容室（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染防止対策を続け、入店制限などを実施していくことから、景気が良くなるとは考えられない。ただ、当地は都市部から離れた地域であり、感染者が大幅に増えているわけではないことから、それなりの営業はできている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの問題が収束しない限り、世の中全体の景気は悪い方向に進む。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が止まらず、医療ひっ迫が報道されているため、景気は今よりもやや悪くなる。経済低迷による企業の倒産、困窮者の増加による自殺者の激増も懸念されることから、政府の対策に期待している。
		百貨店（役員）	・現在も十分厳しい状況ではあるが、新型コロナウイルスの第3波がどのように推移していくのかが分からないことから、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がじわじわと出てきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（企画担当）	・この年末年始の帰省を始め、人の移動が今後も大きく制限されることが見込まれることから、景気はやや悪くなる。年末商戦についても例年ほどの売上増加は期待できない。
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスでいろいろ騒がれていることで、今後、中小零細企業の経営が回らなくなる可能性が高いことから、一時的かもしれないが、最悪の状況が見込まれる。年明けの感染者数が相当増えることになれば、食べることを多少我慢してでも巣籠りすることが考えられるため、社会全体での景気はますます悪くなる。景気が良いといわれる食品小売業にとっても、買上点数の減少が見込まれるため、大きな影響が生じ、前年を下回ることになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（役員）	・中途社員の募集を行うと、新型コロナウイルスの影響が長引いているせいか、飲食業からの応募者が急増している。新型コロナウイルスの影響により、これから失業者が本格的に増加することが懸念される。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着く可能性もあるが、取引先が倒産する可能性が高いことから、売上の減少幅が大きくなることを懸念される。
		コンビニ（エリア担当）	・12月についてはクリスマスや年末年始の需要があったことで、景気が少し上向いているようにみえるが、2～3か月後になると、そうした需要も見込めなくなるため、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店員）	・自粛ムードが強まっていることから、今後の来客数の増加は期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響もあるが、例年、当業界では1～2月の市場規模が小さくなるため、その影響を心配している。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・景気が落ち込んでいるため、そろそろ当店にとっても悪い影響が出てくることを懸念している。特に漢方薬の原料が高騰し始めていることが気掛かりである。
		高級レストラン（スタッフ）	・ある友人の店で、客の家族が新型コロナウイルス感染を疑われた。その店では、2週間の経過観察の期間中も、営業停止になることはなかったが、開店していても噂で客が来なくなり、食材ロスと人件費でかなりの痛手を被ったようである。地方の飲食店のなかには、例年並みの売上で頑張っている店もあるが、こういったことが続くと、今後の景気回復は望みにくい。また、飲食店の求人募集も増えてこないため、当分の間は回復の見込みもない。年末年始の営業を自粛するなどして、Go To Travelキャンペーン再開がされるまで、どうにかして生き延びたい。
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの感染抑止が見通せず、1月11日からのGo To Travelキャンペーンの再開も期待できない状況にあることから、利用者の減少はしばらく続くことになる。当施設では2月末まで営業時間を更に短縮して耐えることを決めた。
		美容室（経営者）	・成人式の予約が全てキャンセルとなったほか、新年会などの各種イベントも中止となっていることで影響を受けている。また、卒入学式も不透明な状況であり、当分の間は景気が上向くことはない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスについて、北海道内での再度の感染拡大も懸念されることから、ワクチン接種が始まらない限り、現在と同様の状態が続く。
		住宅販売会社（経営者）	・雇用情勢の悪化により、客の所得が相対的に低下するとみられることから、分譲マンションの需要は低迷することになる。
	×	商店街（代表者）	・周りの店舗の状況を見ると、特に飲食店が悲鳴を上げている。新型コロナウイルスについて、現在の状況が続くことになれば、回りまわって全体的に倒産、廃業が増えてくることになり、景気がますます落ち込むことになる。
	×	商店街（代表者）	・今後については、オフシーズンとなるなか、新型コロナウイルスの影響が懸念されることから、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・1年で一番の繁忙期を失ったことから、廃業を決断した店舗が多くみられる。間もなく年末を迎えるが、年明けに大量の倒産、廃業が生じるとみられることから、年始の状況が心配される。Go To Travelキャンペーンの恩恵を受けている観光業界については、今後の見込みもなくなり、ひん死の状態である。北海道は他地域よりも経済の衰退が深刻であり、他地域とは別の支援体制を組まない限り、経済の復活は不可能である。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後、2～3か月間は新型コロナウイルス感染者数の減らない状況が続くとみられ、Go To Travelキャンペーンを再開したとしても、マインド的に観光客がすぐに増えることにはならない。効果が現れるまで時間が掛かることになるため、Go To Travelキャンペーン事業が始まった頃と比べると、キャンペーン再開の効果は限定的なものになるとみられ、今後の景気は厳しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大について、収束する兆しが見えないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの先行きについて、見通しが立たないことから、今後の景気は悪くなる。ワクチンなどにより、新型コロナウイルスの影響がなくなるめどが立たない限り、景気が上向くことにはならない。
	×	衣料品専門店（店長）	・売上が厳しいだけでなく、キャッシュがひっ迫していることで、冬物の高単価商材の支払についても非常に厳しい状況にある。春の新作を投入する余裕もなく、コロナ禍を脱却できたとしても大きな売上回復は期待できない。
	×	高級レストラン（経営者）	・当地のような地方都市においても新型コロナウイルスの感染が広がっている。このままでは飲食業は終わると身をもって感じている。感染が収まらない限り、このまま潰れていく飲食店が多く出てくることになる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長期化していることから、今後の景気は悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大について、収束のめどが立たない。今後、どのような施策を行ったとしても、人出が増えたと感染者が増加し、感染防止対策で往来自粛の要請が出されると人出が減るといったことを数か月周期で繰り返すことが見込まれる。新型コロナウイルスに対する特效薬が出てこない限り、今後も景気の悪い状況が続く。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまで、現在のような状態がずっと続くため、景気が良くなることはない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・先々の見通しが立たないことから、大幅に旅行需要が減退している。メディアや医師会を中心とした情報発信も正確性を欠き、科学的な情報ではなく、感情論で世論が動いている。今後2～3か月は旅行会社、オンライン・トラベル・エージェント、直予約含めて予約が全くなく、北海道は元より日本の観光産業にとって最も厳しい試練の期間となる。景気が上向くような要素がみじんもない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が収まるまで、今の状況は変わらないとみられることから、タクシーの利用が減少したままの状況が今後もしばらく続く。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対して有効なワクチンが開発され、全国民への接種が完了するまで、経済の回復は見込めない。景気が回復するまで、今後1年以上の期間を要することになる。
	×	タクシー運転手	・年末年始を迎えるが、新型コロナウイルス対策として外出自粛要請が行われたこともあり、今後の景気は悪くなる。初詣に出掛ける客も激減することになる。
	×	タクシー運転手	・当業種は全体的な景況感に左右されることから、新型コロナウイルスが収束しない限り、どうなるか分からない。とにかく景気が良くなる兆しは一向にみえず、厳しい状況に変わりはないことから、来年も厳しい年になる。
	×	タクシー運転手	・正月の外出自粛要請があり、Go To Travel キャンペーンも1月11日まで一時停止され、どうみん割も同じく休止となっていることから、今後の景気回復は見込めない。また、当地では大手企業の撤退が発表されたことから、経営の先行きが不透明であり、不安が募る。いち早いワクチンの接種開始が望まれる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの変異種による感染が確認されたことで、今後の状況がどんどん悪くなることが懸念される。
企業 動向 関連  (北海道)		-	-
		輸送業（支店長）	・鋼材や建材について、今後の予定が入ってきていることから、景気はやや良くなる。
		食料品製造業（従業員）	・受注が増えるような案件が特に見当たらないことから、今後も景気は変わらない。
		食料品製造業（従業員）	・前年に行った価格改定以降、販売量が減少しており、現時点で回復の見込みが立っていないことから、今後も景気は変わらない。
		家具製造業（経営者）	・今のところ、新型コロナウイルスのワクチンの効果などははっきりしていないこともあり、今後については予想し難い状況にあるが、景気が現状から大きく変わることはない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・今後については、冬の積雪寒冷期であることに加えて、年度末を控える時期であることから、工事の稼働は低調に推移する。新規案件については、土木工事で3次補正、翌債、ゼロ国債などの発注が始まることになるが、建築などの民間工事については、新型コロナウイルスの影響で例年よりも工事が落ち込むことが見込まれる。
		建設業（役員）	・公共工事の来年度予算が今年度並みに確保される見通しであることから、一定量の公共土木工事の受注は期待できるが、新型コロナウイルスの影響で民間設備投資が抑制されることになり、民間工事の受注見通しが立たないことから、今後も景気は変わらない。
		コピーサービス業（従業員）	・現在と同様の状況がしばらく続くことになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況にもよるが、景気は大きく変わらずに推移する。
		金属製品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、業績が悪化している企業、個人事業主が多くなっている。個人所得もこれから減少する傾向が現れると見込まれるため、今後の景気は悪化する。
		建設業（従業員）	・慢性的な労務者不足に加えて、新型コロナウイルスの影響で工事の遅延がみられること、公共工事も含めた新規着工工事の建設単価が予算と折り合わない状況がみられることなどから、今後、建設不況となるおそれが出始めている。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束に向けた道筋や時期がはっきりと見通せないことに加えて、実体経済への負の影響も明らかになってきていることなどから、企業が将来に向けた投資に消極的になることが見込まれるため、この先の景況感はやや悪くなる。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス対策としての政策効果による下支えは期待できるものの、足元での新型コロナウイルスの感染再拡大に伴って、悪化基調にある雇用環境、所得状況、企業業績などが、道内景気を下押しすることになるため、3か月後の道内景気はやや悪くなる。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、国内及び世界中に行き渡らない限り、今後も景気は下向きことになる。それと併せて新しい生活様式や業務の進め方を作り上げていくことが必要であり、それらを国が主導して行わない限り、今後の景気回復は難しい。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、政府も静かな年末年始をと呼びかけたことから、経済活動の多くがストップした状態が続いている。新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるのは2月後半が3月と見込まれることから、それまで景気が回復することはない。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・新しい案件の話が出てこないことから、今後の景気はやや悪くなる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しないため、観光を中心とした景気対策に大幅な遅れが生じることになる。建設投資も民間を中心に慎重姿勢が強まることになり、今後の景気はやや悪くなる。
	x	-	-
雇用 関連  (北海道)		-	-
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年比マイナス8.2%、月間有効求人数は前年比マイナス15.5%となっており、いずれも減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で停滞している経済活動が回復することで、徐々に復調することが見込まれる。ただ、需要が低迷している一部の業種については、不安定な状態が継続しており、当面現在の水準のままで推移することになる。
		人材派遣会社（社員）	・サービス業が中心の北海道においては、業績回復の兆候がみえないことから、企業はどうしても慎重にならざるを得ない状況にある。また、景気回復に向けての企業の積極的な動きもみられないことから、しばらく景気は停滞することになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・建設業及び運輸通信業の新規求人数が前年を上回ったが、新型コロナウイルスの影響からの持ち直し傾向がみられた飲食業の新規求人数に再び減少傾向がみられることから、今後も景気は変わらないまま推移する。
		職業安定所（職員）	・今よりも景気が悪くなるとは考えていないが、それほど良くなる要素もないため、今と変わらない水準で推移する。若干上向き可能性もあるが、大きな改善までは見込めない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・国の新型コロナウイルス対応のまずさや、企業への支援策が後手後手となっていることが目立っていることから、先行きへの不安感が強く、大学生の就活にも大きく影響している。現在も国の対応を不安視する企業が多いため、今後も景気は変わらない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響は地方都市の小売店や飲食店にも及んでいる。経済活動へのダメージが計りしれない状況となっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加している傾向にあることから、先行きが見通せない状況にある。道内景気を押し上げるには、感染者数の激減が必要である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・外出自粛や営業時間短縮によって、企業側の体力が徐々に奪われていることから、今後の景気はやや悪くなる。1年の中で一番の稼ぎ時である年末年始に、通常期よりも売上が減少した影響は大きく、精神的な部分も含めてダメージが大きいとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当地で毎年実施されている冬の一大イベントについて、早々に中止が決まったこともあり、巣籠りライフがこのまま継続、深化していくことが見込まれる。それに伴い、購買行動もWebにシフトすることになれば、地元での消費活動が冷え込むことになる。
	x	*	*

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)		-	-
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が大きくなってきている状況のなかで、外食を控え、スーパーで買物をする人が更に増すと予想される。
		コンビニ（経営者）	・年末に向け、新型コロナウイルス感染のピークに向かおうとしているが、年末年始の自粛要請で時は越えられるのではないかと。そもそも客単価や購入点数はある程度安定しているため、あとの問題は街に人が戻るかだけである。2～3か月先には若干なりとも来客数は増加するとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・巣籠り需要継続により、デザート、総菜、冷凍食品等の売上改善が見込める。また、2月で新型コロナウイルスの影響が1周する。影響が出始めた初期の日販減少が大きかったため、前年比では大きな改善が見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・積雪量にも影響されるが、毎年イヤーモデルチェンジもあり、宣伝も増え決算期に向けた活動をしていくため、現状よりは上向きになり新規客も増えると予想している。
		旅行代理店（従業員）	・12月下旬～1月上旬の自粛により、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少したとしても、第4波、第5波等の感染者の増加も想定されることから、V字回復することは想定できない。しかしながら、Go To Travelキャンペーンが6月まで延長されることにより、観光業及び運輸業はもちろん、農業、水産業等の関連する業種の景気もやや良くなるとみている。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス時期なので景気は良くなる。
		観光名所（職員）	・ワクチンの接種が始まり、効果が現れれば活動も活発化するとみている。
		住宅販売会社（経営者）	・後継者のいない法人所有不動産の買取り依頼が数社あり、更地分譲予定がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・できるだけ外出をしないで自宅で食事をするような形が広まっており、外出をやめたり、自宅で仕事をしたり、自宅にいる時間が多くなっている。したがって、食品スーパー、食材の店舗は前年を上回っているが、飲食店はまだまだしんどい状況が続いている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でワクチンが打てるようになるまでの間は、高齢者になればなるほど外に出ない。また、子供が休みの期間も年末年始も自宅から出ない気がしてならない。消費マインドといったレベルではなく、健康不安のために買物に出るのを控える傾向にあるようなので厳しい。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスで業種によっては極端な悪影響が出ており、それが経済全体に波及してくることも考えられる。一方、株価が上がっており、その背景に金融緩和がありそうなので、インフレに向かう力が出てくれば、それが上述のデフレ圧力ときつ抗しそうである。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・年度末に向けて予約もなく、商品の需要が期待できない。非常に厳しい。
		百貨店（売場主任）	・当面は景気が上向く要素が見当たらず、変わらない状況が続くと予想される。
		百貨店（営業担当）	・年度の替わり目で歳時やイベントの増える時期であるが、新型コロナウイルス感染対策も定着しており、以前のような規模感は見込めない。また、現在のトレンドからも入店客数の回復は見込んではいない。
		スーパー（経営者）	・年末の帰省も期待できず、来客用の需要が見込めない。雪祭りなどの行事も中止となり、現状の自粛ムードから好転しないとみている。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス感染が拡大しており、身の回りの状況も変わっていない。先がみえないだけに、食品小売業に関してはやや好景気の状態が続くとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数もだんだんと増えてきているので、2～3か月後の景気も悪いままで、かなり厳しい状況が続くとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍が続く見込みで、帰省、行楽客増加の予兆はない。
		コンビニ（エリア担当）	・自粛期間が延長、強化されることで人の動きは悪くなるとみられ、今後も景気は悪いまま継続していくと予測される。
		衣料品専門店（経営者）	・ギフト商品は冠婚葬祭が著しく減少し、商品の動きが皆無の状態である。また、法人関係のお歳暮と作業服等の動きも鈍い。
		衣料品専門店（店長）	・バーゲンセールニーズで初売りはそこそこ来客があるとみている。しかしその後は、新型コロナウイルスの感染状況を考えると、仕事ニーズでの衣料はなかなか動かないのではないかと悲観している。
		衣料品専門店（店長）	・現状では消費者の買物マインドが上がってくるとは考えにくく、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくるまでは先行きが見えない。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため、現状が続くとみられる。
		家電量販店（店長）	・コロナ禍における自粛が更に進む可能性があるため、予想が付かない。
		家電量販店（従業員）	・コロナ禍のなかでの営業で少し良くなっている部分があるものの、必ず反動が出るので、反動減が大きくなると予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・いつもは新型車が発売されればすぐに販売量が伸びるが、今回は新型コロナウイルスの影響があって余り伸びない。
		乗用車販売店（従業員）	・11月以降の受注に陰りはあるが、3月までは何とかしのぐことはできるとみている。
		乗用車販売店（本部）	・例年、初売りが大きく販売台数、収益に絡んでくるが、現下の新型コロナウイルスの状況を鑑みても前年以上の出は見込めない。
		住関連専門店（経営者）	・受注いただいている分を納品していくが、受注残があるため、この先2～3か月は金額、数量共に現在と変わらない。
		住関連専門店（経営者）	・月の売上が比較的小さい店舗なので、売上自体は余り変わらないとみている。新型コロナウイルスの状況次第だが、それもはっきりしないので、同じような状態で推移していく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔靴〕 (従業員)	・新型コロナウイルス感染者が発生すると、近隣の商業施設の集客に影響が出る。新型コロナウイルス次第である。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	・今の状況のままであれば悲観的にならざるを得ない。多少なりとも動きが活発になるとみているが、それにしても大きな動きとはいえないだろう。今後は倒産や廃業なども増えていくことが予想される。まだまだ新型コロナウイルスの影響で経済が悪化していく可能性も否定できないなか、良い要素はほとんどない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・新型コロナウイルスへの警戒が再び強まっているので、良くなるまではいかず、現状維持とみている。
		観光型旅館(経営者)	・新型コロナウイルス感染の状況次第で変わるが、Go Toキャンペーンが再開しても、控え目な動きとなるのではないかとみている。
		タクシー運転手	・客の話では、人事異動は現時点で前年の60%程度しかないと聞いている。新型コロナウイルス感染が収束しない限り、ビジネスマンの歓送迎会などの実施もないため、売上は伸び悩む。
		通信会社(営業担当)	・改善に向かう材料に乏しい。
		通信会社(営業担当)	・加入促進キャンペーンの効果が出ており、今後も格安プランのメニュー展開や携帯電話サービスとのコラボ商品などを展開していく。現在好調なサービスだが、年度末に向けても好調を維持していくことが予想され、加入者増加も期待できる。
		通信会社(営業担当)	・良くなる要因が見当たらない。
		その他住宅〔リフォーム〕(従業員)	・住宅設備機器は、暖房用器具の購入並びに設備交換の問合せが増えている。リフォームは、冬の時期は屋外工事が減る見通しである。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕(従業員)	・住宅購入検討者が明確に感じるメリットが少ないため、契約数は現状のまま推移するとみている。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大が広がれば、来場者数は減少するため、3か月後の成約棟数にも影響が出ることを予想している。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルス感染が冬場に掛けて増加傾向にあり、外出や外食を控える傾向にあることから、消費が落ち込む見込みである。
		商店街(代表者)	・1月に入ると閉店する飲食店が増加することが予想される。
		一般小売店〔医薬品〕(経営者)	・今年は新型コロナウイルスに始まった。業態としてはコロナ需要で大きく伸び、売上は前年の130~140%はいつている。その分来年は多少なりともへこむことが予想される。ただ、客の動向をみると相変わらず出てきているので、来客数は変わらないが、販売量、客単価の面で影響が出てくるとみている。
		百貨店(買付担当)	・当月は少し持ち直したが、引き続き新型コロナウイルスの感染状況に左右されるとみられ、全く読めない。
		百貨店(経営者)	・新型コロナウイルス感染者数の増加、本格的な寒さの到来とともに来客数が減少するのは否めない。一時的な支援策も一通り出尽くした感じがあり、少なくとも春までは、消費者心理が活発に動くことは考えにくい。今やれることを地道に実施していくだけである。
		スーパー(経営者)	・1月はコロナ禍でも株価の推移が堅調と聞くが、実績、裏付けが希薄で、消費への良い影響は余りないものとみている。新型コロナウイルスの変異種含め、感染の拡大傾向が続き、ステイホーム、不要不急の外出自粛要請も強いので、消費活動の停滞、減少は続くものとみられる。倒産件数も増えているようなので、雇用調整、可処分所得の低下等が更に強くなることを懸念している。
		スーパー(店長)	・コロナ禍もあり、微妙に客の増減がある。今後もこの状況はまだまだ続きそうである。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、感染者数が減少してくれば、客単価、売上も現在のような好調な推移は見込めなくなる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（営業担当）	・現在の来客数の落ち込みは続く。さらに、飲食店や企業の業務縮小や倒産等によって収入が減少することで、食品の節約、来店頻度と購買金額の伸び悩みが起こることが懸念される。景気は厳しくなるとみている。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加してGo Toキャンペーンも一時停止となり、経済の停滞が懸念される。大雪の影響も予測され、不安しかない。
		コンビニ（経営者）	・特に夕夜間の来客数の減少に歯止めが掛からない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息ははるか先の話である。さらに、季節要因も追加され、売上減少が懸念される。
		コンビニ（店長）	・東京の感染拡大が止まらない状況なので、当地に仕事で来る客も減っている。観光も駄目、催事もなしということになってくると、しばらくの間は来客数が落ち込む状況が続くのではないかと予想している。業界によっては倒産に追い込まれる会社が増えてくるということで、当地における見通しはますます暗い。
		衣料品専門店（経営者）	・セールがスタートするが、帰省客の購買が見込めない分、売上が減少すると予測される。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスによる自粛ムードが全国で広がり、当県にも大きな影響を及ぼしているため、景気が悪化し、自店にも反映されると予測している。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で給与やボーナスがカットされ、客の購買意欲が低下している。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
		住関連専門店（経営者）	・来客数の減少が見込まれる。
		その他専門店 [ ガソリンスタンド ]（営業担当）	・今後更に移動需要が減少し、それにより燃料油の販売量も減少するとみられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・年末でも会食がかなり少なく、この先も見込めない。当社の重要な客層である60～70代がより外出や食事を控えている。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの変異型が出てきたということなので、今後それが広まったりすると、人々の恐怖感がまたあおられ、経済は回らなくなっていくのではないかと祈っている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・Go Toキャンペーンの延期に伴い一時的に下振れする。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止により、対象期間外でも取消しが発生しており、新規申込みも停滞してしまっている。それにより、観光業を取り巻く様々な業界においては、今以上に深刻な状況に陥ることが想定される。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の第3波の状況も更に悪化しているなか、良くなる条件はない。Go To Travelキャンペーンの停止が長引けば更に悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・本格的な冬の時期となり、新型コロナウイルスの感染者数が増加する傾向にある。ワクチン投与により沈静化するであろうが、向こう1～2年は景気の向上は期待できない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない。ますます売上が下がる見通しである。
		通信会社（営業担当）	・新しいプランの開始に伴い、店舗を利用する客が減少することが予想される。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大やGo To Travelキャンペーンの一時停止に伴い、先行きがかなり不透明となっている。
		競艇場（職員）	・1月は新規客数が伸びるが、それ以降になると段々と落ち込んでくる。販売促進やイベントを行ってもなかなか人が集まらないのが現状である。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染は現時点では拡大しつつある。また、客は慎重になっており、不要な外出はしないという流れになっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・Go Toキャンペーンが中断されて、少し戻りつつあった景気が再び冷え込んでいる。来年に入ってもこの傾向が続くことを懸念している。
	×	商店街（代表者）	・今月から春先に掛けて、倒産や閉店、解雇が顕著になってくるようなので、消費は伸びない。
	×	商店街（代表者）	・自粛の年末年始で景気の回復は望めない。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・12月28日～1月11日までGo To Travel、Eatの両キャンペーンが停止になっている。また、新型コロナウイルスの感染者数が非常に増えていることを考えると、景気は悪くなる一方である。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・やっと状況が好転し始めた矢先の逆戻りの影響が余りにも大きい。ここまでは何とかやってこれたがこれ以上は耐えられないと嘆く客も多い。この状況が続けばどんどん苦しくなる一方である。
	×	スーパー（経営者）	・コロナ不況がすぐそこにあり、刻一刻と近づいている。消費税転嫁対策特別措置法が3月一杯で終わり4月から総額表示になることも、景気を冷え込ませる要因になる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスは収まってきたが、今年は雪が降るなど天候が残り良くないので、まだまだ悪くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・冬期間は例年も綱渡りの経営だが、今年は更に新型コロナウイルスの影響で来客数、売上も下がっている。2月は営業日も少なく、1年で最も売上の下がる月である。今年は本当にどうなるかわからない。長年コンビニ経営をしているが先がみえない。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため悪くなる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスは感染拡大に向かっているようなので、客商売などは大打撃を受けることが予想される。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・コロナ禍の状況が落ち着くまでは我慢するしかないと考えている。飲食、観光関連が持ちこたえられるように地元を始めとした行政に直接的な支援をお願いしたい。Go Toキャンペーン等はその後の話で、それまでに持ちこたえられるかどうかを非常に心配している。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・あと3か月はこのままだとみている。欧米のワクチン接種状況を見て、その効果や副作用の影響を鑑みて日本での接種が始まるかもしれないが、だからといって4月から回復基調になるとは思えない。夏までは我慢するしかない。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、消費に関しては非常に厳しい状況が続く。飽くまでも感染状況が落ち着くことが景気向上への前提条件になるとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収束すれば少し良くなるかもしれない。しかし、全ての業種にダメージがあるので、社会全体が回るのは難しい。しばらくは景気が悪い状況が続く。
	×	一般レストラン（経営者）	・完全に新型コロナウイルスの影響であるが、レストランに行かなくてもいいという新しいスタイルに変化していったことを恐れている。既にそういったことが発生しているのではないかと不安になっている。なかなか厳しい状況が今後も続くともみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・景気が回復するには新型コロナウイルスの終息しかない。歓楽街である当地域においても22時までの時間短縮となっているので、この解除と新型コロナウイルスが終息しなければかなり悪くなるともみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・稼ぎ時の年末が全く駄目な飲食店がほとんどだった。長い期間のマイナスをばん回するチャンスもなくなり、今後はそのしわ寄せが来ることが予想できる。いろいろな業種で同じことが発生している以上、景気は下方に進む。
	×	観光型ホテル（経営者）	・2～3月はオフ期に入り例年利用客は少なく、なおかつGo To Travelキャンペーンが利用できるかどうか様子見をしており、予約状況は前年より悪い。新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右される。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、利用は増えてはこないのではないかとみている。
	×	タクシー運転手	・周囲でも、工場の譲渡や業種転換などによる影響を受ける人が増えてきている。将来が見通せない人が増えてきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染防止対策と景気対策を同時に行うのは難しい。また、年末年始の消費需要も減るため、景気は悪くなる。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染の収束はない。収束しないと観光系の仕事は回復できない。
	×	観光名所（職員）	・Go Toキャンペーンは一定の効果が出たが、感染者数が増加するにつれて自粛ムードが漂っている。振り客の減少に加え、特に団体旅行を支えていた年配の方の自粛ムードがひどい。震災後の自粛ムードに似ているようなところもあるがそれ以上である。また、震災と違って復興というような最終的な着地点がみえない状況で、この先どうなっていくのが全く読めない。
	×	設計事務所（経営者）	・最近、新型コロナウイルスが身近になってきている。この状態が悪化すれば、自粛期間の長期化や業務の時間的な制限などにより、受注業務の増額を伴わない工期延長などが相次ぐ。また、この先に予定している案件を受注した場合には、従業員への業務負荷の増加、働き方改革の残業時間等の規制と相反する状態が生じ、人材の確保や品質の確保が難しい状況が発生することが想像できる。
企業 動向 関連 (東北)		-	-
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・業界にとっては繁忙期になるため、年度末の仕事が入り始めている。
		金属製品製造業（経営者）	・来年に向け、販売計画がプラス方向に見直されたとみられる動きが始めている。新型コロナウイルスによる影響については不透明だが、取引先は比較的楽観視しているようである。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・ワクチン接種で新型コロナウイルスの感染が収まれば、経済も徐々に回復していくのではないだろうか。
		建設業（従業員）	・コロナ禍における不確定要素はあるものの、補助金活用案件等の年度末に向けた駆け込み受注が一定量発生する可能性を考慮し、景気はやや上向くと推測している。
		通信業（営業担当）	・教育現場にてスマートデバイス端末の導入検討が増えている。また、補助金制度を活用する取引先も増えており、受注は増える見込みとなっている。
		司法書士	・地元法務局の不動産登記件数が一時前年比10%程度下がっていたが、12月末時点で5%減まで減少割合を戻している。
		コピーサービス業（従業員）	・政府の景気対策の予算に期待しつつ、希望も含めて良くなるとみている。助成金絡みの商談が増えているのは事実なので、成約率が上がるようになれば期待できる。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと人の動きが悪く、経営的にもかなり苦しい。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、販売量の前年割れとなる状況が続くとみている。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により冬季の観光需要には全く期待できない。しかし、県をまたぐ移動の自粛により遠方の知人等に対する贈答品の発送が増えるのではないかと予想している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体部品の業績は今後2～3か月の範囲では現状から大きな変化はないと予想され、身の回りの景気としても変わらない見通しである。
		通信業（営業担当）	・新規設備投資は今後の受注に大きく影響するものであり、コスト面での客との折り合いをつけるのも容易ではなく、継続して厳しい状況にある。
	金融業（広報担当）	・大手メーカー関連の製造業は一時の減産体制から脱却しており堅調推移が期待できる。一方で特に飲食業者は帰省需要が見込めないまま正月明けの閑散期を迎えることから、資金繰りにはナーバスになる。	
	広告業協会（役員）	・ワクチン接種の開始や、東京オリンピック・パラリンピックがどんな形であれ開催されるという状況になれば、ようやく明るい兆しが見える。とにかく感染者数が減少していくことを願うばかりである。	
	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波の終息次第で大きく変わる。現状の延長であれば現状と変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスによる今までにない状況なのでどのように動くか分からないが、悪くはなっても良くなるような気はしない。今の状況を見ると、今月と同じような状況が続くのではないかとみている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・まだ寒い時期が続くこともあり、新型コロナウイルス感染症の感染者数が高い水準で推移するとみられる。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・従来、住宅の新築検討は帰省などで家族が集まる年末年始に多く出るものだが、今年はそのケースが少ないようで、懸念材料とみている。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体関連は微増、一般加工は微減若しくは変化なしと、業態により若干の温度差がみられるが、総体的には現況維持である。
		農林水産業（従業者）	・農協よりりんごの精算書が届いたが、販売単価は前年より2割程度安くなっていった。後半の出荷分についても値段は余り期待できそうにない。
		農林水産業（従業者）	・12月の大雪により、さくらんぼの枝折れやパイプハウスの破損が発生し、収益低下や費用増加が懸念される。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・好転する材料は見当たらない。新型コロナウイルスの感染拡大も更に広がっており、景気の停滞感が明らかに強まっている。
		建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症のワクチンや特效薬が広く行き渡らない限り、景気状況が劇的に回復することはないと推察する。国が推進してきた各種のGo Toキャンペーンは景気へのテコ入れに寄与してきたと考えるが、感染症の第3波が到来し、キャンペーンが一時停止となったことを踏まえると、この先の景気は現状よりやや悪くなるとみている。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波は今現在も拡大しており、年が明けてからも数か月は収まらないと予測する。したがって、景気回復にはまだまだ時間が掛かることが予想される。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、先が見通せない状況が続く。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないなか、景気が良くなるイメージが湧かないのが現実である。
		経営コンサルタント	・年末年始は人が動いてこそその経済活動なので、そこに可能性を見いだせない限り、景気好転の可能性は少ない。
		公認会計士	・現状では外出抑制などの影響がまだ続くとみられ、小売、飲食、サービス業は当面厳しい状況が続く。建設関係も秋頃から売上の減少傾向が続いているので、景気はやや悪くなるとみている。
	x	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・新型コロナウイルス感染の再拡大により、1月以降の印刷キャンセルが発生している。飲食店を相手とする広告業者は広告が集まらず、チラシや出版物の作成断念が続いており、景気は一段と悪くなることが予想される。
雇用関連 (東北)		職業安定所（職員）	・自動車関連産業の動きが活発になってきたようである。当面求人を出さないと言っていた事業所が求人を出してきたり、人員を削減すると言っていた事業所がその人員削減を先送りする事例が出てきたりしている。そういったこともあり、今後多少は良くなっていくのではないかと予想している。
		人材派遣会社（社員）	・大口受注の相談が入っているが、地域性や職種等から難航が予想され、年明けの好景気にはつながらないとみている。
		人材派遣会社（社員）	・相変わらず飲食業界や旅行業界、宿泊業界は厳しいが、一方で、スーパーや建設業、IT関連などの企業は前年比アップの推移をしている。業種、業態によって差はあるが、全体的にみるとそれほど悪くない状況ではないかとみている。今後の採用計画を立てる上で、経営者と採用担当者とのやりとりのなかでの話である。
		人材派遣会社（社員）	・求人数が継続的に上昇している現在の状況が今後も続くともみている。
		人材派遣会社（社員）	・雇用の動きは新型コロナウイルスの状況が好転しないと良くなるはないため、現状維持である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の第3波により、Go To キャンペーンの一時停止などサービス業を中心に景気悪化の影響が深刻化しており、今後急激に上向き要素に乏しい。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波は、非常に大きな波で地方経済に影響を与えている。ワクチン接種の開始など世の中の大きな変化がない限り、状況としては好転しない。外食産業の復活なしに景気は上向かない。
		職業安定所（職員）	・コロナ禍の影響の少ない地域であり、大型商業施設や統合高校の建設のための作業員の宿舎として宿泊施設の稼働も順調であるが、一過性のものである。
		職業安定所（職員）	・新規求職者が増えず、良くも悪くも人の動きがない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、雇用保険受給者実人員が増加し続けている。就職件数は前年同月比で連続して下回っているものの、5月の緊急事態宣言解除後は就職活動に動きが見られ、徐々に減少幅が小さくなってきている。
		人材派遣会社（社員）	・年明けの新型コロナウイルス感染状況によるが、感染拡大が抑え込まれる見通しもなく、良化する要因も見当たらない。
		アウトソーシング企業（社員）	・コロナ禍が収まる見通しが立たない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・当地の景気を占うといわれる初売りは、コロナ禍で2日集中を避け、前後に振り分けて予約制を取るなど、専門店そのほか、個々によって対応が変わってきている。前倒しの予約は福袋中心に好調なようだが、2日以降は全くみえず、デパート、専門店共に不安と期待が交錯している状態である。先がみえない点を踏まえると、コロナ禍が収まらない限り難しい状況が続く。
		職業安定所（職員）	・求人数の動きが見通せない。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は鈍化し悪くなっている。
	×	人材派遣会社（社員）	・恐らく東京オリンピックも中止になることから、多くの面で悪化傾向になることが予想される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は続く。

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)		-	-
		家電量販店（店長）	・東京オリンピック景気等で、やや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・久しくお金を使わず、動いていない期間が長いので、ある程度お金を消費する時期に入るのはないかと思っている。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの開発が進んでいることもあがるが、感染状況に対する慣れもあり、自粛に我慢ができなくなってきているように感じる。どこにも旅行に行けないから、食事くらいは良い物を食べたいという声も多い。
		旅行代理店（所長）	・全てはGo To 次第としかいえないが、やや良くなるのではないかと。
		通信会社（局長）	・来客数は増えていないが、広告収入は前年並みに戻りつつある。
		競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上が伸びているからである。
		美容室（経営者）	・生活習慣の変化を的確に察知し柔軟に対応すれば、新型コロナウイルス禍を乗り切れるめどがついてきている。正にピンチはチャンスである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが頼みである。当分は我慢の継続ではないか。人の往来ができるようになれば、元気になるかもしれない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が継続するなか、より外出自粛の傾向が強くなる。また、積極的な集客策を講じることも難しく、景況回復には至らない。
		コンビニ（経営者）	・12月下旬で店の前面道路工事は終了した。交通量の減少は止まるとみているが、正月休暇を2週間と長く取得する企業もあり、1月は仕事始めが中旬以降となる予定である。新型コロナウイルスの影響を加味すると、1月への期待は薄い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・当店の商圏内にあった市役所が商圏外に移転したため、来客数が減少している。この影響は、これ以上はひどくならないだろうと期待している。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大第3波が来ても、それほど売上が変わっていないので、この先も変わらないのではないかと。
		衣料品専門店（統括）	・毎年10月でみこし、山車の祭りが終わる。今年は前年の90%ダウンする月もあった。本来なら、これから年始に向けて良くなる時期であるが、何とか前年並みの販売量は確保できた気がしている。
		家電量販店（店員）	・巣籠り需要が続けば、生活家電を中心に好調が期待できる。
		家電量販店（営業担当）	・前年は自粛の動きがあり、家電製品の売上が非常に良かった。パソコン関連商材、調理家電等の動きが良かった分、反動が予測できるので、今後は前年実績確保が課題となる。
		乗用車販売店（販売担当）	・良くなる要素も悪くなる要素もない。来客数が極端に少なくなっているため、良くなるとは思わない。
		乗用車販売店（販売担当）	・全国的に同じような答えだと思うが、2～3か月先に新型コロナウイルスのワクチン接種ができるということだが、接種してからある程度の時期がたたないと、落ち着いて商売もできず、人の往来もない。現時点では2～3か月先のことは全く読めない。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの収束のめどが立たないため、変わらない。
		住関連専門店（仕入担当）	・年末年始を含め当面は、自粛若しくはそれに準じた行動パターンになる。消費者の傾向は変わらず、生活品は節約傾向、時間の過ごし方は、近くに少人数でといったパターンのほかで、余暇の過ごし方を考える生活が続く。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、「家ナカ」消費へ傾いている。一方、当地では山沿いで大雪となり、必要な商材を客が購入しているため、寒さも続けばと願っている。しかし、正月の初売りを自制する傾向があり、マイナス要素が増えている。総合的にみると、変わらないか少し悪くなるかもしれない。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの状況によるので、正直何とも言えない。
		観光型ホテル（経営者）	・このまま、新型コロナウイルスの流行が収まらないと、非常に悪くなる。しかし、収まれば確実に好転することから、今のところ予想が難しいので変わらないとしている。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの終息が見えてこないため、変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大が沈静化するとは思えないため、変わらない。
		通信会社（経営者）	・コロナ禍の特需がどこまで続くか不透明である。
		通信会社（総務担当）	・変わらないとしているが、新型コロナウイルスの影響次第なので予測は困難である。
		設計事務所（所長）	・仕事が動き出してきたものの、新型コロナウイルスの感染も拡大しており、今後の予想をしにくい。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着く見込みが立たない限り、変わらない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響が増大しており、先行きにかなり不安がある。来客数が改善されない限り、苦しい状況に変わりはない。
		百貨店（営業担当）	・今後の新型コロナウイルス感染の拡大や長期化にもよるが、衣料雑貨の需要回復はまだしばらく先で、今後も苦戦傾向が続くと予測している。
		スーパー（商品部担当）	・Go Toキャンペーン、地域経済政策等、消費拡大の兆しも見えたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、先行きが見えない。また、客の消費傾向も薄れている感じがする。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が更に拡大すると想定すると、今以上に自粛期間が延び客の外出も減ると思うので、悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・ここへきて、新型コロナウイルスの感染拡大がひどくなっている。消費者は、家で静かにしていることが安全ではないかと考えている。今年は、クリスマスも年末年始の雰囲気も全くない。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・今の状況が続くとみており、減少傾向で推移する。受注残も減少している。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まるとは思えない。年末年始に人が移動し、更に感染が広まれば外食する人が減少すると予想する。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスやインフルエンザの流行は、これからののではないかということ、寒さが厳しくなると新型コロナウイルスの流行がなくても、売上は良くないため、やや悪くなる。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルス感染者の増加が続いており、特に、レストラン部門ではテイクアウトや宅配等の対応を強化しても、来店客が戻らず、当面は厳しい状況が続く。事業所給食部門でも、リモートワークの活用等により、改めて職場での食数減少が懸念され、先行きは悪くなると予想する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響で、宿泊、宴会、レストラン共に、キャンセルが出始めている。忘新年会の受注についてはほぼキャンセルである。宿泊予約も、11月までは稼働率80%まで回復していたが、今月は70%に届くかどうかという状況である。5人以上の会食や不要不急の外出等の自粛が解除されない限り、上向きイメージを持ちにくい。
		都市型ホテル（副支配人）	・1、2月に入っていた大会物の宿泊が軒並みキャンセルとなっている。また、Go Toの一時停止などもあいまって、非常に不透明な状況である。
		都市型ホテル（営業担当）	・国や県の新型コロナウイルスの対策は、経済を伸ばすような施策ではなく、自粛、縮小させる施策に当然なってしまうと思うし、その傾向が見えてきている。施策を打ったからといって急速に新型コロナウイルスが収束するわけではないので、始まれば、悪い状況がやや長引くと考えられるので、2～3か月後もなかなか伸びるとは考えられない。
		通信会社（経営者）	・Go Toの影響で、当地のような地方でもクラスターが発生するほど感染が拡大してしまっている。いまだピークが分からない状況で、2～3か月先の景況判断はできないが、年末年始の休暇を挟むことを考えると、厳しい。
		テーマパーク（職員）	・前回の緊急事態宣言解除後の回復傾向に比べると、Go To Travel再開による早期回復は期待できる。ただし、新型コロナウイルス感染拡大やGo To Travel停止期間の延長等、不安材料が多く、良くなるとは思えない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う時短営業、旅行や会食の中止により、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・各種の記念行事が中止となったことで営業が成り立たなくなっている。この先の卒業式や入学式など、仕事への影響が出るのではないかと不安である。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・政府が思っている以上に、一般の人たちの生活への打撃は計り知れないものがある。このまま放っておくようであれば、この国は終わり、商売が成り立たない。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況では、Go To事業の再開は当分望めないため、観光地である当地の景気上昇は当分見込めない。12月中旬以降に来店した客からは「旅行に行つたと言にくい」という声が多数聞かれている。Go To事業によって、旅行という行為が、悪いこと、後ろめたいことになってしまっている。これを払拭することは容易ではない。Go Toで観光事業者は一息つけたことは間違いないが、まずは医療体制の充実に予算を使うべきではないかという声も多く聞く。移動することに安心感が得られれば、補助がなくとも旅行しようという気持ちが出てくるのではないかという意見もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔青果〕 (店長)	・新型コロナウイルスの感染者が増えることによって、大型ホテル、結婚式場等の買上がどんどん減っている。新型コロナウイルスの感染を防いでいかない限り、この悪化状態が続くのではないかと。
	×	コンビニ(経営者)	・当店近くに数軒ファミリーレストランがあるが、全て閉店してしまった。新型コロナウイルスの影響だと思う。今後ますます売上が悪くなるのではないかと。
	×	衣料品専門店(店長)	・景気が良くなる要素がない。
	×	衣料品専門店(販売担当)	・客が出てこないことには、売上に全くつながらない。それもじわじわではなく、かなり急激に接客数が減っているのので、これがこのままずっと続くのかと思うと、先行きが全く見通せず、不安だらけである。国が先導して、何か社会的な環境づくりをしてほしい。
	×	住関連専門店(店長)	・行政の救済措置もなかなか進まないの、リストラや倒産が増えることが予測される。また、欧州で変異した新型コロナウイルスが発見され、東京オリンピック開催も危ぶまれるとみているため、悪くなる。
	×	都市型ホテル(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が大きく、悪くなる。
	×	タクシー運転手	・東京で新型コロナウイルスの感染者が落ち着かない限り、地方は悪くなる一方で、良くなるようには思えない。
	×	タクシー(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが悪いので、この先も悪いとみている。
	×	タクシー(役員)	・新型コロナウイルス対策において、公共交通機関には全く要請も支援金もない状態で、税金の使われ方にはあきれている。
	×	通信会社(経営者)	・行政は新型コロナウイルス対応に多額の税金を投入し、大企業も保身に苦勞する現状では、広報事業に目が向くわけではない。個人事務所などは前年一杯での廃業も多い。
	×	ゴルフ場(総務担当)	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しているの、悪くなる。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		金属製品製造業(経営者)	・12月中の見積が3500万円を超えている。このうち、ある程度は期末の3月までに受注できるのではないかと予想している。
		一般機械器具製造業(経営者)	・増産の情報はあるが減産の情報はなく、春先までは高水準の生産が続く見込みである。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・自動車メーカーの新車投入効果もあって、2～3月の受注内示が増加している。
		食料品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が不確定だが、現状の確保、維持は可能ではないかと。
		電気機械器具製造業(経営者)	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波が来ており、どうなるかわからないが、多少なりとも受注が回復しつつある。今後、感染がまん延してくると、かなり落ち込む感じがする。来年1年は非常に厳しい状況になると思っている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・8～10月と最悪だった。2～3か月先も全くわからない。ただし、多少、最悪の状況からは脱して、徐々に取引先、販売量、競争相手の様子も上向きになるのではないかと。
		その他製造業〔消防用品〕(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響がまだ残ると考える。
		建設業(開発担当)	・前政権誕生後、公共工事は順調に推移している。公共工事発注は前年比26%増、当社も前期比10%増の受注があるが、この1年は自然災害による復旧工事が中心なので、心から喜ぶ状況ではない。建設業は10年来の不況業種のため、新卒者には魅力に欠ける業種で、新卒求人に苦勞している。従業員の高齢化が一番の問題であり、今後も魅力ある企業にできるかが最大の課題である。
		社会保険労務士	・調子の悪い業界は悪いままで、変わる様子が見られない。
		その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	・IT関連への投資意欲が多く、引き合いが多くなってきている。
		化学工業(経営者)	・今の受注状況等を継続できるだけ引き合いはないので、やや悪くなると想定している。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	・新型コロナウイルスに関係なく、越年できることに感謝している。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（営業担当）	・通常なら新年に入ると、白物家電の冷蔵庫や洗濯機、レンジなどが、新社会人、新入学等用に増える予定である。新型コロナウイルスが収束しない現状では、自宅でのテレワークも増え、在庫時期が予想できない状況である。
		不動産業（管理担当）	・取引先が新型コロナウイルスの影響で倒産したため、清掃の定期業務がなくなり、売上が減少するとともに、回収不能の売掛金が発生する恐れがある。
		経営コンサルタント	・県内の新型コロナウイルス感染者も増加しており、見通しが厳しい。飲食店等の業種や業態では、テイクアウト販売を強化しているが、本来の状態を取り戻すまでには至らず、今後も不安が残る。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの状況がどのように収束するかによるが、悪くなるのではないかと懸念されている。
	×	建設業（総務担当）	・来年度予算削減の話も聞こえてきているので、来年度に入ってからの方が不安である。
	×	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は、まだしばらく続くと思われる。国の政策が全く見えてこないため、半ば諦めの空気が漂っている。
雇用関連		-	-
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	・12月が忙しいので、来年は少し良くなる。
		人材派遣会社（経営者）	・コロナ禍が飲食店を直撃し、厳しい状態である。食品製造の動きをみると、安定した季節と天候のなかで、生産も安定して推移し、出荷されて店頭に並ぶ製品内容も良いので、購買力が上がってくると期待はできる。ただし、若干不安が残るような年の瀬である。
		人材派遣会社（社員）	・先行き不透明な間は、可能な限り人員を抑制する動きが予想される。製造業の回復がポイントだが、サプライチェーンへの影響が懸念される。
		人材派遣会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、派遣依頼は少ない。底の状態のまま継続すると予測している。
		職業安定所（職員）	・Go Toキャンペーンにより飲食店や小売業、宿泊業等で改善の兆しが見えてきていたが、新型コロナウイルス感染再拡大で、キャンペーンがストップしたことによる落ち込みが予想される。製造業関係も新型コロナウイルス感染拡大の影響や貿易摩擦、原油、素材価格の動向により、改善が見込めず、求人には至らない状況と思われる。
		職業安定所（職員）	・Go Toキャンペーンの一時停止により、求人再開がみられた業種への影響が大きいため、やや悪くなる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・政府の新型コロナウイルス対応が、後手に回っていると感じている。今後の収束がみえず、全てが消極的になっているため、やや悪くなる。
	×	*	*

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (南関東)		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの収束に向けて加速しそうである。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・今は外出を控えている分、客によっては価格の高い、高付加価値商品を求めることが多くなっている。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種や、東京オリンピックに向けた動き次第ではあるものの、季節が移ることで感染率が下がり、人の移動も回復する（東京都）。
		スーパー（販売促進担当）	・外出自粛やGo To Eatキャンペーンの一時停止も継続し、食品は好調が続く。
		衣料品専門店（統括）	・ビジネスから新生活マーケットに切り替わり、需要が高まってくると予想している。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響でインターネット販売を中心に伸びる（東京都）。
		家電量販店（経営企画担当）	・個人的な願望となるが、年末年始の行動変容により、新型コロナウイルス感染第3波がピークアウトできると期待している（東京都）。
	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、最需要月なので売上が上がってくると予想している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔雑貨〕 (営業担当)	・やや良くなると答えたものの、新型コロナウイルス感染第3波による感染者数の推移次第で状況は大きく変わる。非生活必需品販売業は新型コロナウイルスの影響に左右される(東京都)。
		その他飲食〔給食・レストラン〕(役員)	・新型コロナウイルスの影響下における取引先の方針が固まりつつあることから、当方でも対応の方向性が見えてきており、現状より改善していくものと見込んでいる(東京都)。
		都市型ホテル(スタッフ)	・Go To Travelキャンペーンの再開による需要を見込んでいる。
		旅行代理店(販売促進担当)	・2~3か月後は旅行業としては例年厳しい時期だが、Go To Travelキャンペーンが再開されれば今よりは良くなる。条件はその1点に限る。あとは今年延期されていた修学旅行のうち3月までに実施される分があるので、プラスアルファの数字になって表れると考えている(東京都)。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンを、厚生労働省は2021年2月下旬をめぐりに医療従事者、3月下旬をめぐりに高齢者への接種を始める体制を確保し、優先順位を設けて接種を行う方針とのニュースが流れた。ワクチン接種により徐々に感染拡大が収まり、経済が回復すると予測している(東京都)。
		通信会社(経営者)	・消費者の様子からの判断である(東京都)。
		通信会社(営業担当)	・通信業界自体が活発に動き始めているので、数か月後には景気が良くなるような、良い結果が出始める(東京都)。
		住宅販売会社(従業員)	・年度末に向けて更に景気が良くなる。
		一般小売店〔家具〕 (経営者)	・将来の景気は、良くはないだろうが、当店は耐久消費財を扱っているので、それほど落ち込みもなく、現状維持くらいでいくのではないかと(東京都)。
		一般小売店〔印章〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で商売は厳しい状況にある。客に来てもらいたいが、余り外をうるうるしないほうが良いことは分かっているので、試練と思い、耐えている。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・自粛要請が解除され、新型コロナウイルス感染が収束し、飲食店に活気、売上が戻らない限り、変わらない。
		一般小売店〔米穀〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響により不安定な状況で、誰も先が読めず、世界的なパンデミックが予想されている。したがって、ワクチン等ができない限り、正常化しない(東京都)。
		一般小売店〔傘〕(店長)	・新型コロナウイルスの影響の一言に尽きる。
		一般小売店〔生花〕 (店員)	・行事によって売上が大分違ってくるが、12月は正月が近いということで正月の花が売れる。2~3か月先はお彼岸になるので、また仏花が売れるし、従来であれば卒業式で花の需要も多い月になる。卒業式、送別会などで一応変わらないと判断したが、実際は今月とは変わらず、例年よりは低いのではないかと(東京都)。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・外商部において、官公庁等の案件に関しては、年度末に掛けて結構決まってはいるが、民間の大口案件若しくは年度末予算のようなものはほとんどないのが実情である。最需要期にいつもどおりの売上がなく激しく落ち込むのではないかと予測されるため、現状と余り変わらない。
		百貨店(売場主任)	・半年先ということであれば、新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、状況が変わってくるかと思うが、ここ3か月では、状況はまだ変わらない(東京都)。
		百貨店(売場主任)	・東京都の新型コロナウイルス感染者数が増えているなか、Go Toキャンペーンなど経済活動を喚起する施策が一時停止となり、この冬は厳しいものになると予測している(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの収束が具体的な形で現れるまでは、現状の雰囲気は変わらず、景気の先行き不透明感が継続する(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・旅行の自粛、ステイホームの要請があり、巣籠り需要が拡大している。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、需要全体の拡大が望める状況ではない(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（広報担当）	・仮に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、安心感が周知されるまでは一定の時間が掛かるため、良くなる材料は乏しい。一方で、今よりも悪くなることを裏付ける材料も特段見当たらないため、現状から大きな変化はなく推移すると予想している（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・インターネット販売を含めると、トータルの売上は復調してきているが、高額購買の高齢者の来店減少が続いており、回復が見通せない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が拡大しており、消費マインドも芳しくない。ボーナスや収入の減少等により、今までより一層慎重な購買動向になると予想している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・Go Toキャンペーンの一時停止、外出自粛要請など、消費者にとってどう行動すれば良いのか、明確な指針がない状態が続いている。バレンタイン、卒入学などのシーズンを迎えるので、オンライン販売には期待している（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンが打てるようになったからといって、急激に百貨店に買物に来るとは限らない。今あるもので事足り、関心ごとや必要品の入手ルートは、新型コロナウイルスの影響によって変化が加速している。ただし、食品には関心が向いている（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルス禍が落ち着くまでにはまだまだ時間を要することが容易に想定できる。営業費の削減をもって、雇用の確保を大前提に、経営を成り立たせる方向性である。
		スーパー（販売担当）	・競合との価格競争もあり、客は前年を上回る点数を買ってくれているが、1人当たりのトータルの買上額は前年に達していない状況がまだ続く（東京都）。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況によって来客数が動いているように感じるので、先行きは分からない。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの影響に左右されると思われるが、特に食事に関しては外食から内食にシフトする傾向があるので、食品スーパーへの客の依存度は引き続き高まるとみている。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で余暇や仕事などでの外出が大きく減っている。この先もステイホームが続くなかで、外出着など衣料品の売上は非常に厳しくなっている。価値のある物に関しては若干良いが、トータルでは前年を大きく割るような状況が続いている。先行きが見えないなかで食料品の売上が伸びたとしても、その分をカバーできず、数値的にはまだまだ売上が厳しい状況は続く。
		スーパー（営業担当）	・内食化傾向はこれからも続くと思われている。客の来店頻度は減るものの、1回当たりの販売量並びに買上単価がそれを上回るような推移が今後も続いていく（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が当面変わりそうにないため、売上も横ばいと推測している（東京都）。
		衣料品専門店（店長）	・現状の新型コロナウイルス感染者数が落ち着かない限りは変わらない。更に感染拡大となれば、もう一段景気が落ち込む（東京都）。
		家電量販店（店長）	・現状が続くと考えれば、売上が下がるとは考えにくい。新生活需要の縮小が急に進まなければ、今のまま変わらない（東京都）。
		家電量販店（店員）	・現状でも新型コロナウイルスの影響で在宅の時間が増え、家電製品への需要が高まっている。今後も変わらず推移するのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・今年は、自動車の整備は順調に入っている。販売は余り芳しくなかったが、前月に取扱車種の新型車が出たことにより、今月は今年一番の販売実績を達成することができている。来月以降はどうか少し不安だが、頑張っていきたい。
		乗用車販売店（経営者）	・初売りセールを実施して、例年並みの売上を維持している。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で買い控えが起きると予想している。
		乗用車販売店（店長）	・今の好調は高い水準となっているので、これ以上の好景気は期待し難い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く気配がない。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、電車やバス等の公共交通機関を利用して人がマイカーを使用する頻度が高くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、その効果が見えてくることで経済活動の活発化を促すことも期待できるが、足元ではまだまだ感染拡大が止まる気配がなく、先行きの見通しは不透明であり、予測できない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスが世間で騒がれているので、なかなか売上が伸びず困っている。じっと待っている。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・新型コロナウイルスの影響で売上が減少し始めてからもうすぐ1年が経過する。売上を単純比較すれば良い数値が出るが見込まれるが、新型コロナウイルス発生以前の状況と比較すれば、景気が良くなるとは考えにくい（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・消費者に対する新型コロナウイルス感染対策としては、特別定額給付金の給付1回のみで追加策もなく、不安だけが増大している。更に悪化する可能性も高い（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・来客層を見ると、遠出の客は少なく、地元頼みという状況である。若年層の客が比較的多いように感じる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の状況次第である。それによって売上や来客数等が全然変わってくる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響で大変厳しい。先行きは不透明でこのまま厳しい状況が続く。当店は飲食店なので、このまま続けば当社も新型コロナウイルスに負けそうである（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今までは宴会が駄目でもフリー客は来ていたが、最近、国内だけではなく世界中で新型コロナウイルスの変異種が見つかったり、新しいワクチンが効かないというような状況があり、フリー客も宴会を控えてしまっている。しばらくはこのままいか、もしかすると悪化していくような気がしている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今年がとて悪い年だったので、来年は新型コロナウイルスのワクチンだとか、収束に向けた何かがない限り、飲食店は先が見えない。また今年のような状況になるのではないかと、とても心配である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しても2年くらいは不景気が続く（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないを選んだが、新型コロナウイルスのワクチン次第であり、どちらともいえないという意味合いである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響はまだ終わらない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなか、皆外出を避けており、帰省や旅行等も取りやめている人も大勢いるので、景気は上向かない。
		旅行代理店（営業担当）	・年末年始のGo To Travelキャンペーン一時停止がこのままでは延長となるかもしれないので、広告を出せない（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化すれば持ち直すだろうし、止まらなければ今以上に悪化するので、どちらともいえない。
		タクシー運転手	・今月もそうだが、新型コロナウイルス感染拡大が我々の業界に非常に大きく影響しており、客がどんどん目減りしている。年末ということもあるが、例年とは雲泥の差である。今後どうなるのか、かなり心配である。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が減らない限り、良くなるとは思えない。とにかく、夜の人の動きが全くなっている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・大手キャリア3社を中心に携帯電話料金の引下げを軸とした競争が続くものと思われる。それに付随する高速インターネットサービスの価格競争も一進一退の状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（管理担当）	・テレワークに関するインターネット環境整備の需要も一段落し、競合間の入替は非常に大人しい状況にある。唯一、変化があるとすれば、格安プランの携帯電話を中心としたモバイル関連である。安い料金設定が世の中をにぎわしているが、多くの人が理解できず、シンプルなアフターサポートで混乱すると思われる。自分でできる人は既に格安のスマートフォンを利用中なのではないか。
		通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。
		通信会社（経営企画担当）	・年明けから新型コロナウイルスの感染者数がどのように減少していくかにより、景気の回復状況に大きく影響が出るものと思われる（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響による在宅増加で、インターネット設備投資が必要だが、客からは値下げ圧力があり、株主からは利益確保を要求され、費用を削る策がなくなってきた。あとは人員整理するかどうかくらいである。この先どうなるか、3か月先も予想しにくい。
		競輪場（職員）	・競輪ファンは高齢化しているが、新規ファンの獲得ができていない。競輪場に来る客は減っているが、ポータルサイトの売上だけは伸びているため、緩やかな平行線をたどる。新規の施策として、無観客レースのインターネット販売のみの運用というのもあり得るが、本当のファンは育たないという認識である。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍での不安とは別に、一般生活に必要な物は購入する。影響のある業種に偏りは出ると思うが、全般的には取りあえず直接の影響はないと思っている。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・春の集客時期に向けて良くなってほしいが、まだ不透明な状況のため、現状維持ではないか。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス収束の展望が見えない限り、民間の仕事は余り期待できない。公共工事は堅調に推移すると思うので、景況感は変わらない。
		設計事務所（職員）	・補正予算による公共の発注増に期待しているが、景気を左右することはない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンと治療薬が普及することを期待している。普及しない限り景気は戻らない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が過去最多を更新している状況だが、今月の販売量を考えると住宅の新築、建て替えの動きは底堅いと感じている。年度末、ゴールデンウィークまでは景気はやや良い状態で続く。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・建材関係で一定の需要は見込めるが、核となる大型案件が少なく、目に見える需要回復はまだ先との情報が多い（東京都）。
		商店街（代表者）	・最近、商店街の中で変化が起きている。今までは飲食店がどんどん増える状況であったが、最近は撤退する飲食店があり、今後は商売が非常にやりにくくなりそうである。特に、飲食関係の店は大変である。当店は物販で着物の販売をしているが、販売がほとんどできず、全部レンタルに変わっていて、売上を取っていくことが非常に難しい。今後もこの状況がしばらく続くのではないかと心配している。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況もこのような状態であり、商材の不足も懸念される。キャンペーンが打てず、訪問も問合せのあったところにしか行けない。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・年末の東京都の新型コロナウイルス感染者数が1300人を超え、例年のように正月休み明けに人の動きが活発になる傾向にはならないとみている。松が明けても正月休みが延長されたような状況になり、感染を警戒して、外出も控えるのではないだろうか。商店街への来街者も減り、売上減少は避けられない状況になる（東京都）。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・良い材料が何もない。イベントの売上も期待できず、客も来ない。ふだんの仕事が何とかできたら良いという状況である（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される。11月下旬以降、新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向となり、年末に向けて更に拡大したことで、年明けの初売り、クリアランスセール以降も大きく影響が出てくる。消費者の外出自粛が拡大すると、巣籠り需要としてプラスとなる商材は一部であるので、今のままでは今後の景気も悪くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・常連客を中心に国内客の売上は堅調に推移しているが、新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、改善は見込めない。また、ウイルスの変異種出現により、更なる対策の強化があれば、景気は後退する（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・郊外店舗ということもあり、現在は年末年始のステイホーム需要を取り込めているが、今後2～3か月先の春の新生活需要においては、リモートワーク2年目ということもあり、売上の伸長に難しさを感じている（東京都）。
		百貨店（副店長）	・新型コロナウイルスのワクチンという明るい話題もあるが、楽観はしていない。引き続き、食品、家庭雑貨等のイエナカ需要が中心であり、単価の高いファッション関連は厳しい状況が続くものと思われる（東京都）。
		スーパー（経営者）	・客単価は良いが、来店頻度が下がっている。客はできるだけ買物を控えて、来た時にたくさん買うという傾向がだんだん強まっているように感じる。以前のように買いだめでたくさん買うよりは、ややトーンダウンしているので、これから厳しくなる。
		スーパー（店長）	・来店客のほとんどから冬のボーナスが大幅に減った、あるいは出なかったという声を聞いている。そのようなことから、年明けは、雇用の問題もあると思うが、今よりも更に経済は厳しくなるのではないかと。いくら安くても必要がない物は買ってくれないという状況が続くとすると、3か月後は今よりも若干悪くなると予測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大もあり、恩恵を受けられる業界は圧倒的に少ないので、景気が上向くとは思えない。消費者の節約志向は今まで以上に強くなる（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・パートの労働時間を減らされたり、残業がなくなる人が増える。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルス感染者数が増え続けているため、経済活動がますます悪化し、景気も悪くなり、デフレ現象が起こるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でどうなるか、全くつかめていない。夜の販売は落ち、昼間の販売は伸びるかと思うが、実際はよく分からない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスに関する報道が続くなか、客の不安感が増している。来客数の回復は見込めず、売上の減少傾向が加速し、厳しさが増す。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス収束の見通しがまだ立たないので、良くなるとは思えない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続く恐れがある。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスだけが原因とは言いきれないが、景気が良くなるとは思えない。例えば、東京オリンピックを無理に開催してお金を使うとしても、そのお金はどこから出てくるのか。働く人がいなければ税金も納められないし、国債を発行しても借金が増えるだけなので、良いことではない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは、景気はなかなか戻ってこない。人も当然出ないし、どこにも寄らずに帰るので、我々商売をする人間からすると、かなり厳しい時代を迎えていると感じている。
		コンビニ（エリア担当）	・もともと年末年始、年明けの客足は鈍いが、新型コロナウイルス感染者数の拡大を受けて、更に鈍くなる可能性がある（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの深刻な感染状況が続き、外出着等の売れない状況が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・年末年始を始め、いろいろな行事等が中止になっている。新型コロナウイルスの感染者数が増え、客が出掛けないので、なかなか販売につながらない。今後もしばらくこのような状況が続くのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（営業担当）	・景気が良くなる要因が1つもない。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス感染者数が数日で今以上に増えてくる可能性が高いため、全体の需要は落ちてくると予想される。
		乗用車販売店（販売担当）	・2～3月との比較だが、やはり新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないことには、景気は良くなる見込みがない。全体的に売上が減っており、新型コロナウイルスがまん延している限りは良くなる見込みがない（東京都）。
		乗用車販売店（店長代行）	・新型コロナウイルスの影響かもしれないが、65歳以上のサポート補助金の効果は余りなく、高齢者は車を購入するより手放す方が多くなっている（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・まだまだ新型コロナウイルスの収束を望むことができないので、景気の悪化は今後もしばらく続く。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスの収束が見えず、Go To Travelキャンペーンが再開するまで、現状がしばらく続く（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・ここに来て新型コロナウイルスの感染者数が増え、大口利用や宴会が2～3か月で戻ることはないと思われている。厳しい状況が続く（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しなければ多分もっと悪くなる。来客数も相当に減ってきている。このままの状態では、2～3か月後の景気は最悪になってしまうのではないかと懸念されている。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響がある。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーン次第であるが、回復の見込みがないので、当分予約は期待できない（東京都）。
		タクシー運転手	・2～3か月先の景気はまず新型コロナウイルスの感染状況次第で、今話題になっているワクチンに依存している。本当の新型コロナウイルスの影響は2～3か月後以降かと思うが、ワクチンが普及し、世の中が少しでも良くなることを希望している。先の予想は非常に難しい（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が目立ってきており、再び営業自粛になることが懸念される。客の希望による作業に関しては、現状では影響は余り感じられないが、対面での営業、工事等で感染を心配する客が少しずつ増えてきている（東京都）。
		通信会社（経営者）	・現在、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、客に対しても何らかの影響があり、景気が良くなると思えない（東京都）。
		通信会社（社員）	・既存スポンサーの状況が良くなっていない。新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くが、工夫をして活路を見出している企業もあるので、一進一退を続けるだろう（東京都）。
		通信会社（社員）	・MNOの新料金プランがスタートし、新規申込やMNPの動きが、一時的かもしれないが減ると予想される（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増加に歯止めが掛からない状況では、大幅な改善は見込めず、徐々に悪化していく。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの感染第3波はまだピークになっていないと思われるため、客の更なる心理悪化が考えられる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルス感染第3波が拡大しているなか、緊急事態宣言の検討など、情勢が読めない（東京都）。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染が急速に再拡大しており、消費活動全般が再び落ち込み、回復しない（東京都）。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス感染が日増しに勢いを増している。このまま感染が拡大していくのか、正月を挟んで落ち着きを見せるのかにより、状況は変わっていくものと思われる。暖かくなる3月頃までは厳しいのではないかと懸念されている。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・期末の3月に向かって、新型コロナウイルスの影響による営業縮小等で利益が出ない企業が多くなっているため、それぞれの社用車等の需要が減るとみている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・探客活動が大幅に制限され、受注がかなり落ち込んでいるため、売上が減少することは間違いない。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・全て状況は下向きとなっている。仕事の減少は大きい。できれば全国的にロックダウンをして、新型コロナウイルスが完全に終息すれば、仕事も正常化できるものと思っている。
	×	商店街（代表者）	・気候が良くなれば、新型コロナウイルスの感染状況も少し改善されると思うが、国や東京都の施策が後手後手に回っており、内閣支持率が示すように消費者のマインドを押し下げる傾向にある。このまま中途半端なメッセージにより7割で経済を回していると、東京都の感染状況の悪化が更に消費者のマインドを冷やし、回復するのが大変になる（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で本当に先の見通しが立たない。先の話が来ているものもあるが、さほど大きな数字ではないので、どうなるのか先行きが分からない（東京都）。
	×	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・年末に向けて新型コロナウイルスの感染者数が日に日に増えており、緊急事態宣言が出るのではないかと、消費が冷え込んでしまうのではないかと心配である。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・12月の売上ダウンにより消費の冷え込みが続く。
	×	百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言も視野に入ってきており、新型コロナウイルスの収束が見えないなかで、不要不急の消費活動は抑えられることが想定される。
	×	百貨店（広報担当）	・冬という時季と、新型コロナウイルスの検査が簡単にできてしまうことによって、感染者数は間違いなく増える。政府の対応が曖昧なので、世論によっては緊急事態宣言を再度発出する可能性もあるのではないかと。そうすると景気は悪くなるに違いない（東京都）。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、強制力を持った罰則付きの法整備が検討されている。今後については不安要素が大きく、更なる景気悪化が見込まれる（東京都）。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染がますます拡大しており、物が動かないので、景気はかなり悪くなるのではないかと。
	×	スーパー（ネット宅配担当）	・政府の経済対策次第だと思うが、ここにきて、将来性を考えて廃業するという飲食店が増えている。また、3月決算企業などは、年明けから利益還元セールをするようである。2021年前半は安さが目立つ年になりそうである。
	×	衣料品専門店（店長）	・集客を手控えるムードが出ているため、価格訴求するチラシの停止を検討している。
	×	衣料品専門店（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大で外出する機会が減るだろうし、衣料品の需要は見込めない。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着くまでは厳しい（東京都）。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・廃業を考えなければならない状況になる（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・首都圏及び全国的に新型コロナウイルス感染者数が増大している。
	×	高級レストラン（営業担当）	・団体宴会を売上の柱としていた当社にとっては苦戦が続く。そのなかで、個室や宴会場を「空間」として提供（販売）する施策や、ミールキット販売等によるEC市場の開拓など、新たな売上創出を模索している（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	・Go To Travelキャンペーンをやったのは良いが、新型コロナウイルスの感染が拡大したら止めてしまった。寒くなって感染者数も増えており、この先どうするつもりなのか分からないが、これでは経済はより一層回らなくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大傾向は続くと思われる。ワクチン接種が実施され、問題なく進行すれば明るい見通しが立つのではないと思うが、反対に管理体制が強化されればされるほど、人の行動が制限されることになるので、そうなった場合は当然経済はスローダウンする。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・外出自粛が続く、経済状況がどんどん悪くなっているため、外食に掛ける費用が今後更に削られることが予想される（東京都）。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	都市型ホテル（経営者）	・例年1～2月は正月明けということで売上が低いのだが、ここに来て新型コロナウイルスの感染者数が急増していること、緊急事態宣言の話も出ていることなどから、新年会等が全くなっている。続いて、12月はいろいろな家庭でも個人消費をした関係で財布のひもも固くなり、1～2月は極めて厳しくなることが見込まれる。ホテル業界にとっては正に正念場ということで、3～4月辺りには期待したい。ワクチンの接種開始が待たれる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・現状では、先の宿泊予約は皆無である。稼ぎ頭であるだけに、Go To Travelキャンペーンの停止延長となれば、ホテルとしては死活問題である。婚礼を始めとして謝恩会や歓送迎会などもほぼキャンセルになっている。新規予約の引き合いはあるものの、先行き不透明な状況が続く見込みである。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止に伴い、来客数が減り、観光業は非常に打撃を受けている。しかしながら、新型コロナウイルスの感染が拡大している昨今の状況では致し方ないと考えている。感染拡大を抑えられれば、新たな施策を考えてもらえれば有り難い（東京都）。
	×	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止期間が延長されると、個人、団体問わず取扱案件が蒸発してしまう。
	×	旅行代理店（従業員）	・年末年始に掛けての新型コロナウイルスの感染拡大と、Go To Travelキャンペーンの一時停止に伴う影響が大きい（東京都）。
	×	旅行代理店（総務担当）	・Go To Travelキャンペーンによる旅行者の動きが見えてこないため、見通しとしては暗い。対象期間の延長だけでも早めに発表してもらいたい（東京都）。
	×	タクシー運転手	・夜の利用客が極端に減っている。新型コロナウイルスの影響により、今年の暮れは想像以上に利用が少なく、年明けもまだまだ利用客が増えるとは思えない。ワクチン、特效薬が早くできて、接種できるのを待つしかない。
	×	タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルスが収束しないと何ともいえない。
	×	通信会社（管理担当）	・まだ底を脱していない。
	×	観光名所（職員）	・2～3か月後は一番の開散期に入る。また、新型コロナウイルス禍のなかで、どうやって客に来てもらうかについても見当が付かない（東京都）。
	×	ゴルフ場（従業員）	・経済の急回復は無理である。人が動くことは新型コロナウイルスの感染拡大リスクを伴うため、厳しいが、徐々に上げていくしかない。したがって、今の段階が底とは思えず、景気はまだ悪くなる。無理な政策は、景気を更に悪化させる。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が猛烈な勢いで増加している状況では、高齢者のゴルフプレー意欲が減退し、来場者数の動向に悪影響を及ぼすものと考えられる。
	×	その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が非常に懸念される（東京都）。
	×	その他サービス[学習塾] （経営者）	・対面が中心なので冬期講習の動きも非常に悪く、電車を使って通うのが嫌だという生徒も多くなっている。今後は更に悪くなる。
	×	その他サービス[立体 駐車場]（経営者）	・今でもこれ以上ないほど悪いが、それでも更に悪くなるような感じがするほど悪い。
	×	その他サービス [フィットネスクラ ブ]（マネージャー）	・新型コロナウイルスの影響がある（東京都）。
	×	設計事務所（経営者）	・当事務所では、一般的な営業をしながら客先を回る訪問営業と、行政の建築設計業務を手伝う指名入札での受注がある。どちらも今は当てはまる仕事がない。指名においても、行政に営業に行くこと自体が遠慮してほしいといわれ、民間の客にも来ないでくれといわれる。こういった状況のなかでは、数か月先は全く見えない。行政の指名だけを競争しあうような方法しか見当たらず、非常に困っている。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない今、客に会えない限り設計業務は前に進まないため、今のままの状況が続くのではないかと（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、最悪の状況が一段と進むのではないかと。いずれにしても、設計の発注は極端に少なくなっている。
企業 動向 関連  (南関東)		*	*
		金属製品製造業（経営者）	・年末の話では、取引先の生産計画が新年初めから動き出すという話だが、価格が厳しくなるようである。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・職種によると思うが、情報処理会社は、大きな打撃もなく引き合いもある。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波が落ち着かないと厳しい。
		化学工業（従業員）	・2～3か月先の予測は全く立たないが、現状維持の状況が続くそうである。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えている現状では、3か月先の景気も余り変わらない。ワクチン次第だが、3か月後くらいではまだ動き出さないとみている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・化粧品容器の受注に回復見込みはないが、医療品容器の新企画が具現化すれば、利益回復の突破口になる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は大きく、急には好転せず、回復には時間が掛かる。今は新型コロナウイルスの終息後にどうするかを考えている（東京都）。
		精密機械器具製造業（経営者）	・当社の主力業界は2019年度並みと計画し、半導体機器は上昇している。医療機器も、当社は外科手術部品のため減少と、取引先ごとにばらつきがある。
		輸送業（経営者）	・従来3月は新年度を控えて取扱量の増加がみられるが、近年その傾向も消え、例月と同様になっているため、大きな変化はない（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷が予想以上に伸び悩んでいることと、輸血量がないことから、今後も現状が続くと予想している。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスが収束するまでは現状のままが続く（東京都）。
		金融業（従業員）	・飲食店だけでなく、生活に密着した商店街の小売店でも客足が減ったとの声が聞かれる。一方で、製造業や小売業を中心に、新たな顧客、販路の獲得や、オンライン販売などの取組が増えており、売上を伸ばしている事業者もみられる。しかしながら、全体をみると、新型コロナウイルス感染第3波の影響がいよいよ深刻になっており、多くの経営者が業況回復のめどが立たないと感じている（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続く限り、賃貸ビル業の営業も厳しくなる一方である（東京都）。
		税理士	・米中の景気の影響が大きい。米国は新型コロナウイルスの感染拡大により亡くなっている人も多い。また、大統領が変わり、どのような展開、方向性に変わるのか。国内のことよりも日本は両大国の動向に影響を受けるので、先が分からない（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・来年に向けては不安定要素が大きく、取引先工場等の稼働率も不明であり、受注や売上の予想がつかない。低空飛行のまま変わらない状況が続く。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・このまましばらく同じ状態が続く。
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新規の撮影予定が入らない。また、例年の大学等の卒業記念DVDなどのコピーも大変少なくなっている（東京都）。	
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くか分からず、先行き不透明というのが正直なところである。飲食街のため、飲食関係の客も多いが、ショッピングカードの注文が激減している。来店が復活すれば、そういったものの需要も増えてくるとみている。また、会社の設立が非常に少なくなっている。今月は1件あったが、起業ではなく、個人事業主だった人が法人にしたということでの注文である（東京都）。	
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・例年年末に納める印刷物が翌年の納品にシフトすることにより、来年予定している印刷物にも納品の遅れが予想される（東京都）。	
	化学工業（総務担当）	・今が底であってほしいが、新型コロナウイルスの感染拡大が経済活動に悪影響を及ぼし、需要が更に低迷することを危惧している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、先行きはまた悪くなる。
		金属製品製造業（経営者）	・この冬に新型コロナウイルス感染症が更に猛威を振るうことになれば、必ず影響を受ける。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響でサロンの集客力低下が見込まれる（東京都）。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況悪化が影響している（東京都）。
		輸送業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、先行きが不透明である。
		金融業（役員）	・年末商戦に活気がなく、例年1～2月は売上が鈍化する時期でもあり、景況はやや悪くなるとの声が多い。旅館等宿泊業については、新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、新年の予約が埋まらない状況にある。また、製造業関係者は、特に海外からの部品供給維持に不安を感じていることと、海外需要の減退により、受注減少が今後顕在化すると不安もある。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、皆が心配している。年末年始、年明けにどうなるか不安である。いずれにせよ収束を祈るのみである（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言の発出により、また悪くなりそうである（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染状況が改善する見込みは不透明である。
		税理士	・景気回復の材料が見当たらない。飲食店、衣料品等の倒産が増え続けると予想している。台湾のように鎖国のようなことをしないと新型コロナウイルスは克服できそうにない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・建物清掃業務における人手不足解消のめどが立たず、既存物件の値上げが契約解除ができないと、しばらくは現状が続く（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響も考えると、徐々に契約数が減っていくことが想定される。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により、集客用チラシがほぼ全滅状態である（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・年度末に向けた動きが少しずつ出ているが、新型コロナウイルスの感染状況がまた悪化してきており、不安定な状況が続く。
	×	建設業（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、経済がどんどん悪くなっていっている。全産業、全業界において下降傾向にある。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染に関する報道の影響を受ける。
	×	建設業（経営者）	・同業他社に聞いても来年の案件が決まっていけないそうである。大手企業からも同じような話を聞いている。
	×	輸送業（経営者）	・大手運送会社の再編によって悪くなる（東京都）。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が伸びている状況では、景気の回復は見込めない。一旦経済を止めるにしろ、新型コロナウイルスの感染拡大を食い止める施策を取らない限り、企業はズルズルと生殺しのままで困ってしまう。
	×	金融業（支店長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、Go To Travelキャンペーンも一時停止となっている。企業、個人共に消費マインドは冷え込むことが予想される。
	×	金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えない状況では、この先も各企業の売上は減っていくと予想され、回復は見込めない。今後はこの状況にあった業種、テレワーク関係や宅配等は伸びていくが、逆に不動産賃貸業や飲食業等は縮小する。また、個人収入も減少していくと、住宅ローンが支払えない家庭も増える。あらゆる業種に新型コロナウイルスの影響があり、景気は悪くなる（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響により、人が集まるイベントの実施はまだ難しい。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染第3波はまだまだ続くとみられる。これまでは経済へのマイナス影響は飲食業や人の集まる場所が中心であったが、その他の業種へもどんどん波及している（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・来年度の予算が減らされたので、清掃作業回数も減少する。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・営業時間短縮のために効率が落ちている。また、消費意欲が下がっているため、今の金余りの消費だけではいつか壊れるのではないかと（東京都）。
雇用 関連  (南関東)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・通販、インターネットショッピングの増加により、物流関連の求人が多い。また、国外向けの自動車関連部品の製造業で求人が増加していることなどから、景気は回復傾向にある。
		人材派遣会社（営業担当）	・例年、年度末に向けて各企業とも求人数が増加する傾向にあるが、今年は新型コロナウイルスの影響により、採用抑制の動きがある。新型コロナウイルスの影響がなければ、景気は上向き（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるが、求人数は徐々に増えつつある。取引先でも思うように採用ができていない企業が増えてきており、この傾向が続きそうである。
		人材派遣会社（社員）	・求人数は回復傾向にあるものの、長期の派遣労働者数の緩やかな減少傾向が続いていることから、当面厳しい状況が続くと予想される（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあり、好調に向かうチャンスがうかがえない（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・毎年12月は求人が少なくなり、年が明けた1月にまた求人が増える傾向にあるが、今年は新型コロナウイルスの影響があり、例年とは少し傾向が異なる。不景気な企業が多いようで、感染状況により景況が変化していく。数か月先の景気が良くなるか悪くなるかの予測が付きにくい。
		民間職業紹介機関（経営者）	・当面様子見が続くとみている。学生にとって新卒採用は厳しい状況だが、IT系の業種は先行している（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・先行きが不透明である。このところ経営者から積極的な事業展開の話は聞いていない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続く状況下では、経済環境は改善されず、求人、求職状況の大きな改善は期待できない。企業の投資意欲もしばらく改善されないのではないかと（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・現在のところ変化する要素はないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変動する可能性がある（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・請負業務に関しては、年度の切替えを理由に取引先からの減額要請、契約打ち切りの話が増加しており、4月以降の動向に不安を抱えている。業務縮小のなかで、現スタッフの就業場所の確保も厳しくなっており、利益面についてはかなり切迫する可能性が出てきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスによる影響に対して、継続して効果のある施策が見当たらない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・見た目の需給バランスは悪いまま固定されているように見えるかもしれない。そして、新型コロナウイルスの特効薬やワクチンができれば、そこから数値は上がると思われるが、それは違う。今回一番割を食っているのは、無期雇用化した元有期派遣社員である。職場を追われ、配置転換したくても希望条件に合った職場がない（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染者数増加により、再び経済への影響が懸念される。企業業績への影響から、当面は人材ニーズも増えない（東京都）。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減らない限り、なかなか事業が成り立たない部分が多い。イベント関連商材の販売をオンラインに切り替えているが、リアルイベントほど売上が伸びないのが現状である（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・取引先の90%が中小企業なので、ほとんど持ちこたえられない。倒産、廃業件数が把握できないくらいである。特に飲食業が軒並み悪く、顧客がほとんどなくなりつつある。年明けの予定が何もない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数は前年比で減少が続いている。今後も感染拡大傾向が続く場合、求人数は更に減少する。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染が拡大することで、採用を控える可能性がある（東京都）。
	×	求人情報誌製作会社（所長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えていくと、企業でもクラスターが増えてしまい、運営自体が難しくなってくるため、倒産が増えていく。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にある。
	×	職業安定所（職員）	・就職率が緊急事態宣言の影響下での数値に近づきつつあることからみて、今後も新型コロナウイルス感染者数の増加が続くならば、悪化は避けられない。

## 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・10月くらいから葬儀が増えてきているが、その内容も変わってきて、寺の人を呼ばずにお別れの会だけをするという方が増えている。考え方が変わり始めているようである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・1月11日以降、Go To Travelが地方では解禁となる。これでもまた、10～11月のように宿泊客が増えていくのではないかと。
		遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響が懸念されるが、感染予防施策を徹底しながら、HP、メールマガジン、SNS等での情報発信を強化し、イベント実施などによる集客施策の効果で、多くの客の来園を期待する。
		設計事務所（経営者）	・社員だけでは手が足りないため、下請に出す仕事量が増えている。
		住宅販売会社（経営者）	・東京からの避難目的で当県への移住の動きがあり、別荘需要も高まっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、今後売上が伸びていくためには、イベント、営業活動等を変えていかなくてはならないのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で最悪だったときよりは、徐々に戻ってきてはいるものの、以前のような状況にはまだならないと思うので、現状の推移を続けるのではないかと。
		百貨店（店長）	・百貨店の顧客は比較的高齢者が多く、新型コロナウイルスが収束しないと、なかなか買物には来店しないのではないかと。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスと降雪の影響がある。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの関係で、最悪の状況になっていくと思う。若干でも良くなるか悪くなるかは、今後の状況次第だが、何とも読めるような状態ではない。客の様子もふだんとは全く違い、本当に状況が見えてこないため、余り変わらない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの収束と人の往来が従来どおりにならないと、景気は回復しない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大からの収束が見通せず、新車販売の回復は楽観視できない。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束がみられず、ワクチンの有効性や投与開始時期は不透明で、投与が開始されても国民全体に行き渡るのが、いつになるか分からない。
		スナック（経営者）	・もう、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるまでは良くなれないと思うので、なるべく早く接種を始めてほしい。今の状態があと1年続いたら、店は潰れる。当店は持ち家の家族経営でこの状態なので、普通の店なら半年でも厳しいと思う。何とかしてほしい。
		タクシー運転手	・この地域で新型コロナウイルスの患者が発生すれば、売上がぐっと落ちる。このところは平行しており、今月は前年比70%ギリギリのところである。
		観光名所（職員）	・降雪が早く、周辺スキー場は早々に営業を開始できているものの、日帰り客が多く、宿泊施設にお金が落ちない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・最繁忙期の年末年始が消えてしまった。これを取り戻すのは容易なことではない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方でも新型コロナウイルスの感染者が増えており、自粛ムードが見られるようになってきている。人が動かないことには、物の動きは制限されてしまう。業種的にもますます厳しくなる。消費者の購買意欲も沈滞している。新生活の始まりを目前にして、全く先が見えてこない。
		スーパー（経営者）	・ボーナス減少、失業等の影響を懸念している。低価格競争に入る可能性がある。
		スーパー（経営者）	・競合他社の広告チラシの販売価格が、下がってきている。
		スーパー（経営者）	・当地は観光県なので、スキー客が来ないと景気は良くはならない。回り回って自分の仕事にも影響が出てくる。
		コンビニ（経営者）	・地域でのいろいろな会合や懇親会等がないことで、酒類の販売が落ちているので、総合的にみて、やや売上が厳しい。新型コロナウイルスの影響は非常に大きい。
		コンビニ（経営者）	・今年は当店の売上は大きくは下がらなかったが、このところ県内でも多くの人々が新型コロナウイルスに感染してきているので、今後は余り人が外出したりせず、景気は下がっていくのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のため、やや悪くなる。
		自動車備品販売店（従業員）	・今は季節の変わり目で、季節商材の販売は好調だが、この先に特段大きな需要は見込めず、客足が遠のくものと考えたと、やや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・ただでさえ来客が冷え込むなか、新型コロナウイルスの変異種が発見されるなど、明るいニュースが1つも無い。都会での無責任な行動による感染者の拡大で、地方は自粛ムードだけが漂い、大きな打撃を受けている。
		都市型ホテル（支配人）	・好評だったGo To Travel事業の期間延長が発表されたにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一時停止された事業の再開が不透明である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約のキャンセルは出るものの、受注はほぼなくなっている。明らかに自粛の雰囲気が高まっていることが要因である。突然、良い方向に向かうことはないので、少しずつ回復することを望むが、現在の予約状況からみても、受注は悪化している。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で左右されるが、感染前のように戻るまでには時間が必要だと考える。感染収束後、すぐに顧客が戻ってくるとは考えにくく、その間、旅行消費は減少すると思われるため、景気は低迷する。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が地方まで波及し、年末年始だけでなく1月以降も不安が残り、厳しさは一層増していく。
		ゴルフ場（経営者）	・降雪の多い隣県からの来場者もあるが、予約は県内顧客が主流で、年末年始、土日祝日予約が多く、平日は弱い。
	×	商店街（代表者）	・いつもなら正月明けの3学期が始まる前には、学校指定のシューズや体育用品がかなり出るが、今の状態からすると、どうなるか先が見えず、不安で仕方がない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の再拡大で、年末のGo Toキャンペーンが一時停止となり、先行きがみえない。ワクチン接種が始まるまでは下降線をたどるのではないかと。
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が以前よりも一層増えたため、来客数が極端に減っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・このまま、新型コロナウイルスの収束がみられなければ、景気は良くならない。
	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・飲食店は本当にひどい状況だが、今は年末なので、個人客が増えて、売上も前年までは至らないが、順調である。ただ、3か月後となると、まだ新型コロナウイルスのワクチンも打たれているわけではなく、早くも2月という話だし、非常に悲観的ではないか。1月はおそらく買い控えもあるだろうし、2～3月で新型コロナウイルスが収束しているとは思えない。3月以降は非常に厳しくなると予測している。
	×	スナック（経営者）	・誰のせいでもないが、やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。本当に先が見えず、困っている。何か良い方法はないかとも思っているが、諦めるのは残念だが、ここしばらくはちょっと我慢をするしかないと思っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスがある程度収まっていれば、2月以降のGo To Travelキャンペーンについてそろそろ情報が出てくる頃だが、今回の第3波によりGo To Travelの延長議論すらできない状況である。Go To再開予定の1月12～31日でさえ、人の動きが少ない上に、Go Toが終わる2月以降は予約帳が真っ白の状態が続いている。
	×	ゴルフ場（経営者）	・どうしたら経済を回したと言えるのかという成功の定義を明確化してもらいたい。新型コロナウイルスの感染が落ち着いている地域の経済は、他地域からウイルスが持ち込まれない限り、自然に回るものだと考えている。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染者数が増えていけば、客足は更に遠のいてしまう。今後の感染状況次第で動きは変わってくる。
企業 動向 関連		-	-
(甲信越)		金融業（経営企画担当）	・ワクチンの進捗や接種開始時期、新型コロナウイルスの収束状況に左右されるが、全国的に自粛等が解除され正常に向かうようなら、景気は上向く。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・事業をワークショップ中心に転換し、様子見をしているが、新型コロナウイルス禍での自粛規制等が影響し、先行きは見通せない。オンライン、リモートで可能な展開を模索している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注に関しては、大きな変動がないと見込んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今月は一時的に仕事量が増えたが、例年に比べれば減っている。
		金融業（調査担当）	・製造業は半導体や自動車関連で持ち直しているが、全体の動きは鈍い見通しである。非製造業も新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、先行き不透明感が高まっており、厳しい状況に変化はない。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	・科学的根拠はないが、これから乾燥する時期が続き、新型コロナウイルスの感染も劇的に少なくなるとは予想しにくいことから、経済へのダメージは今後も続く。
		食料品製造業（営業統括）	・首都圏では新型コロナウイルスの感染が拡大して、緊急事態宣言も出されそうな状況で、酒類関係の伸びは期待できず、大変苦しい環境が今後も続くと考えられる。
		食料品製造業（総務担当）	・12月が1年で最大の売上となること、変異した新型コロナウイルスも発生したことで、今以上に外出制限が掛かると予想される等、今後の良化する材料が見つけない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長く続いている上、ワクチンの成果が見えてこない。景気の先行きはやや悪くなる。
	×	食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルスの影響で、一層外出規制がかかり、ただでさえ半分程度の売上が更に落ち込んでくる。今までは、知らない人が新型コロナウイルスの感染者だったが、今では知り合いの知り合いが、という感じに感染が身近になっているので、外出はできないようになる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・イベント等がなくなって、印刷物もほとんどなくなっている。来年の予算取りも、案件が大変少ないと感じている。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	・海外との渡航制限から中国人バイヤーの来日時期ははまだ未定で、宝飾業界にとって大きな痛手である。国内の宝石店舗では客の来店が遠のいており、売上ダウンが続いている。11～12月はイベントで集客できたが、新型コロナウイルス感染者数増加から、1月以降、当面はイベントの開催が難しい。新製品を見せる機会がないことや、金価格の上昇のため、在庫品と新製品の価格差が大きく、仕入意欲が湧かない。
雇用 関連		-	-
(甲信越)		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス禍やインフルエンザの流行動向次第で、何ともいえない。ただし、コロナのワクチン接種が始まることもあり、多少でも現在の閉塞した状況が改善していくのではないかと。
		人材派遣会社（営業担当）	・年末年始に向けても変わらず、ボーナス支給のない企業も増えたため、購買意欲は湧かない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社 (経営者)	・現状、新型コロナウイルス感染者が増えてきており、先行きは不透明である。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス禍による飲食、宿泊業への影響が見通せないが、周辺企業に対するヒアリングでは、製造業や小売業を中心に、生産や売上が伸びるまではいかないものの、現状維持できるとする企業が多い。
		民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルスが経済に大きな影響を及ぼしており、企業マインドが大きく冷え込んでいる。早期の収束方向がはっきりしない限り、状況に変化がみられない。人口10万人当たりの新規感染者が15人を上回る地域では、求職者に対する警戒感が強まっている。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波により、どうしても経済活動は停滞する。
	x	-	-

## 6. 東海(地域別調査機関:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

(- : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)		*	*
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスのワクチン開発により、景気はやや良くなると思われる。
		一般小売店[高級精肉](常勤監査役)	・政府の新型コロナウイルス対策及びワクチンの効果により、将来は景気が良くなると思う。
		一般小売店[土産](経営者)	・国と地方自治体の一体感の醸成による。
		百貨店(営業担当)	・変化した生活スタイルに順応しようと、そのための買物を楽しみ始めているように見受けられる。
		コンビニ(本部管理担当)	・小売業にとっては、この数か月が新型コロナウイルスの影響の底と認識する。春に向けて気温の上昇とともに新型コロナウイルスの影響は軽減され、今後は小売業にとって売上回復基調を想定する。本来、景気とは世間のあらゆる情勢を勘案し判断すべきと考えるが、今は新型コロナウイルス次第という一本かぶりの景気判断でよいと考える。
		乗用車販売店(経営者)	・新年からの3か月は、例年のようにはいかないが、決算時期と重なりそれなりの動きはあると予想される。
		乗用車販売店(従業員)	・自動車の減税が延長になったこともあり、決算時期に重なっていくので、期待したい。
		観光型ホテル(経営者)	・暖かくなって今より新型コロナウイルスの感染状況が収まってくると見込まれるため、景気はやや良くなる。新型コロナウイルスが終息に向かわないと、景気回復の兆しは見えない。
		住宅販売会社(従業員)	・グリーン住宅ポイントなど税制面の後押しがスタートし、潜在的に考えていた人が動き出すと予想する。
		商店街(代表者)	・足元が極端に来客数の少ない状況であり、販売量、売上に繋がっていない。新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと、来客数の伸びは期待できない。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルス禍の終息までは積極的なイベント開催ができない、また、価格表示を税込みで表示しているが、高額商品がより高くイメージされて商談が難しい。
		商店街(代表者)	・外出自粛を解除するとたちどころに新型コロナウイルスの感染が広がってしまうため、回復していく道のりはなかなか難しそうである。
		一般小売店[生花](経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、景気は良くならない。
		一般小売店[贈答品](経営者)	・ギフト状況は2~3か月先も余り変わらない。法人客は4月の新年度に向かっての展示会やイベントを中止、又は自粛して規模を小さくしているため、ギフト商品の売上は少なくなっており、今の状況と変わらない。個人客においても、付き合う幅を親戚から兄弟だけへと狭くしているため、少人数での法事及び結婚式という状況が2~3か月先も続いていく。このため、今の状況と変わらない。
		一般小売店[果物](店員)	・3か月ほどでは変わらない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・引き続き新型コロナウイルスの影響は残ると思われるが、例年の新年度向けの受注量は確保できると思われる。
		百貨店(売場主任)	・靴メーカーは、売上が余りないため在庫を持ちたくないのか、生産を控えている様子である。クリアランスセールに向けて今ある在庫を全て出すということで、サイズが不ぞろいの商品が多いため、売上に結び付くか微妙である。クリアランスセールの客足もまだ分からないため、売上は厳しい状況が続くと思われる。
		百貨店(企画担当)	・11月中旬から新型コロナウイルス感染拡大に伴い、戻りつつあった来客数、売上の減少が顕著となった。この傾向は12月以降も継続しており、国内におけるワクチン接種が確定するまでは、景気回復は見込めないと思われる。
		百貨店(経理担当)	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るのに時間が掛かり、その効果も未知数であることに加えて新型コロナウイルスの変異種の拡大も懸念され、景気の不透明感が拭えない。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルス禍で全国的に新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあり外出は自粛傾向となり、しばらくは現状が続くと思われる。お歳暮やクリスマスケーキやおせちといった年末商戦では、ネットショッピングが大幅に伸長し非来店型にシフトしている。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルス第3波のダメージがひどく、当分回復しないと予測している。
		百貨店(販売担当)	・現在の状況からみても、良くなるとは思えない。
		百貨店(計画担当)	・新型コロナウイルス禍の状況は、しばらくは一進一退を繰り返す、それに伴い客の来店状況も増減を繰り返すと考えられる。ただし、富裕層の購買意欲は依然として衰えておらず、旅行などで消費されていた金が商品購入に振り替えられる傾向は、一定数維持されると考える。
		スーパー(店長)	・特效薬ができて新型コロナウイルス感染が収束しない限り、まだ今の状況は続くと思われる。
		スーパー(商品開発担当)	・新型コロナウイルス次第で大きく左右されると思うが、今の売上、来客数の状況からみてさほど景気は変わらないと思われる。新型コロナウイルス第1波のときと比較しても、消費は落ち着き、買いため等も少なくなっており、現状が続くと感じる。
		スーパー(販売担当)	・景気の良い状況は変わらない。新型コロナウイルスはまだ終息しないため、内食、家飲みは継続する。
		スーパー(総務)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、家庭需要が増加していると思われる。購買量が多少増加するのではないかと考えるため、景気状況は現状と変わらない。
		コンビニ(エリア担当)	・良くなる兆しも材料も見られない。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルス禍が継続するなかでの対応に苦慮するが、冷凍食品や総菜などオリジナル商品の強化により来店時の買上点数を改善することで来客数減少をカバーし、売上を維持する。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルス感染が日に日に拡大しており、現状では終息の見込みが立たない。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスへの警戒感は持続していると思うが、自重しながら生活することが定着してくるのではないかとと思う。
		家電量販店(店員)	・新築や引っ越しでの買換えの見積りが多いが、単価の高い良い商品が選ばれている。特に不安な要素がない。
		家電量販店(営業担当)	・新型コロナウイルス感染症の影響が継続する。雇用の悪化や所得の減少など新型コロナウイルス及び新型コロナウイルス変異種等感染症の影響の収束には、まだ時間が必要とされる。
		乗用車販売店(従業員)	・急激に良くなることも悪くもなることなく、3か月先も余り変わらないのではないかと考える。
		乗用車販売店(従業員)	・当面は新型車の発表もなく今販売している車売る形になるが、新型車も行き届いた感もあり、販売台数も鈍化している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（営業担当）	・年末年始に行動を自粛することがあれば好転する可能性もあるが、見通しは良くない。業界では繁忙期に入るが、今は新型コロナウイルスが終息してくればという前提でしか、回復の見込みが立たない。
		住関連専門店（営業担当）	・商業施設の飲食・物販店については、中止又は延期でまだ見通しが立っていない物件がある。住宅等のリフォームについては、大きな物件には延期となっており、小さな物件が出始めたところである。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・感染力がこれまでのウイルスを上回る新型コロナウイルスの発生が今後大きな影響を与えようと思ふと不安である。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・大人気コミックの売上も落ち着いてくるとは思うが、巣籠り需要もまだあるため、しばらく書店は好調に推移するのではないかと考える。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス0.8%、来客数は前年比マイナス4.8%である。売上は経済対策の効果か盛り返しているが、来客数は新型コロナウイルスの影響で低く推移している。
		一般レストラン（経営者）	・12月に2年前から予定していた2号店をオープンした。客層は20代が多く消費を支えてくれている。既存店は余り売上の落ち込みもなく営業しているが、政府の緊急事態宣言がまた出されたら、売上は落ち込むと思う。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収まらないと思われる。
		一般レストラン（従業員）	・県の指示と国の指示が違っている。早く統一して新型コロナウイルスの対策を発信してほしい。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいと判断する。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、このままの状況のような気がする。海外へ仕事だけでなくレジャーで人が動かないと本当に厳しい。国内旅行の個人客だけでは経営が難しいが、大手のように店舗を手放せず困っている。これまでもSARSや9.11などいろいろ乗り越えてきているが、かなり厳しい状況である。支援策を再度考えてほしい。
		旅行代理店（営業担当）	・旅行を実施してもよいケースといけないケースの明示、接触アプリの導入義務化等、Go Toキャンペーンの停止と再開に関連する指標を具体的に示してほしい。また、約1年ほとんど改定されていないガイドラインを早急に改定してほしい。それがなされない限り、状況は変わらない。
		旅行代理店（営業担当）	・年始から旅行需要が回復する見込みは全くない。新型コロナウイルス感染が減少していかないと、Go To Travelキャンペーンの一時停止が解除されても旅行を申し込む人はごく一部で推移すると思われる。いっそのこと短期集中で第二次の緊急事態宣言を発出して一気に収束を図ってもらう方が、将来的には観光業にとって有り難い。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが依然として猛威を振るっているため、正月三が日も含めて不要不急の移動は避けるようになど、政治家のテレビ演説でもいろいろ厳しい自粛要請が出されている。1～2月も寒い日が続くので、まだまだこれから先も同じ状況が続くと思われる。
		タクシー運転手	・これだけ長い間繁華街が静かであると、これから2～3か月で良くなるという動きは見受けられない。新型コロナウイルスの感染が収まらないと難しい。
		通信会社（営業担当）	・3か月前に比べて、明らかに客に嫌がられて営業しにくい。新型コロナウイルスの終息を待たないと、客は動かないと思う。
		通信会社（サービス担当）	・引っ越しシーズンになれば、現状のように光回線の申込みが増加すると思われる。
		通信会社（営業担当）	・政府がそもそも具体的な対策をできていないように感じる。それに伴って国民も危機感が薄れている。新型コロナウイルスのワクチンも期待されるが、全国に浸透するのはまだまだ先だと思う。
		ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先は、前年同日の予約数と比べるとほとんどのゴルフ場において入場者数が減少している。2～3か月前の早めの予約が多いコンペの数が、新型コロナウイルス感染症のため減っているものと思われる。しかし、今後は個人客が徐々に増えてくると思っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [鉄道会社] (職員)	・新型コロナウイルスの影響が長引くようである。
		美顔美容室 (経営者)	・新型コロナウイルス対策のため、外出を控える客がいる。
		美容室 (経営者)	・明るい話題がないことと、新型コロナウイルスの感染も拡大しつつあるため、景気は徐々にもう少し悪くなると思う。
		設計事務所 (職員)	・足元の新型コロナウイルスの状況から考えると、景気が良くなる可能性は全くない。
		住宅販売会社 (従業員)	・契約状況は横ばいである。新型コロナウイルス禍のなかでも契約は進んでいる。
		その他住宅 [室内装飾業] (従業員)	・年度末に向けて、企業の設備投資に伴う改修工事の引き合いが数件出てきている。
		その他住宅 [不動産賃貸及び売買] (営業)	・不動産賃貸業の繁忙期に突入するが、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、客単価、客足への影響が懸念される。
		商店街 (代表者)	・最近の新型コロナウイルスの情勢をみていると、世の中の景気が更に悪化しそうな感じがする。中小零細の小売店舗がもう持たないと思う。特に在庫の保存が利かない飲食店は厳しい。
		百貨店 (総務担当)	・当地域には新型コロナウイルス感染者数に敏感なところもあり、今後も増加傾向となれば、バレンタイン商戦も厳しいことが想定される。また、バーゲンセールや福袋も年末から前倒しで実施しており、1月以降も引き続き売上は厳しい状態が続く。緊急事態宣言という言葉も頻りに聞かれるような状況であり、休業等の事態は避けたい気持ちが日々高まっている。
		百貨店 (経理担当)	・新型コロナウイルス関連の給付金等はあるが、今後、倒産等が増えるのではないかと感じる。一方で景気の良い会社も相当数あるように感じる。労働市場の流動化が望まれる。
		百貨店 (販売担当)	・クリスマス用品などは予想より好調だったが、全体的に来客数が減っており不安である。
		百貨店 (業績管理担当)	・新型コロナウイルスの感染が一時的にでも収束する見通しが立たなければ、売上は現状から増加する見込みがない。また、給与減少に伴い買い控えが見込まれる。
		スーパー (店長)	・緊急事態宣言が出る可能性も含め、通常は安価な物が売れていくと見込む。
		スーパー (販売担当)	・食品を多く扱っているが、イベントの減少や季節も寒くなるため客が来店する機会が減り、景気は悪くなると思う。
		スーパー (ブロック長)	・新型コロナウイルスの第3波の影響次第だが、感染リスクが従業員の身の回りにどんどん迫ってきているので、人手不足で店舗の営業停止に追い込まれることを一番恐れている。
		スーパー (営業企画)	・冬場の新型コロナウイルス感染拡大の予測もあり、経済の停滞による経営状況の悪化から所得への影響が懸念される。
		スーパー (販売担当)	・新型コロナウイルスの終息がみえていないので回復基調とは言い難く、家庭紙のパニック的な購入などが前年実績となるなか、業績が向上しにくい状況である。
		コンビニ (店長)	・大都市部で新型コロナウイルス感染の拡大が止まらない。飲食業の営業時間短縮要請の延長や緊急事態宣言が発出されたら、更に影響が出る。
		コンビニ (企画担当)	・これから更に気温が下がり、新型コロナウイルス感染者数が増加してくると、外出を控える人や出勤を控えて在宅で仕事をする人が増えることが見込まれる。
		コンビニ (店長)	・新型コロナウイルスの終息がみえない限り、前年比でやや悪い状況が続くと思われる。
		コンビニ (店長)	・12月中旬頃までは前年並みに戻ってきていたが、下旬に入ると新型コロナウイルスの感染者数が急増したこともあり、売上も減少している。この傾向は今後も続くと思われる。
		コンビニ (店員)	・やや緩やかに来客数が減少傾向にある。
		衣料品専門店 (売場担当)	・いまだ新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期が見通し難しいなか、Go Toキャンペーン等といった政府の景気対策も一時停止している。こうした状況下で生活者は先行きに一層不安を抱き、消費を最低限に抑え貯蓄が優先されるのではないかと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・拙速なGo Toキャンペーンにより、新型コロナウイルス第3波が起こってしまった。感染者は増え続け、経済対策と感染対策を両立するという政策の矛盾点は隠しきれないほど大きくなっている。飲食店、病院等はそれぞれの立場から否定的な言動が目立ち始め、統一した自粛政策が取れないのは、専門家に責任を負わせて何も決断できない内閣の責任である。このままの状態が続けば、外食産業はもとより病院、他業種と順番に経営危機を迎えるのではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	・3月くらいまでは新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないと思うので、今より更に消費が落ち込むと思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗への来客数が減少すると思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・主要都市の新型コロナウイルスの感染状況がこのまま悪化するようだと、地方に住む我々の身の回りにも影響が出てくる。
		乗用車販売店（従業員）	・これから年度末の増販期に向かうが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、今年の二の舞に陥りかねないという恐怖感が拭い切れない。一時、感染が収まりつつあったときにはある程度の市場の回復があったように、もう少し新型コロナウイルス関係の話題が収まり、客と前向きな話題ができるよう期待したい。
		乗用車販売店（従業員）	・これから明らかに新型コロナウイルスの影響でまた悪くなっていく。もし緊急事態宣言が発出されるようなことがあれば、かなり悪くなり、倒産する会社もかなり出てくるのではないかと非常に心配している。
		乗用車販売店（販売担当）	・もともと1～2月の車の販売は落ち込むため、12月決算と比べれば販売量は落ちてくる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルス禍の終息がみえないなか、新たな新型コロナウイルス変異種の発生で経済活動の回復にマイナス要素となり、消費マインドは悪化すると思われる。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルス感染者数の増加により、外出・会食を敬遠する傾向が続き、業種によって企業の業績悪化が心配され、また、消費者の節約志向が当面は強まると思われる。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、ある程度行き届くまでは上向きに転じないと思われる。過去の経験則は全く通用しなくなる。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・ボーナスが前年を下回ったり、これまでの賃金上昇機運がなくなり、将来への不安を口にする消費者が増えた。消費は確実に減ると予想している。
		都市型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの施策は失敗である。
		都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、当面ホテル業は難しいと思われる。レストランのデリバリーだけでは、リカバーできない。
		旅行代理店（経営者）	・年明けにワクチンや治療薬が出てくると期待しているが、新型コロナウイルス感染者数の拡大や人の移動が回復から制限へ変わった影響が今後出てくると、交通輸送業やそれに付随する店舗における物販などの売上が減る。既に駅ホームや構内の売店が間引かれていたり、空港の店舗も半数以上閉めており、回復はいまだ不透明である。
		旅行代理店（経営者）	・1月以降の客の動きが全く読めず、受注も少ない。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異種も現れて、感染者も過去最高になっている。外国ではワクチン接種も始まり明るい材料もあるが、年末年始に掛けてはGo Toキャンペーン事業も停止となり、来園者も予想より減るように感じる。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスに対する政府の方向性がよく分からない。しっかりしてほしい。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの影響で年末年始の経済が動かない。
		理美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で客足が遠のいて、段々と景気が悪くなっていくと思う。
		美容室（経営者）	・例年、正月過ぎの1～2か月は特に暇になる時期である。1～2月は寒いことと、12月に施術済みの客が多いためである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・冬の寒さが厳しく、新型コロナウイルス感染拡大の状況が影響するのは間違いない。
		設計事務所（経営者）	・良くなる材料がない。建築設計以外の図面依頼はあるが一時的なものであり、事務所が成り立つようなものではない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの関係で外に出なくなり、不動産全般も冷え込んでいる状況である。
	×	商店街（代表者）	・年末年始すら分からない状況で、2～3か月先を読むことは不可能である。最悪を想定して現状を生きるしかない。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍の飲食店での飲酒離れで、もともと若者の飲酒離れもあり、販売量は当面回復しないと考える。
	×	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・一旦は落ち着いたかにみえた新型コロナウイルス感染が更に心配な状況になり、年が明けた途端に自粛の雰囲気により強くなるように思う。
	×	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスへの対応、特にワクチンへの対応が十分ではないと見込まれる。
	×	スーパー（店員）	・以前のように巣籠り特需に向かうのではなく、年末年始の外出控えから節約に向かうのではないかと、店内の様子を見て感じる。
	×	スーパー（支店長）	・新型コロナウイルス第3波の影響がひどくて集客活動もできず、客自体も来店をためらう状況が続いているので、この先も通常の営業活動ができない限り、景気の回復はほとんどないといってよいほど厳しいと思われる。再度、給付金など政府の緊急支援策を望む。
	×	コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。また、企業倒産や失業者の増加から、集客減少や購買単価低下を招くのではないかという危機感が強い。
	×	コンビニ（商品企画担当）	・冬場に新型コロナウイルス感染が拡大するとの見込みから、今後も春先の3月頃に掛けては売上が悪化すると推測する。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	・人の動きがまた止まり始めている。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店長）	・巣籠り準備の需要が通常よりも多く感じられる。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
	×	一般レストラン（経営者）	・良くなる展開が見当たらない。
	×	一般レストラン（従業員）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されたら、当地方も打撃を受ける。
	×	観光型ホテル（支配人）	・Go Toキャンペーン停止の影響で2～3か月先の予約もぱったりと止まり、宿泊客数も前年同期比で2割にも満たない状況である。新年以降も社会的・企業的な行催事もほとんどが中止となり、回復の兆しはみじんもなく全く見えてこない。手の打ちようがなく途方に暮れるばかりである。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・1月11日までの宿泊、宴会、レストラン予約がほぼキャンセルになった後、1月12日以降の予約も入ってこない状態である。全国の新型コロナウイルス感染拡大、英国での変異種発生で今後どうなるかがみえないなかで様子見となる。3月からもう1年近くこの状態で、雇用調整助成金も縮小が予定されているなか、経営は先がみえない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策の自粛に伴い、見通しが不明である。
	×	旅行代理店（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの感染拡大が続く限り、Go To Travelキャンペーンの再開も難しいと思われるため、2～3か月先も売上がないような状態と考える。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、ますます悪くなる一方である。
	×	通信会社（企画担当）	・テレビ、インターネット共に、巣籠り需要により契約者数は増加してきたが、新型コロナウイルスの影響で一層の先行き不安となり、減少に転じる可能性もある。
	×	通信会社（営業担当）	・先行き不安である。
	×	レジャーランド（職員）	・マイナス要因として、引き続き新型コロナウイルス感染拡大による出控えやGo Toキャンペーン一時停止の更なる延長の可能性も考えられる。学校の冬休みも例年より短いことから、例年の水準より大幅に減少すると見込んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは難しいと思う。
	×	パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス禍の影響が深刻で、常連客も来店を控えている。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染者がこれからもまだ大分出ると思われる。
	×	住宅販売会社（従業員）	・公共工事の塗装などを行っている業者より、年明け間もないところまでの工事はあるがその後の見込みがかなり減っていて、不安であると聞いた。
企業動向関連 (東海)		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍での経済活動の停滞が秋口までで、何もしなければ先細りと誰もが考え、何とか回復させる努力をした結果が今の状況である。うっかりするとこれを景気の上昇と捉えがちだが、飽くまでも回復であって、元に戻った上でプラスの部分があるかはまだ分からない。
		化学工業（営業担当）	・2～3月は更に電材向けの容器販売が増える見込みである。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・車関係の生産回復で、金属材料生産用の消耗品の注文が増えており、しばらくこの傾向が続くと思われる。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・世界の複数市場で引き合いの数が増えてきているので、景気回復を感じる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・農機具関連は増加傾向、オートバイ関連は減少傾向、液晶関連は増加傾向で、トータルでは前年比90%程度である。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルス次第だが、季節柄、異動の時期や年度替わりが近く例年は客の動きが活発となるので期待したい。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、発送、到着共に大幅に増加している。移動も自粛になり、更に通販が増加すると予測している。
		通信業（総務担当）	・期待値込みで、また、国民皆の気持ちとして良くなってほしい。観光やサービス分野の持ち直しには人の移動が必須なので、新型コロナウイルス感染が抑えられることが、そのまま景気につながる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・徐々に極端な自粛などはなくなっていく。Go Toキャンペーン事業の再開、延長も決まっている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新型コロナウイルス禍でリモートワークが増えているが、生産性が高まらないことで要員提案の打診が増えてくると思われる。
		食料品製造業（経営企画担当）	・先行きは分からないが、正月期間中の人の移動が新型コロナウイルス感染拡大につながらないことを祈るばかりである。
		化学工業（総務秘書）	・景気好転の材料はまだない。安全性が感じられる新型コロナウイルスのワクチンが安定供給されることが目に見えてきたら、景気は好転する。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量の見込みが変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・3か月先には新型コロナウイルスの感染が収まり始め、ある程度の売上が見込めるようになるのではないかと考える。新型コロナウイルスのワクチンもあり、客先の業界も全体的に良くなることを期待している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・余り変わる要素がない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス禍の影響がどこまで続くのか、またその深度も読めず漠然とした不安感がある。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・新型コロナウイルスが終息して航空産業が復活しない限り、ずっと底のままである。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・取引先の自動車メーカーの生産台数が順調に推移すると聞いている。スクラップ市況価格が好調で、前年と比べて1.5倍になっている。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響次第だが、今のレベルが続くと仮定すれば、荷量は大きく変わらないと思われる。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかによる。変わらないというよりは、分からないというべきか。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響による。
		金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスの状況がみえないなかで、当面不安定な業績が続くとみられる。特に飲食、宿泊、観光等の業種は、光がみえない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・1月の気象は例年同様に晴れの日が多い予報ではあるが、今後も新型コロナウイルス問題の影響が少なからず続き、出費を控える傾向は継続するとみている。今後も売上の厳しい状況は続くと思われる。
		不動産業（経営者）	・変わらないとしたが、変異型ウイルスの発生など今後の新型コロナウイルス禍の状況では、どのようになるか予想が付かない。
		広告代理店（制作担当）	・これから先、テレワーク等も駆使しながらデジタルを活用した広告手段を進めることが必要になってくると思われる。
		会計事務所（職員）	・雇用調整助成金の受給日数が減ってきているとはいえ、休業は続いている。飲食店も、売上が上がらないので時短要請に応じて補助金をもらおうとしている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・当社においては3か月ほど先まで手一杯であるが、半年先は不明である。2年半前からの商品開発も、特許の書類を提出するところまでこぎ着け現在は一息ついている。他社からの反応も良く、新しい物をどんどん作成していく。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの感染拡大第3波の影響がまだまだ続き、2～3か月先の景気は悪くなると思う。
		金属製品製造業（従業員）	・案件の動きが鈍くなっており、春先からの仕事量の確保がいつもの年ほどみえていない。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・年末に浪費した分、買い控えしそうである。
		建設業（経営者）	・これから日本がどうなっていくのか、今の政府では全く先がみえない。国民は不安で仕方がない。政治家に対しても不安で先がみえない。
		通信業（法人営業担当）	・地元自動車メーカーの生産台数は3か月連続の増加、株価が約30年ぶりの最高値で本年は終了など数字だけみれば景気回復基調にもみえるが、中小、個人経営の経営はひっ迫している。身の回りではそうした声が聞こえ、数字には表れない部分ではまだまだ苦悩している人々がたくさんいる。敏感な主婦は日常、少しでも安いスーパーへ向かっており、財布のひもはまだまだ固い。外食、旅行等は控えざるを得ずステイホームを余儀なくされている。景気はまだまだ落ち込んでいくようにみえる。
		通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス感染は、新種の登場で新たな恐怖のステージに入った。一度回復の兆しを見た後に更なる谷底をみると、人の気持ちとしては果てしない喪失感や失望感が生まれるものであり、この雰囲気、恐怖感のなかで新しい景気上昇の芽を見付けるのは難しいと考える。
		金融業（従業員）	・営業時間規制の強化が予想されており、飲食店に対する不安が影響を及ぼしているという経営者が多いため、将来的な景気にも余り期待できない。
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が急速に拡大を続けており、再び景気は先の見通しが立たなくなっている。ワクチンの接種などで脅威が消えない限り消費活動の低迷などが続き、景気が良くなっていくことはない。
	×	食料品製造業（営業担当）	・取引先の受注量も前年を大きく下回っている。今後の回復は見込めない。
	×	鉄鋼業（経営者）	・原材料高によるメーカーの供給停滞が1月から予想され、全く需要がない状況での値上げは厳しく、品不足による販売量の低下も見込まれる。前代未聞の年始になりそうである。
	×	公認会計士	・新型コロナウイルス禍の第3波の影響で、経済活動の再低下が予想される。借入れ等で急場をしのいでいる会社の破綻や廃業が予想される。
雇用 関連 (東海)		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・来期に向けた人員補強の流れが出てくると思われる。3～4月は派遣契約更新のピークであり、契約満了での入替えや受入れ側の増員などもピークを迎えると考えられる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内の自動車販売台数が前年を超え、苦戦の大手メーカーにおいても前年並みに回復し、最大手メーカー関連は当初計画どおりに3月末までの状況が続く見通しである。ただ、新型コロナウイルス第3波で感染者数が増加し先がみえないため、不安要素は残る。
		求人情報誌制作会社（営業担当）	・求人数がやや回復傾向にある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（営業担当）	・企業側が新型コロナウイルス禍での採用フローの在り方などを変化させている状況であり、かつ、4月入社を目指して活動する人も引き続き多くなっていくものと想定する。
		人材派遣会社（社員）	・この先も予約状況は悪く、良くなる兆しが全くない。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第で大きく変わってしまう。
		人材派遣会社（営業担当）	・主要客である自動車メーカーでの新規派遣の引き合いは、1月からの請負取引予算削減分とほぼ相殺され、自分が所属する拠点の稼働率は、2～3か月後も同じ水準を維持する見込みである。
		職業安定所（所長）	・自動車関連の受注が戻りつつあるという声も聞くが、製造業も含めて新規求人数は減少が続いており、先行きが見通せない。
		職業安定所（職員）	・新規求人は低迷が続いているが、求職者も減少しており落ち着いている。
		職業安定所（次長）	・求人数の増加が見込める兆候や情報が見当たらない。
		職業安定所（次長）	・新規求人数はほぼ全ての業種で減少している。新型コロナウイルス感染拡大の第3波にあっても極端な求人減少とはなっていないものの、しばらくは減少傾向が続くものと思われる。新型コロナウイルス感染拡大の第3波等による経済停滞が長期化することで、体力のない中小零細企業の倒産等による失業者の増加が懸念される。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・次年度採用に向けた学内就職説明会への参加企業数が、前年同期と比べて少ない。
		人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響から回復する兆しが見えず、中小企業の体力も限界にあるため、景気は後退すると見込まれる。
		人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が拡大しており、終息の時期がみえない。
		人材派遣会社（営業担当）	・海外での新型コロナウイルスのワクチン接種も始まったが、日本ではもう少し時間が掛かる点や変異種が見つかった点なども勘案すると、まだまだ不透明感が強い。
		職業安定所（職員）	・航空機産業の受注減少に伴う地域産業への影響が大きい。自動車産業が回復傾向にあるとしても、管内製造関係の航空機産業への依存度は高い。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染者数が増加する。
		職業安定所（次長）	・今後も新型コロナウイルス感染拡大の懸念がある。このまま感染者数が増加し続けると、特に飲食店の閉店が懸念され、そうなると離職者の増加が考えられることから、景気はやや悪くなると判断した。
		民間職業紹介機関（支社長）	・新型コロナウイルスの感染者数増加が、改めてサービス業に打撃を与えようと思われる。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・ここ2か月ほどやや持ち直してきたが、新型コロナウイルス禍で状況が依然見通せず、今まで以上に余力のない企業も増えてきており、派遣の需要も見込めない状況が続いていくと考える。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・全世界的な新型コロナウイルスの大流行が収まる気配がなく、日本でも感染者数が増加するばかりで、より強力な自粛要請が出る可能性がある。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・景気の悪化はまだしばらくは続くと感じる。

## 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		-	-
(北陸)		商店街（代表者）	・良くなる雰囲気はあるが、新型コロナウイルスの感染が拡大し影響が長引けば、逆に不景気にならざるを得ない。
		コンビニ（店舗管理）	・今よりは閉塞感が緩和すると考える。
		乗用車販売店（経営者）	・例年この時期は自動車業界の繁忙期になるので、良くなるとみている。
		住関連専門店（役員）	・先行きは不透明だが、本来なら需要期にあたる。学生や新社会人、転勤などの需要がどこまで確保できるかは分からないが、少し上向きになると見込んでいる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（支店長）	・Go To Travelキャンペーンが再開すれば、ゴールデンウィークの需要を含めて、販売量に必ず良い影響が出る。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・1日の売上は戻ってきているがギフトの動きが良くなく、前年に僅かに至らないところで推移している。新型コロナウイルスがひどくなって、外食が少なくなる状況なので内食需要に期待したい。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数がまた増えており、全く見通しが立っていない。
		百貨店（販売担当）	・入学や新生活に関する需要は大幅には減少しないとみているが、当面は旅行などの需要は改善しないと考えており、現状のやや悪いペースを維持するとみている。店舗でも価格を意識した商品の拡大や必需を見越した商材を拡大し、少しでも購買を促して悪化を食い止める努力をしていく。
		スーパー（店長）	・巣籠り需要が高まってくると考えるが、もともと販売指数の低い3か月間のため、大幅に伸びる要素がない。
		スーパー（統括）	・引き続き新型コロナウイルスの影響が残る。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの情勢から変わらない。
		コンビニ（営業）	・Go Toキャンペーンが再開すれば若干の上向きは期待できるが、戻りは弱含みである。
		衣料品専門店（経営者）	・政策の変更などがあり、新型コロナウイルスの状況次第で、全く先が見通せない。
		家電量販店（店長）	・来客数の変動はみられないと考える。新生活などの需要が減少してきており、売上の増加も見込めない。
		家電量販店（本部）	・来客数が今後回復するかは不透明である。数か月は新型コロナウイルスの影響が大きいと考える。エコ家電などの買換えによる下支えに期待している。
		乗用車販売店（役員）	・引き続き受注が好調ではあるが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、終息がいつになるのか、又は更に悪化するのか先が読めない状況が続いている。積極的にものを買入したり、消費しようという心理につながっていかないと考える。
		自動車備品販売店（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が加速し、帰省やGo Toキャンペーン等への影響が更に拡大しており、終息までは先の見通しが何も立たない。第1波より深刻なのに日々の状況に感覚が麻痺している。経済より人命優先の対策を期待しているので、景気どころではない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・とにかくこれ以上悪くなってほしくない。
		スナック（経営者）	・国内外の情勢や東京オリンピック関連など、ますます混とんとしており、ネガティブになりがちである。
		観光型旅館（経営者）	・2021年も新型コロナウイルスの状況で先行きが全くみえない。その時々で対応していかなければならない。東京オリンピックが開催されるかどうか大きな潮目になるとみている。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの状況によるが、冬が終われば多少好転するかもしれない。しかし、冬の期間中は状況が好転するとは考えにくい。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦でさえ、販売量に大きな変化はみられない。新型コロナウイルスの影響で密にならないよう対応していることも影響していると考える。
		通信会社（営業担当）	・現在の状況が続けば、新商品の販売増加は見込めない。また、学生対象の割引も例年と比べて既に契約済の人が多いため、販売増加は期待できない。
		通信会社（役員）	・商戦期を迎え、例年同様の契約数を獲得できると考える。
		競輪場（職員）	・場内の3密回避対策が浸透し、新型コロナウイルス禍であっても来場者数に大きな減少がみられない。
		美容室（経営者）	・今のところ他県と比べて県内の新型コロナウイルスの感染者数は抑えられているが、これから県内にも感染者数が増えるとの不安が常にあり、消費行動が高まらない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの終息と人出が戻ってくるまでは、本当の景気回復、受注改善にはつながらないと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・Go To Travelキャンペーンの停止による影響は大きい。改めて観光客頼みであることを実感している。一方でネット通販は好調なので、以前の緊急事態宣言時のようにネットへシフトしている人が多いとみている。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス第3波により再び緊急事態宣言が発出される可能性が高まっている。こういった一連の報道によって外出を自粛する傾向が更に強まり、消費が更に冷え込む可能性がある。
		百貨店（販売促進担当）	・主軸であるアパレル店舗の撤退や、生産調整が継続的に行われるとみている。
		百貨店（営業企画）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加し続けたら再び外出自粛となり、厳しい環境になると考える。
		スーパー（店舗管理）	・降雪の影響にも左右されるが、来客数の回復が見込めない。販促費を掛けても費用対効果が出ない。また、青果物の出荷量も降雪により左右されるため、競合店との差別化が弱まる可能性が高い。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが再び広まってきている。
		コンビニ（店長）	・現在は新型コロナウイルスの状況が再び悪化しており、週末の売上激減が続いている。生活に必要なものに加え、し好品の売上が上がってきているが、それは電子マネー等のプレミアム付与に起因したものとみている。そのため、そのような施策が終わったり、客がそういう状況に慣れてしまったら、し好品を含む生活に必要なものの売上が激減していた今年の春のような状態に戻るのではないかと危惧している。新型コロナウイルスの終息見込みがあって初めて景気は好転すると日々考えている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くと考える。
		乗用車販売店（従業員）	・この地域での新型コロナウイルスの感染者数が徐々に増えており、先が読めない状況である。
		一般レストラン（店長）	・Go To Travelキャンペーン停止の影響がどのくらい続くのか、回復するのか分からない。ただ、Go To Travelキャンペーンが再開されてもこれまでのように人が動くか疑問である。
		一般レストラン（統括）	・年末年始のGo To Travelキャンペーンの一時停止が、消費者の動きたいという心理にストップを掛けたと考える。1月12日からGo To Travelキャンペーンが再開となるが、一旦停止したことにより、11～12月ほどの消費者の動きまでにはならないとみている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、新年会を中止にするところが多数あるようである。感染状況にもよるが、現在と同様の状態であれば厳しいと考える。
		通信会社（職員）	・新型コロナウイルス禍で来客数だけでなく、機器関係の納期遅延による出荷や工事の進捗にも少なからず影響が出ている。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルス感染者の増加により、経済が悪化する。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・年末年始の期間終了後、市中における新型コロナウイルスの状況が良くなるとは考えられない。
		住宅販売会社（従業員）	・今後、新型コロナウイルスの感染拡大が見込まれ、消費者の動きは鈍くなると考える。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの状況は、ここに来て都会と地方で大きな差が出てきている。全部同じように考えてしまう現状では、地方へのしわ寄せは大きく、景気回復には程遠いと考える。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・新型コロナウイルスの成り行き次第だと考えるが、再び緊急事態宣言が発出されそうで、先行きは明るくないようにみえる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、先行きが見通せないなかで景気回復は見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス禍で巣籠り傾向のため、買上単価や買上点数が減るなか、年越し後にもっと景気が悪くなるとみている。
	×	衣料品専門店（店舗運営）	・先の見通しが立たない状況であるため、買い控えが続くと考える。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・大みそかの東京都の新型コロナウイルス感染者数は、年末年始の外出自粛メッセージ性が強いニュースになったとみている。さらに、帰省客の減少によってエリア全体で人の増加が伴わないなかでは1月の来客数は厳しくなると考える。消費者の行動自粛が長引くようであれば、今後3か月程度は厳しい状況が続くとみている。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・現在はGo To Eatキャンペーンで集客が成り立っているが、3月中旬から開始予定の継続キャンペーンは、規模が小さく大きな効果は期待できない。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・12月28日～1月11日までGo To Travelキャンペーンが停止することにより12～1月のキャンセルが多数発生している。1月12日から停止解除になるかによって、今後の経営に大きく影響すると考える。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響が更に出てきて、宴会も含め回復のめどが立たない。
	×	タクシー運転手	・外出自粛ムードが続く限り、回復は難しいような状態である。
	×	テーマパーク（役員）	・全国的な新型コロナウイルスの感染状況がまだまだ先行き不透明である。Go To Travelキャンペーンの再開も、2月以降の延長発表もまだであることから、先行きの不透明感が大変強く、悪くなるとみている。
	×	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続く以上、状況が好転することはない。ワクチン接種が始まって、安心して暮らせるレベルに至るにはまだ1年近く掛かるのではないかと、悲観的な見通しをしている。
企業 動向 関連  (北陸)	-	-	-
		一般機械器具製造業（経理担当）	・企業の設備投資は依然として低調で、それに関連した需要が戻るにはまだ時間が掛かりそうである。一方、自動車関連の受注は好調に推移しており、国内や輸出についても中国、さらには先進国向けを中心に増加傾向にある。国内は急速に回復した需要に対し人手不足感が強まっており、企業間で人の行き来も出始めている。
		通信業（営業）	・新型コロナウイルス禍の影響に左右されるとみているが、例年は年度末決算企業が多く、特に2～3月は投資等が旺盛となり、良くなると考える。
		金融業（融資担当）	・受注や消費に持ち直しの動きもみられるが、足元では新型コロナウイルスの感染再拡大やGo To Travelキャンペーン中断の影響を受ける事業者が増加することを懸念している。先行きを悲観して事業継続を断念する事業者の動向にも注意していく必要がある。
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルス禍がもうすぐ1年になる。自社に関しても、末端での消費パターンは変わっても、マクロ視点での消費量は変わらないようにもみられ、第3波の拡大いかにかわらず堅調に推移するのではないかと考える。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスについてはまだまだ予断を許さない状況が続くと考える。本格的な回復にはかなり時間を要するとみられ、先行きは不透明である。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入具合をみて、変わらない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・英国での新型コロナウイルス変異などにより、欧州市場は再度厳しい状況が続くと考える。米国、国内市場も設備投資意欲が上がってこないとみている。
		精密機械器具製造業（役員）	・製造部門はキャパシティに対し受注残が増えている状況で、一部休日出勤なども始まっているが、国内、海外での新型コロナウイルス感染者増加による外出自粛やロックダウンなどの影響を心配している。
		不動産業（経営者）	・一般の個人客関係の問合せがかなり少なくなっており、状況が変わらない。同業者も同様である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞販売店〔広告〕 (従業員)	・12月も前年同月比を割っている。しかし、10月より3か月でみると減収率は平均化しており、上半期からの売上回復の天井に達した様相に映る。今後、100%の回復見込みはないが、この状況で推移していけばと願うばかりである。
		司法書士	・事業をやめざるを得ないという愚痴も聞くが、競争力を付けるための子会社再編、事業の見直し関連の仕事も多く、一方的に悪くなるともいえない。
		税理士(所長)	・ここ半年間、非常に厳しい状態が続いている。この厳しい状態が続くという意味で、景気は変わらない。見通しは新型コロナウイルス次第のところ非常に大きい。最近のニュースをみると、どうしても気持ちが上に向かないのは経営者も同じであり、将来が心配である。
		建設業(経営者)	・建設業界では建築関係需要の落ち込みが続くが、土木工事を主とする公共事業は年度末に向けて発注されるとみている。建設業界以外では、新型コロナウイルス禍で落ち込んでいる業界の中には、今年は何とか持ちこたえても、2021年3月頃には破綻する会社や商店が激増するとみている。
	×	建設業(役員)	・前年と比べて手元の受注量が減少しており、先行きも依然として不透明である。
	×	輸送業(役員) 金融業(融資担当)	・新型コロナウイルスの影響がある。 ・Go To Travelキャンペーンが停止となり、回復基調にあった観光や飲食関係が再度打撃を受け、年末年始の人や経済の動きが停滞するため、個人消費は落ち込む見通しである。
	×		
雇用 関連		-	-
(北陸)		人材派遣会社(役員)	・派遣登録者が激減し、マッチングが厳しい。
		求人情報誌制作会社 (編集者)	・新型コロナウイルスの状況が落ち着かないと求人が伸びない。
		新聞社〔求人広告〕 (営業)	・治療薬やワクチン接種で新型コロナウイルスが落ち着くまで、この流れは変わらないのではないかと考える。ここから徐々に元の生活に戻っていくのではないかと考える。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスが終息しない限り、雇用への影響は引き続き大きいとみている。
		民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルス禍が終息していない現状では、企業の求人が増える見込みはないように見える。できるだけ現状の戦力で対応しようとしている。
		学校〔大学〕(就職担当)	・状況が変わる要素はない。
		人材派遣会社(社員)	・外部からの要員充当ではなく、自社における役割見直し等で派遣要員の需要は低下するとみている。
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・県内でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向に転じ、人々の経済活動に影響が出るものと考えられる。年末年始も家で静かに過ごすという話を多く聞く。
	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染拡大、Go To Travelキャンペーンの停止などで先行きがみえず、雇用維持がやっとという事業所が運輸業や飲食サービス業で多い。	
	×	-	-

## 8. 近畿(地域別調査機関:りそな総合研究所株式会社)

(- : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		通信会社(社員)	・新型コロナウイルスの感染収束後は、従来の生活スタイルから大きく変化することが予想される。ただし、リアルからバーチャルへの変化のプロセスとして、高速のインターネット接続が欠かせない状況は変わらない。
(近畿)		一般小売店〔鮮魚〕 (営業担当)	・国や各都道府県の政策に加え、新型コロナウイルスの影響で状況が頻繁に変わるため、正直なところ、先は読めない。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスの感染拡大が一段落すると、春物衣料を中心に景況感は上向くと予想される。
		百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、徐々に接種が進むと、客の購買意欲が高まり、来店頻度も増えると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスの感染第1波、第2波、第3波と進むにつれて、感染の波は高くなっている一方、逆に人の動きは止まりにくくなっている。ただし、今後は感染第3波の沈静化や、世界的なワクチン接種の動きから、人の動きは活発化すると予想される。特に、春先は季節の変わり目でもあり、新型コロナウイルスの発生から1年が経過するため、徐々に開放感を求める雰囲気も強まり、消費者心理も上向くことが期待される。
		百貨店（外商担当）	・年末年始をステイホームで乗り切れば、2月以降の見通しは改善に向かう。
		衣料品専門店（販売担当）	・日本でもワクチンが接種できるようになれば、景気も戻ってくる。
		家電量販店（店員）	・テレワークが増え、家電量販店の商品の動きは若干良くなる。また、外に出たくても出られない状況や、年末から始まるGo To Travelキャンペーンの一時停止などで、自宅で過ごす人が増え、家での食事が余儀なくされる。その結果、調理家電の動きの増加も見込まれる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響については、少しずつ落ち着いてきたように感じる。一方、業種によっては厳しい企業もみられるが、全体的には知恵を絞って販売の活路を見だし、広げる努力を続けている。今後はワクチンの開発により、少しずつ良くなっていく。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・次のカタログが出る頃であり、受注量が増えることを期待している。
		高級レストラン（企画）	・Go To Travelキャンペーンの再開や、新型コロナウイルスの感染者数の落ち着きといった条件次第で、需要は上向くと予想される。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、需要が高まる時期である。
		観光名所（経理担当）	・インフルエンザなどの季節的な感染症の流行から想定すると、12月は早期の感染者が少しみられる程度で、1～2月で大規模に感染し、3月に収まっていく流れとなる。12月には増加傾向が始まるため、警戒が強まるものの、3月には減少傾向となるため、警戒が緩んで外出は増えると予想される。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの認可や普及により、安心感が広がると考えている。
		商店街（代表者）	・年が明けても、良くなるとは思えない。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどう動くか分からないが、2～3か月で回復するとは思えない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・これ以上売上が落ちることは今のところ考えられないが、現状のままでは景気の回復は見込めない。Go Toキャンペーンをショッピングの方でも実施しなければ、以前のような状態には回復しない。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・とにかく新型コロナウイルスの感染が、1日でも早く落ち着くことを願うしかない。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着くことを期待している。ただし、落ち着いたとしても、企業はこれ以上の売上低迷が続けば死活問題となり、従来以上に経済が回らなくなる可能性もある。手元資金の枯渇で商品が作れない、人件費の負担ができないといった悪循環が続くことも予想される。
		百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの変異種の発生といった不安定要素の影響で、年始もかなりの来客数の減少が見込まれる。この状況は今後も続くことが予想されるため、新しい販売手法などを試すほか、デジタル面での客との接点を多様化し、この難局を乗り切る活路を見いだしたい。また、高額商材の動きは良いため、時計や宝飾関連などの商材を広域にアピールする動きなどを強化し、次につなげるアクションを実施していく。
		百貨店（サービス担当）	・新型コロナウイルス対策を続けているため、来客数は変わらない。インターネット通販を強化し、催事の見直しを進めることで、現状維持はできそうである。
		百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が始まれば、やや気分も上がってくると予想されるが、まだ回復には至らない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種開始は明るい話題であるが、日本人の慎重な気質を考えると、普及に時間が掛かるため、日常生活に戻るまでにはまだ時間が掛かる。元々百貨店は高齢者層の購入が多いため、業態の転換や、地方の百貨店の閉鎖もあり得る。
		百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染の沈静化や、ワクチンの普及が進めば、消費マインドは改善するが、今年痛手を受けた企業業績の立て直しという大きな課題が残り、雇用情勢や賃金水準が安定するまでは苦戦が続く。また、米国の次期大統領と中国との関係、EUと英国の関係、アジア情勢といった日本を取り巻く環境の改善のほか、新型コロナウイルスの感染予防策が普及してインバウンドの動きが改善することも、大きなポイントとなる。
		百貨店（特選品担当）	・気温が下がり、新型コロナウイルスの影響が大きくなるなか、2～3か月先に客が戻ってくるかどうか、正直なところ分からない。
		百貨店（マネージャー）	・年始まで新型コロナウイルス感染の拡大傾向は続く予想される。それに伴い、年始の消費の分散化や、選択消費の傾向につながり、慎重で厳しい購買状況となる。その一方、ワクチンの有効性にもよるが、心理的な改善が進めば、一進一退の状況となりそうである。
		スーパー（経営者）	・医療のひっ迫などに伴い、特別措置法の改正や緊急事態宣言の発令などが行われると、4～5月と同様に日常の食品や生活用品を扱うスーパーの必要度が高まる。新型コロナウイルスのワクチンの接種が広く進むまでは、しばらく現在のよう状況が続くと予想される。ただし、少しでも安い店で買物する動きも拡大するため、利益は増えにくくなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がどう推移するかで変わってくる。飽くまでもイレギュラーな現象であり、見通しを立てるのは難しい。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響は長引きそうで、観光業や飲食、アパレル関連のダメージは大きい。一方、スーパーの来客数は前年比10%減で推移しているものの、以前ほどの自粛ムードはなく、それ以上のダウンにはなっていない。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの感染がまだ落ち着かない様子であれば、家での食事が増えるため、今と大きくは変わらない。ただし、週末のまとめ買い客も増えるため、平日は客が少なくなると予想される。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響に変化はない。
		スーパー（企画担当）	・食品スーパーとしては、新型コロナウイルスの感染が収束しない状況では、来客数が減り、単価が上昇するという傾向は変わらない。ただし、4～5月のような爆発的な売上増加にはつながらない。今後は、ニューノーマルとしての客のニーズに応えることが重要となる。
		コンビニ（経営者）	・当面、新型コロナウイルスの感染者数が大幅に減ることはない。企業のリモートワークが更に拡大し、数か月は来客数が低水準のまま推移すると予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がすぐに落ち着くとは考えられず、おでんなどの季節商材を売ることができないため、現状と大きくは変わらない。
		コンビニ（経営者）	・来年も新型コロナウイルスの影響は続くような気がする。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、大きな変動はない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ、今の様子が続くと予想される。
		コンビニ（店員）	・特に変化なく推移するような気がする。ここ数か月は余り状態が変わっていないため、大きく変化することはない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染第3波の収束時期がみえず、先行きが見通せない。3か月後に状況が上向くか下向くかの判断は難しい。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響もあり、購買意欲は必要最小限の身の回り品に向かう傾向がある。私に対応する住宅設備などは、工事に日数が掛かることもあり、当分は契約までのスピードが更に遅くなると感じている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波、変異種の発生など、今後はますます外出できない状況が続く。移動販売など、高齢者でも安心して買物ができる仕組みを、政府の主導で支援、推進する必要がある。
		乗用車販売店（経営者）	・新たなプラス要因が見当たらず、新型コロナウイルスの感染状況についても不透明である。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売や車検台数の予約は良くないが、中古車は売れている。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波や変異種の発生などで、余り良い方向に動くとは思えない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が見通せない。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が、景気の回復に多少は影響すると考えられるが、この数か月はまだ見通しが立たない。
		高級レストラン（スタッフ）	・1月も時短営業が続くことになり、先行きに明るさはまだみられない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンがそろそろ実用化されるものの、一般的に普及するまでにはまだまだ時間が掛かる。安心感が広がれば、景気も回復していくと予想されるが、それまでには時間が掛かりそうである。
		一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染者が増え続けているが、消費者は以前よりも気にしていないと感じる。これ以上は変化がない。
		観光型ホテル（経営者）	・観光業はGo To Travelキャンペーンの一時停止で、目先真っ暗の状態が続いている。新型コロナウイルスの感染者はそう簡単には減らず、一気に減る可能性はない。
		観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況であり、景気が回復する期待は薄い。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数は過去最多を更新しており、Go Toキャンペーンなどの対策も、停止期間が延長される可能性が高い。
		旅行代理店（店長）	・現状は新型コロナウイルスの影響で非常に悪くなっている。良くなる材料もなく、Go To Travelキャンペーンの一時停止も継続することが予想される。新型コロナウイルスの感染者も増えているため、悪くはなっても、良くはならない。
		旅行代理店（支店長）	・英国での変異種の発生のほか、新型コロナウイルスの感染収束もみえない。昨今の報道の影響で、一時はウイルスに慣れて旅行や外出を始めていた客が、再び停滞し始めている。ワクチンの接種が始まらなければ、今の状況は変わらないと感じる。
		タクシー運転手	・例年であれば、多くの人々が動く時期であるが、今年は政府からの外出自粛要請もあり、不要不急の外出は減っている。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、今の状況が続く。
		タクシー運転手	・今の状況を表現しようがなく、言葉が出てこない。
		遊園地（経営者）	・11月後半以降、新型コロナウイルスの感染第3波の影響で業績は急減速し、現時点でも回復の兆しがみられない。感染状況の改善がなければ回復はなく、見通しすら立たないため、余り希望はもてない。
		競艇場（職員）	・6～8月に掛けて、ステイホームの影響で電話投票やインターネット投票の売上が激増したのに比べ、若干の陰りはあるものの、今月は高いレベルで安定した売上となっている。今後も新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、しばらくは現状維持が続きそうである。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・まずは、医療のひっ迫が解決しなければ、経済の活性化に向けた取組も進まない。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・2月はコンサートが5日間予定されている。3月からは、プロ野球のオープン戦や公式戦が予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、中止や無観客になる可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないと考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージで服を脱ぐため、寒い時期は来客数が減少する。春先はまだ寒いので、余り変わらない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で、インターネットで見学を予約してから来場する客が増加している。いわゆる遊び客が減少した点は良かったが、本来の展示場の活気はなく、当分は改善が見込めない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・一部で不安定さはあるものの、住宅業界はある程度、堅調な動きが続く。ただし、年収の減少に対する不安から、今後は一次取得市場の落ち込みが懸念される。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・全て新型コロナウイルスに振り回された2020年であり、政府への不満が募るばかりであった。来年以降は、ワクチンの接種などで好転することを期待したい。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルス関連のニュースが増える一方であり、客の雰囲気も含め、明るさは感じられない。実際に、Go To Travelキャンペーンを利用した人もいれば、利用をやめた人もおり、客の中でも考え方が分かれるため、落としどころはなかなか難しい。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・良くなる要素が見当たらない。新型コロナウイルスの感染が収束しても、関東では東京オリンピックの特需はあるかもしれないが、関西方面は厳しい状況が続くそうである。
		一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束するかどうかによる。現状は3か月先に収まるとは思えないため、現状維持か、更に悪くなる。
		百貨店（売場主任）	・今後はワクチンを含めた新型コロナウイルス対策が焦点となる。今のところは、ワクチンの効果や普及が期待できる4月頃までは、苦戦が続くと考えている。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大は、2～3か月の周期で減少に転じるとは考えられない。今後は、外出の自粛要請や、営業時間の短縮要請が強くと予想され、売上の大部分を店頭販売で計上している百貨店では、来客数の減少による景況の悪化が進むと考えている。
		百貨店（マネージャー）	・Go To キャンペーンの一時的停止や、府内の医療体制への不安により、客足の先行きは不透明である。中高年層が客の大半を占めるため、新型コロナウイルスの感染がピークアウトするまでは、来店頻度の減少や滞在時間の短縮により、再び景況の悪化が見込まれる。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響は大きく、緊急事態宣言が発令される事態となれば、致命傷になりかねない。そこまではないとしても、外出の自粛を呼びかける期間が長ければ長いほど、企業の生産は減少し、個人消費は更なる減少につながると予想される。
		百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスにより、まだ景況に悪影響が出ると感じる。会社や事業所の景況は下降気味であるため、個人消費が更に悪くなる。今のところはワクチン接種のめどが立っていないが、めどが立てば回復に向かう可能性もある。
		スーパー（店長）	・今後、緊急事態宣言などが出ることになれば、ますます生活防衛意識が強まる。
		スーパー（店長）	・外出の自粛は今後も続くと予想され、衣料品を中心に売上の減少が見込まれる。
		スーパー（経理担当）	・春までの新型コロナウイルスの感染収束がみえないなか、スーパーは一定の売上を維持すると予想される。ただし、ボーナスや給与所得の減少により、景況全体に悪影響が広がることが懸念される。
		スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、今後も生活習慣に変化はないと予想されるが、景況感の悪化で客単価の低下が始まれば、一気に厳しくなると感じている。所得の減少している人が増えたと感じるため、状況を注視している。
		スーパー（社員）	・外食産業などの業績不振や、多くの企業でみられる冬のボーナス減少の影響が、今後は当社のようなスーパーにも徐々に広がり、売上の伸び悩みにつながることを懸念される。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・中小企業はもう体力の限界にきている。テレビ番組では新型コロナウイルスによるプラスの発想などが取り上げられているが、今の状況でプラスの発想はできない。何をどう展開していくか、資金源も乏しいなか、良くなる職種は一部でしかない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響がどうなるか、予想できない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束は難しく、企業の体力も限界にきている。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・外出の制限が強くなり、来客数が減少しそうである。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着く予感はない。社会全体に先行き不透明感が漂い、消費意欲が低下することで、景気が悪くなると予想される。
		家電量販店（人事担当）	・冬のボーナス商戦が終わると、春まで需要をけん引する商品がない。このまま新型コロナウイルスの影響が続けば、新生活需要にも悪影響が出かねない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波が猛威を振るっており、今後は緊急事態宣言の発令も視野に入ってくるため、状況は悪くなっていく。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスへの疲れによる客の変化がみられる。消費が前に進んでおらず、その影響が年明けに大きく出ると予想される。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・生活必需品や新型コロナウイルスの対策商品の売行きはとも良いが、感染が落ち着いてもこのまま続くかといえば、そうではない。賃金の減少やボーナスカットで安い商品しか売れておらず、ドラッグストアの売上は、新型コロナウイルス関連の需要がいかに続くかに懸かっている。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・商店街では新型コロナウイルスを理由に、いかに売上を増やすかを考えようとししない店主が大半である。これからの販売方法を考えなければ、売上は減り続ける。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染防止について、抜本的な対策が打てないなか、外出の自粛要請の長期化により、経済への悪影響がボディーブローのように効いてくるおそれがある。
		観光型旅館（経営者）	・今年の12月28日～来年1月11日まではGo To Travelキャンペーンも一時停止となり、その期間の予約はキャンセルとなっている。また、2月以降の予約もほとんどない状態である。今後の業況はキャンペーンが再開されるかに大きく左右されるため、1日も早い再開を望んでいる。
		都市型ホテル（総務担当）	・例年2月は中国の春節に伴うインバウンド需要が見込まれ、3月は春休みなどで観光客の宿泊が増えるが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2月のインバウンドは全くといってよいほど見込めない。3月についても、現在の予約状況は前年を大きく下回っている。
		通信会社（企画担当）	・寒さが緩み、新型コロナウイルスのワクチンが日本できちんと流通するようになるまでは、感染が収束しそうにない。
		テーマパーク（職員）	・Go Toキャンペーン関連の施策は間違っていない。新型コロナウイルスの感染拡大がまだ収まっていない外国からの渡航を禁止しなかったことが、ここまで事態を悪化させた最大の要因と考えられる。インフルエンザよりも致死率の低い感染症に、インフルエンザよりも過剰に対処せざるを得ない状況となっていることが、そもそもの大きな間違いではないかと感じる。
		競輪場（職員）	・例年の傾向からすると、今後はやや悪くなる。ただし、今冬も新型コロナウイルスの感染状況で大きく変わる可能性があるため、読みにくい。
		美容室（店長）	・身の回りに新型コロナウイルスの感染の話が近づいているため、来年度の動きが心配である。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者の増加による不安や、景気の悪さによる影響が出る。
		住宅販売会社（従業員）	・年末のボーナス減少に伴い、年収が減少すれば、住宅購入に対する融資額も減る。また、新型コロナウイルスの感染拡大による一層の経済悪化により、住宅の購入マインドは悪化する。
		住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しなければ、新規契約の進捗が悪く、先行きもみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・不動産融資への返済未払いの増加、失業者の増加、企業業績の悪化などが挙げられる。
	×	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・注文数の減少した取引先の営業継続が可能とは思えない。
	×	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・仮に首都圏で再び緊急事態宣言発出となれば、メーカーを始め、様々な商品の商談や流通に影響が出るため、予想以上に厳しい年度末となる。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が、年明けには更に増えるかもしれない。政府は経済と感染予防の両立を目指しているが、今のところは難しいように感じる。今後、政府がどちらに力を入れるにしても、経済への悪影響は大きく、市中の金回りは一層悪くなると心配している。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響でイベントがなくなり、贈答用の注文も減っている。感染が収束する気配はなく、この先も予約は減ることが予想される。
	×	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者の増加に、来客数は敏感に反応する。春先までは悪化すると予想している。
	×	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの影響は、まだ収まる気配がない。ボーナスの減少や失業者の増加が消費を冷え込ませ、景気は更なる悪化が見込まれる。
	×	百貨店（宣伝担当）	・欧州の状況も悪いなか、輸入商材の春物の入荷に影響が出始めている。国内メーカーも生産を絞り始めているなど、懸念材料が多い。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、人の動きが止まる。
	×	スーパー（店長）	・年末年始の支出に関しては、大きな節約はみられない。ただし、1月11日の連休明け以降、新型コロナウイルスによる景気の先行き不安で、消費の減退が予測される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・このままでは、外出したり遊びに行くことがなくなり、巣籠りの状態が続くと考えられるため、外出着が売れない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・年末年始のイベントや会合がことごとく中止になっている。1月の新年会もほとんどが中止で、成人式も縮小ムードである。お金はあるが、消費に回っているのは一部にとどまる。新型コロナウイルスのワクチンもさることながら、治療薬ができない限り、景気は戻らないと感じている。
	×	家電量販店（店員）	・今年1年間で、一気に来年以降の売上分も上がっているため、来年は売れないと予想される。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が改めて深刻化し、当然のように来客数が減ってきている。先行きは見通せず、五里霧中の状態である。
	×	住関連専門店（店長）	・家で過ごす時間の増加で、住まいを見直す人が増えたと報じられているが、販売の現場ではそのような傾向は感じられない。むしろ、まとまった費用が必要な住関連の出費は後回しという、以前からの意識が強まったように感じる。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・大手宅配チェーンなどは売上が伸びているが、卸売会社にとっては薄利な分野であり、一般の外食店などは大半が売上を落としている。利益の出る分野の売上が減っているのが現状である。
	×	一般レストラン（経営者）	・歓送迎会もなくなる見込みであり、やはり大きな宴会などの予約が入らなければ厳しい。
	×	一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染状況が悪くなるなか、営業活動が改善するとは考えられない。対策が更に強化される要素しか見当たらず、悪くなるとしか予測できない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・夏頃は新型コロナウイルスの感染者数が減少していたが、冬になって増加している。今後2～3か月間は、客の動きはかなり鈍くなる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止がいつ解除になるか分からず、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでは、非常に厳しい状況が続くと予想される。
	×	観光型旅館（経営者）	・先が見通せない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響が大きく、宴会や会議の延期が続いている。4月以降の開催予約は入っているものの、あらかじめキャンセル規定の確認を客から受けている。レストランは通常営業を続けていることもあり、ランチは好調に予約が取れているが、ディナーでの団体客は見込めないため、高単価商品で収入の確保を目指す。一方、客室はGo Toキャンペーンの停止などで、一斉キャンセルが入っているため、先行きは不透明である。
	×	都市型ホテル（フロント）	・Go To Travelキャンペーンが12月28日から全国で一斉に停止となったほか、新型コロナウイルスの変異種も発生している。今後、感染者数が激減することがなければ、停止の延長もあり得る。
	×	都市型ホテル（販売促進担当）	・客室部門は、現時点での1～3月の先行予約が10～11月時点の約30%に減少しており、景気は下向いている。Go To Travelキャンペーンの全国停止が解除されず、延長されることになれば、先の予約もキャンセルが増えると予想される。宴会、会議の予約や問合せは全く入らず、客による自粛の動きが感じられる。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・今後はますます新型コロナウイルスの感染者の増加が続くと予想される。新型コロナウイルスの感染拡大への抜本的な対策を行わない限り、改善されるとは考えにくい。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大を抑える、予防ワクチンの開発が望まれる。中途半端に経済を回さず、治療薬やワクチンを開発することが急務である。
	×	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンなど、新型コロナウイルスとの共生を前提とした経済政策がなければ、更に観光産業や地場産業、飲食業などは疲弊することになる。
	×	旅行代理店（役員）	・Go To Travelキャンペーンを既に利用した客も、相当な数に上ることから、反動で旅行控えが進むことも予想される。
	×	タクシー運転手	・企業関係の予約状況でいえば、年末年始の挨拶回りが全てキャンセルとなっている。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛といった不況感が漂うなか、タクシーの利用率は少なく、街は空車のタクシーであふれている。例えば、医療従事者の交通手段として政府がタクシーを斡旋し、初乗りチケットを渡すなどして、状況の改善をお願いしたい。
	×	観光名所（企画担当）	・全く先がみえず、言葉がない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、まだまだ先が見通せない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・ワクチンが話題になっているが、根本的に治療可能な薬剤ができなければ、感染は収束しない。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・新規事業の効果で、増収増益となることが見込まれる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・当社の主力製品の需要が少しずつ回復しているほか、特殊事情への期待もある。当社の紫外線やオゾン関連製品が、新型コロナウイルスの影響が長引くなか、来年から本格的に業績向上に貢献することが期待される。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・来年4月からの案件であるが、試作依頼や新規の受注が増えてきている。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・来年の2月後半～3月に掛けて、日本国内でも新型コロナウイルスのワクチン接種が、医療従事者から開始される。期待も込めて、景気は徐々に良くなる。
		輸送用機械器具製造業（役員）	・搬送設備関連の引き合いが増加しつつある。
		建設業（経営者）	・問合せが増えてきているため、今後は受注の増加が期待できる。
		広告代理店（営業担当）	・年度末に向けた動きのほか、新型コロナウイルスの対策が2～3月には効果を表し、広告活動も徐々に復活すると予想される。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の波が続くため、しばらく売上は変わらないと予想される。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響を受けることが予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・多少の不安はあるが、年度内はこのまま推移すると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（営業担当）	・年度末までは、売上は今のペースで推移する。
		一般機械器具製造業（経営者）	・3か月先も景気が好転するとは思えない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が少なく、受注量も低迷している。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・消費行動に大きな変化はないと予想される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・この先は見通せない。
		建設業（経営者）	・建設業は他の業界よりも動いてはいるが、今後の発注量については不安である。官庁関係は新型コロナウイルスによる税収減少で、従来の発注量を期待することは難しい。民間工事も、設備投資より人件費に資金を回すと予想され、工事は減少傾向となる。
		輸送業（商品管理担当）	・前年に比べて、配達量や販売量がかなり減少している。1～2か月先も忙しくなる様子がないため、状況は変わらない。
		輸送業（営業担当）	・大手百貨店から、お歳暮の配達という大口の注文が入った。スポットではあるが、利益は大きい。
		通信業（管理担当）	・通常であれば、年末年始は経済が活発化する傾向となるが、今年は新型コロナウイルスの影響で景気は低迷する。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の収束に期待している。
		金融業（副支店長）	・取引先からは、今後3か月についても、今以上に受注が増えることはないという声が多い。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染拡大への有効な対応が取られず、経済は停滞した状態が続いている。変異種なども出てきており、今後も悪化する傾向は変わらない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・年末の慌ただしさがなく、年明けの仕事の予定も少ない。
		食料品製造業（従業員）	・新商品も出しているが、テレビCMを流すわけでもない。新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛状態が続くなか、商品を認知してもらう手段もインターネットなどで工夫して配信しているが、なかなかすぐには販売増加につながらない。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、人や物の動きが再度ストップし、その影響が当面続きそうである。
		化学工業（経営者）	・受注が減少しているだけでなく、新型コロナウイルスの感染再拡大で訪問が禁止になった客も増えており、営業活動の制限が厳しくなっている。しばらくは景気の回復が見込めない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第3波が発生した上に、変異種が発見されるなど、感染収束の見込みが立たず、メーカーには先のみえない状況が続いている。
		建設業（経営者）	・このまま新型コロナウイルスによる各種の自粛が続けば、飲食関係の企業や従業員からの受注減少が懸念される。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスとリコールが重なり、客離れが予想される。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスで売上の落ちた中小零細企業が、いよいよ倒産し始める。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染を止めることが急務であり、先行きの景気は厳しい。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・飽くまでも12月との比較であるが、年末の新型コロナウイルスの感染者数の急増で、国民の自粛モードはより一層強まることになる。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が増えているため、経済も上向きにならないと懸念している。
	×	繊維工業（総務担当）	・販売先の倉庫には、新型コロナウイルスの影響で残った在庫がかなりあるため、新規の発注が非常に少ない状況である。
	×	化学工業（企画担当）	・年末の食品需要の増加で、一時的に販売量が増えている。ただし、年を越せば需要が減少するほか、Go Toキャンペーンの一時停止の影響も出ると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	不動産業（営業担当）	・東京での新型コロナウイルスの感染者が1300人を超えたとの報道があるなど、今後は緊急事態宣言を出し、ロックダウンのような状態とせざるを得ない。その結果、飲食店などの経営が苦しくなり、店舗も空いてくるため、今後はまだまだ景気が悪くなる。
	×	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、来月も続くと予想される。
	×	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・今年の業績を踏まえると、来期は改善が見込めない。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、年度内は設備投資を控えて、来期に持ち越されると考えられる。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染は簡単には収束せず、先が見通せない。
雇用 関連  (近畿)		-	-
		人材派遣会社（役員）	・新しい年になり、新型コロナウイルスへの対応が落ち着いてくることを期待している。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・英国では感染力の強い変異種が発見されたが、今後は新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかどうか懸かっている。日本では感染拡大に歯止めが掛からないものの、海外ではワクチンの接種が始まり、株価も順調に回復している。現状は、景気回復に向かう要素の方が多いと感じる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地場企業の動きをみると、広告、宣伝の意欲が高まってきている。
		民間職業紹介機関（支社長）	・新型コロナウイルスの感染収束を見込み、人材を先行採用する企業も出てきている。
		職業安定所（職員）	・現状は、食品関係の製造は新型コロナウイルスの影響をまだ受けていないが、他の製造分野は影響を受けており、派遣事業所関係に影響が出ている。
		民間職業紹介機関（職員）	・工場や店舗などの小規模な改修工事が、大幅に減少している。企業業績が悪化しているため、今後も設備投資は抑制される可能性が高く、建設関連の求人は低調な状況が続くと予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数は多少増えているが、求職者が減っているため、景気は余り変わらないと感じる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの変異種の動向が心配である。
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響次第である。感染第3波、第4波に対し、政府がどのような手を打つか、ワクチンがいつ頃出てくるかで決まる。それまでは人材の動きも緩慢であり、企業は年度末に向けて、派遣契約を延長するかどうかで悩むことになる。
		人材派遣会社（支店長）	・4月以降は全く見通せないため、何ともいえない。
		人材派遣会社（営業担当）	・春先までは状況が好転しそうにない。ニュースでも良い情報がない。
		人材派遣会社（営業担当）	・人員を増やすといった話がなく、派遣契約の終了が相次いでいる。この傾向は今後も継続しそうである。
		職業安定所（職員）	・景気の先行指標である新規求人数は、10月は11.1%減であったが、11月は9.6%増と増加に転じた。今年の1月以降は増減を繰り返しており、先行きは不透明感が強い。また、3月末に向けた希望退職の募集企業の情報もあり、今後は求職者の増加が懸念される。
	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響がどれだけ広がるかにもよるが、収束しそうにないため、雇用にも大きな影響が出る。	
	職業安定所（職員）	・新規求人の減少傾向が続くなど、企業の採用意欲が低下している。また、雇用保険の個別延長給付が終了した求職者も、新型コロナウイルスへの懸念から就職活動に消極的な人が多い。現状は、雇用環境の改善の兆しを感じられない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（営業担当）	・企業による22年卒の採用数は、21年並みの見込みであるが、学生の動きが例年よりも鈍く、まだ就活に向けて動いていない層が多い。就活サイトへの会員登録数も、例年の8割にとどまる。また、オンライン授業の一般化により、学生同士で就活情報を共有する機会がなく、自分の状況が理解できていない可能性がある。出遅れた学生は来年苦戦し、未内定者が続出することが懸念される。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・社会の状況が悪化し、企業の経営状態が悪くなっているため、採用活動も消極的にならざるを得ない。一部の業界ではテレワーク関連の需要が増えているが、社会全体の景気を押し上げるには至っておらず、先行きは厳しい状況が予想される。

## 9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (中国)		乗用車販売店（営業担当）	・決算期に入ることもあり、客の動きが良くなるため、来年3月までは景気は良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・ある程度新型コロナウイルスの終息にめどが立ち、景気も元に戻ってくる。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルスの影響が薄れているため、景気は良くなる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・年末年始に消費意欲が回復してきており、今後、景気はやや良くなる。
		スーパー（販売担当）	・客が密を避ける傾向にあり、買物も中心地から郊外への流れが日ごと強くなっていくのを顕著に感じている。新型コロナウイルスの影響が拡大するほど郊外型の店の客が増加する。
		スーパー（営業システム担当）	・今後も外食の自粛等が続くため、食品や日用品の売上は伸びる。また、高単価なものが売れる傾向にあるので、今後も景気は良くなる。
		家電量販店（販売担当）	・年が明けると景気は良くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況だった前年よりは景気は良くなる。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、サービスを中心に来客数が増加する。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが落ち着いてくれば、景気は良くなる。
		商店街（代表者）	・客との会話からも買い控えの様子が感じられ、景気が回復するような雰囲気を感じられないため、景気は良くない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、当分の間、状況は改善しない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・家計のなかで旅行や遊興費が少なくなる分、生活費に余裕ができる。
		百貨店（営業担当）	・現状から改善する点が見当たらないため、景気は変わらない。
		百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、今後もセレモニーやイベントの縮小、中止などが続き、売上が減少する。
		スーパー（店長）	・買物客に占める高齢者の割合が高いため、新型コロナウイルスの影響が続く間は、客が大型商業施設でなく、近くのスーパーで買物を済ませる傾向が続く。このため、今後も来客数は増加しないが、売上は増加する。
		スーパー（店長）	・現状から判断すると、よほど良い施策がない限り、景気は良くない。
		スーパー（店長）	・来客数の減少傾向が続くため、売上は増加しない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍で自粛ムードになると、スーパーでは若干、来客数や販売量が増加する。このため、このまま新型コロナウイルスの影響が続くと現在の状況が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、内食需要は堅調に推移する。
	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息するまで状況は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（業務開発担当）	・新型コロナウイルス禍で内食が増えているため、好調な状態が続く。
		スーパー（販売担当）	・全国では新型コロナウイルスの感染者数が増加しているが、自分の周辺の地域では新型コロナウイルスの影響を余り受けていないので、今後も景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の伸びが見込みにくいいため、景気は良くならない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないと景気は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が当面続くため、景気は変わらない。
		衣料品専門店（代表）	・外国人の入国を厳しくしない限り、新型コロナウイルスの感染者数は減少せず、景気は良くならない。
		乗用車販売店（営業担当）	・営業時間短縮が要請されて以降、新規の客が減少しており、今後も続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・初売りフェアを準備しているが、今の状況で客が来店するのかが不明で、今後も景気は良くならない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・歳末でも厳しい状況であり、年明けには売上が減少する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・3か月先も日用品や食料品、ステイホーム需要が顕著な反面、アパレルや飲食関連の苦戦は続く。新型コロナウイルスの状況次第では、更なる景気の悪化もある。
		一般レストラン（経営者）	・店舗の新型コロナウイルス対策はできるだけして、告知もするが、ワクチンの実効性が認知されるまでは厳しい状態が続く。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスが終息する気配がない以上、景気が回復する要素が全くない。また、客の傾向として自粛する際は反応が早い、回復の際は非常に緩やかになっており、景気が元に戻るにはまだ時間が掛かる。
		スナック（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスが終息しない。Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの対象から外れているため、厳しい状態が続く。
		観光型ホテル（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンが一時停止するため、年始は休館を考えているが、キャンペーンの延長に期待したい。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルス禍で人の動きが止まっているため、消費活動が停止している。年末年始の集客も期待できず、しばらく先行きが不透明な状況が続く。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの動向により景気が左右されるが、現状では景気は変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・早くワクチンができ、安心して旅行ができる状況になるまで耐えるしかない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		通信会社（企画担当）	・3か月後も新型コロナウイルスの状況は大幅に改善しておらず、ワクチンが広く使われるのもまだ先である。生活自体の苦しさから抜け出せない限り、身の回りの消費の変化は期待できない。年度末の卒業、入学等の時期になっても、消費抑制のライフスタイルは変わらない。
		通信会社（経理担当）	・現在の状況では先がみえず、景気は良くならない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染状況により大きく左右されるため予想しにくい、現状のままでは景気回復の見込みは立たない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの終息にめどが立たない限り、景気は上向きにはならない。
		ゴルフ場（営業担当）	・現在の予約は、1～2月が悪く、3月は例年と変わらない状況で、天候や新型コロナウイルスの広がり方次第では、伸びる可能性もある。
		競艇場（企画営業担当）	・今後も電話投票の売上が見込まれるため、変わらない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でかなりの打撃を受け、年配の客が戻らなくなっているため、今後も景気は良くならない。
		設計事務所（経営者）	・2～3か月先ではまだ民間からの仕事が出てくることは期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（経営者）	・12月に入り、新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策が実施され、期間も1月17日まで延長されている状況下で住まいに関する動きはしばらく見込めない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、経済活動が足踏みしているため、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・今年は新型コロナウイルスの影響で厳しい状況だったが、何か打開策がない限り、景気は良くならない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・年末から年始まで、今まで体験したことのない静かな正月になりそうで、今後、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・年始は例年、人出が少ないが、新型コロナウイルスの影響で来年は更に人出が少なくなる。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が拡大し続けているので、効果的な対策がなければ状況はより悪くなっていく。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がかなり出始めており、このまま感染者数が増加していくと店が開店していても来客数が減少していく。
		百貨店（売場担当）	・悪いニュースばかりで今後も景気が良くなることはない。シーズンの冬～春の端境期なので購買意欲は低下する。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響やGo To Travelキャンペーンの一時停止で、年明けから景気が悪くなる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの影響で、外販活動の規制強化や消費者マインドの低下が見込まれるため、今以上に厳しい状況になる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で人の動きがどんどん悪くなり、店の売上に響いてくる。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で客の収入が減少し、年明け以降、客の節約により売上が減少する。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスに関する報道や冬のボーナス減少で今後、景気はやや悪くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスが終息せず、県外からの客もGo To Travelキャンペーンの一時停止で期待できないため、しばらく厳しい状況が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息せず、厳しい状況が続く。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・来客数が増加しないため、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、政府が何か手を打たないと景気の悪化が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響が少しずつ出てきているため、商談の時間が短くなり、成約に結び付かない。
		乗用車販売店（店長）	・年末のにぎわいは全くない。年度末を迎えるが、自粛ムードのままでは見通しは暗い。中古車のネット販売だけはこの状況でも好結果を出せるのが唯一の救いであるが、厳しい状況は続く。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は良くならない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・地元の小さな市でも感染者が出てしまい、会食や旅行ができないため、ますます悪くなる。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止がいつまで続くか予測が難しい。再開したとしても、開始当初のような動きは戻らないため、景気は悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・1～3月は例年であれば、新年会、送別会、歓迎会、卒業、進学など祝い事が多く、多くの売上を上げることができるが、新型コロナウイルスの影響が続く現状では、期待ができない。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・閑散期に入ることや新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、一旦は持ち直すであろうが、再び感染拡大が進む可能性も高く、暖くなるまでは客が外出を控える傾向がしばらく続く。
		旅行代理店（支店長）	・現状施策があっても活用できる状況にならない限り好転は見込めない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・人の動きが良くなったり、観光客数が増加したりすることがないため、景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息しないため、景気は上向かない。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・特別定額給付金等の家計への施策がないなかで、新型コロナウイルスの拡大が続いていけば、短期間で家計にダメージを与え、急激に景気が下降する可能性がある。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルス禍で買い控えが続くため、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・冬の閑散期に入ること、しばらくは新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないことから、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響で景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息するまで景気の見通しが立たない。
		設計事務所（経営者）	・来場の動きが鈍い状況が長引きそうで、今後も厳しい状況が続く。
		住宅販売会社（営業所長）	・新型コロナウイルス感染拡大に対する人々の不安が浸透してくるため、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が地方に及ぶと景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続き、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・多少暖かくなるまで新型コロナウイルスの感染状況は変わらないので、景気が良くなることはない。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・人の移動が多くなると新型コロナウイルスの感染者数が増加し、客が来店を控える。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるなか、今後、来客数が減少し、取引先の事情で商品の仕入れも減少することから売上も減少する。
	×	コンビニ（エリア担当）	・今後、寒さが厳しくなり、新型コロナウイルスの感染者数の増加が見込まれるため、景気は悪くなる。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・2度目の緊急事態宣言が出ると景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・景気の底がみえず、今後も景気は悪くなる。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・年末年始は、毎年初詣や初売りなどの売上が上がる時期であるが、県外からの来客が見込めない状況で、飲食関係も営業自粛などが重なり、売上が伸びる要素がない。客の外出への抵抗感が日に日に増していることもあり、今後も更に厳しくなってくる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに対して客が過敏になってくるため、景気は更に悪くなる。
	×	観光型ホテル（宿泊担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立たないため、景気は悪くなる。
	×	観光型ホテル（副支配人）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止により、宿泊のキャンセルが発生し空室が増加している。今後、新型コロナウイルスの感染者数が日々増加することから、人の動きはますます鈍くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・景気の底が見えてこない。新型コロナウイルスの影響で自粛ムードが高まっていることから、今後も景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・新型コロナウイルス禍で、新しく物を買うなら、新型コロナウイルス対策に充てたいということが多く、通常の消費につながらない。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、景気後退は否めない。
	×	テーマパーク（業務担当）	・イルミネーションイベントが終わったが、今年は雪が多く降る予報が出ており、また、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念される。状況によっては、閉園等の対応等も考えられ、来園者の増加が望めない。
	×	その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・12月に入り新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にある。さらに、変異型も発生し、先が読めない状況下で景気回復は難しい。年明けに失業者や倒産する企業が増加してもおかしくない状況であり、人が集まる温浴業も客が遠のいていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息する様子がなく、客が警戒心を持って過ごすため、景気は悪くなる。
企業 動向 関連  (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車業界の様々な分野で忙しくなってくることから、景気は良くなる。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注の回復基調が続いていることから、景気はやや良くなる。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子・電池材料素材の受注が伸びてくるため、景気はやや良くなる。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの受注内示量が少しずつ盛り返してくる。
		輸送業（支店長）	・新型コロナウイルス禍で、以前より個人市場の伸びが良くなっており、特に今後、親から子への荷物が増加する。また、通販の需要も今以上に伸びてくる。
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期となるため、良くなる。
		化学工業（総務担当）	・今後の新型コロナウイルスの動向が不透明なため、景気は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、鉄鋼業の生産回復があり、現在の生産水準が維持できる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はなく、今後も景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・直近では新型コロナウイルスの爆発的感染で一定の業種への影響は甚大である。ただ、建設業においては、受注のスピードが落ちているものの、想定内の受注ができており、工事施工も順調である。
		建設業（総務担当）	・短期的には全国の大企業が一時的な売上確保に向けて、価格競争し、利益率が低下する懸念があるが、長期的には国土強じん化による公共工事、設備投資による民間工事で繁忙になる。
		金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの世界販売は、当面の間、前年比で1割程度の減少が続くため、系列の地元部品メーカーの受注も現状と大幅には変わらない水準を維持する。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しないため、受注量や販売量は上向かない。
		会計事務所（経営者）	・通常であれば年度末へ向けて業務量は増加するが、新型コロナウイルスの負の影響に相殺されるため、景気は現状維持となる。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数がすぐに減少することはないので、景気はやや悪くなる。
		食料品製造業（経営者）	・先行きが不透明な状況が続くため、景気はやや悪くなる。
		食料品製造業（総務担当）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止によって今後製品の出荷量が減少する。自粛ムードが続くため、業務用商品が厳しくなる。
		繊維工業（監査担当）	・対面販売が基本の業種にもかかわらず、感染対策としてリモート販売システムで販売を行うため、最低必要数の販売にとどまる。ある程度の売上は確保できる見通しだが、例年と比べると売上は減少する。
		木材木製品製造業（経理担当）	・住宅に関しては自宅で過ごすことが多くなるため、リフォームや郊外での広めの住宅の取得が増加する。ただ、全体的には本格的な冬に向けて新型コロナウイルスの拡大が続くため、今後2～3か月は景気は悪くなる。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響が危惧される。
	輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響により欧州向けの受注が減少し、景気はやや悪くなる。	
	通信業（営業担当）	・12月の急速な新型コロナウイルス拡大の影響がしばらく続き、情報機器の更改意欲が低下したままであるため、景気はやや悪くなる。	
	金融業（貸付担当）	・現状、新型コロナウイルスが拡大傾向にあり、終息の兆しもないことから、企業の業績回復は期待できない。	
	×	金属製品製造業（総務担当）	・受注量が生産能力の40%程度と低水準であることに加え、鉄の原材料価格が急上昇し、収益悪化に拍車を掛けている。少ない仕事を同業者間で奪い合っているため、販売価格への転嫁はできず、今後も厳しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	電気機械器具製造業 (総務担当)	・新型コロナウイルスの状況が悪化しており、今後、新型コロナウイルスが今以上に事業活動に影響を及ぼす可能性が高い。
	×	輸送用機械器具製造業 (財務担当)	・先行きは非常に不透明で、明るい話題が非常に乏しい。
	×	通信業(営業企画担当)	・テレワークがますます増加し、客との商談機会がなくなり、販売機会を逸してしまうため、今後、景気は悪くなる。
雇用 関連  (中国)		-	-
		人材派遣会社(経営戦略担当)	・新型コロナウイルスの状況次第だが、経済活動が徐々に復調していくことに伴い、求職活動が活発化する。
		人材派遣会社(支社長)	・景気が底を打った感があり、今後、公共案件も増加するため、今より悪くならない。
		人材派遣会社(支店長)	・本来であれば今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、求職者数が増加してもおかしくないため、年度末に向けて求職者数が増えることを期待している。新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は今と変わらない。
		求人情報誌製作会社(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、経済に対する先行き不安が高まっており、今後も景気は良くならない。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないため、新規の採用活動を抑制する企業が一定数発生する。
		求人情報誌製作会社(広告担当)	・新型コロナウイルス禍で多くの企業がこれまでの採用のやり方、採用業務の効率化などを検討している。動画を使った説明会も当たり前になっている。採用のWeb化により、県外に流出している地元出身の社会人や学生の採用が可能となっている。これからは自社にマッチした人材を確保するため、いかに時代の変化に対応できるかが重要な鍵になる。
		新聞社[求人広告](担当者)	・日本銀行や財務省の出先機関は景況感が改善されていると判断しているものの、12月から新型コロナウイルスが拡大傾向にあるため、今後については不透明感が漂う。
		職業安定所(所長)	・新型コロナウイルスの影響で受注が止まっていた自動車関係の金属加工業への受注が再開した一方で、同じ金属加工業でも製造機械や半導体製造機械では回復が遅れるなど、景気はまだ模様となっており、先が見通せない。
		職業安定所(事業所担当)	・新型コロナウイルスの影響が多業種に拡大しているものの、雇用調整助成金等の申請は減少に転じている。雇用環境は新型コロナウイルスの感染再拡大による先行き不透明感から見極めの状態となっている。雇用保険関係を前年と比べると、11月の適用事業所数は前年比2.4%の増加、11月の被保険者数は前年比0.3%の増加といずれも増加しているが、11月の資格喪失者数は前年比19.9%の減少となっている。11月の新規求職者数を前年と比べると、前年比0.6%と減少しているが、有効求職者数は、10月が前年比13.1%の増加、11月が前年比16.2%の増加と増加傾向にある。
		民間職業紹介機関(職員)	・Go To Travelキャンペーンの一時停止が復調したかに見えた観光ビジネスに水を差している。書き入れ時の年末年始には移動の自粛が呼びかけられており、巣籠り需要だけでは、経済をカバーしきれない。しばらくは厳しい状況が続く。
		学校[短期大学](進路指導担当)	・新型コロナウイルスの影響で企業活動が停滞するなか、新卒採用枠の拡大は見込めない。
		学校[大学](就職支援担当)	・倒産する企業もあれば、売上を伸ばす企業もあり、全体では、景気は変わらない。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスの影響で、飲食及び関連業界の業績が悪化しており、数か月先もこの厳しい状況が続く。
		職業安定所(雇用関連担当)	・Go To Travelキャンペーンの一時停止が雇用に与える影響の見通しが立たない。
		民間職業紹介機関(求人・人材採用担当)	・採用が買手市場となっているため、企業の選考基準が上がってきており、職に就けない層が出てくる。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの影響が建設業を除く全ての産業に広がっている。Go Toキャンペーンの一時停止の影響は経済全体に波及している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)		スーパー（店長）	・今後も様々な場面で、新型コロナウイルスの影響が出ると思われるので、地域に密着しているスーパーの需要は高まるものと思われる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍のなかではあるが、入学や卒業のシーズンでもあるため、新生活に向けた需要を期待している。
		コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスのワクチンに対する期待が高まれば、景気は少し良くなると思うが、その前に諸外国のようなロックダウンがあれば、再び落ち込むと思われる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束次第である。2～3か月先にある程度収束の兆しがみえれば、蓄積されたストレスの反動で、景気はかなり良くなるのではないかと予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・現在は客数と単価共に想像以上に良い状態である。これからバーゲンセールも予定しており、ある程度良くなっていくのではないかと期待している。
		競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン承認により感染防止体制が整ってくれば、期待感が膨らみ一般消費者の消費マインドが向上するため、景気はやや良くなると思われる。
		商店街（事務局長）	・新型コロナウイルスの変異種が国内でも確認されたとの報道は、ワクチン接種が国内で近々始まるとの明るいニュースを払拭してしまった。今しばらくは高齢者を中心に外出や消費を抑えた生活が続くと思われる。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が見通せない限り、消費マインドは復活しないと思われる。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、状況は変わらないと思う。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善しない限り、外食などの自粛が続き、自宅での消費が伸びたままになると推測する。
		コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍の先行きが全くみえず、消費が落ち込んだ状態が続いていくと思われる。
		衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、厳しい状況に変わりない。ワクチンの普及など、事態が大きく改善することがなければ景気回復は難しいと考える。
		家電量販店（店員）	・来年はシングル用の家電需要も例年ほど期待できない。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が出るおそれがあり、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売業（営業担当）	・年度末のキャンペーンを実施するが、新型コロナウイルスの影響もあるため、大きな期待はできない。
		乗用車販売店（従業員）	・景気は回復傾向ではあるが、新型コロナウイルスがそのまま拡大し続ければ売上に影響が出ると思われる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収束しないと、客の動きが出ないと思われる。Go Toキャンペーンの期間中は、県外から観光客がマイカーや公共交通機関を利用して訪れていたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大してからは、県内のタクシーやハイヤーの利用状況はかなり悪化している。
	通信会社社員	・今後は離脱率の低い低価格プランをプッシュするため、客獲得数は増加すると想定されるが、売上はしばらく変わらないと思われる。	
	通信会社（営業部長）	・余分な購入は減少していると感じるが、日常生活に必要な消費は減少していないと感じる。	
	通信会社（支店長）	・各社の新料金プランの発表が出そろうまで、大きな動きは起こりにくいと考える。	
	商店街（代表者）	・第3波が年明けすぐに収束するような様子もなく、かなり厳しい状況がこのまま続いていくように思う。春先にイベント等も計画中だが、中止せざるを得ないという意見も多く、かなり厳しい状態がまだまだ続くと思われる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・年末年始の夜の街関連の予約注文が少なく、閉店や送別の贈物の注文も散見される。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として会食の自粛が要請されており、年明けからはまた一層厳しくなると思われる。
		一般小売店〔酒〕(販売担当)	・新型コロナウイルスと季節型インフルエンザの同時流行のおそれ、ますます飲食店への客足が遠のくだろう。新型コロナウイルスが収束するまで先がみえない。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの感染が今後更に拡大し、人々が自粛生活を余儀なくされ、経済全体が委縮すると思われる。
		スーパー(財務担当)	・家で料理を作るという習慣はある程度定着すると思うが、景気の悪化や収入の減少で、節約志向が強まると思われる。
		コンビニ(店長)	・クリスマスの時期は好調であったが、それ以降は外出自粛の影響で朝の出勤時は前年並み、19時以降はほぼ来客なしといった状況である。この傾向は今後も続くと考えている。
		乗用車販売店(従業員)	・今月の新型コロナウイルス新規感染者の増加傾向をみると、先行きは不透明であり期待できない。
		乗用車販売店(役員)	・新型コロナウイルスの影響次第だが、Go Toキャンペーンやワクチンの効果が出れば上向くと思われる。
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・お歳暮や外出自粛による家飲みで、年末は繁盛していたが、2~3か月先はすごく悪くなると思う。
		一般レストラン(経営者)	・今後の新型コロナウイルスの感染状況によるが、ますます人の動きはなくなると思われる。ワクチンに期待したいが、早くてもあと半年は我慢の時期が続くのではないかと非常に不安である。
		美容室(経営者)	・新型コロナウイルス感染防止対策の時短営業や入店規制などが続いているので、景気が良くなる要因がなく、更に悪化すると思う。
	×	一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、商店街への人出自体が減少傾向にあり、現在の予想では更に悪化すると思われる。
	×	百貨店(営業管理担当)	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、Go Toキャンペーンの一時停止や行動規制が行われ、先行き不透明である。
	×	スーパー(人事)	・収入が減少する人が増加し、更に節約志向が高まると思われる。また、今後、収入格差が生まれるのではないかと考えている。
	×	コンビニ(店長)	・クリスマスから年末の状況をみても、人の動きはかなり鈍く、この状況下で閑散期の1~2月を迎えるのはかなり不安である。
	×	衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの収束がみえない現在の状況では、購買意欲は上がってこない。
	×	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン次第だが、投与開始時期は最短でも3月との報道もあり、景気が良くなる要因がない。
	×	観光型旅館(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が長期化すると思われ、人の動きが更に悪くなる。都市部の状況が改善しないと景気回復に向けたムードが盛り上がらないと感じる。
	×	タクシー運転手	・今の街の状況を考えると、新型コロナウイルスの新規感染者数が更に増加し、夜に飲みに出る人もますます減少することが予想されるため、景気が良くなる要素は何もなく、悪化する一方だと感じている。
	×	観光遊園地(職員)	・新型コロナウイルスの変異種の上陸により、収束の時期がみえなくなった。
	×	美容室(経営者)	・来年の予測ができない状況である。
	×	設計事務所(所長)	・このままの状態が続くと、建設業にも影響が出始めるようになると思われる。そうなると、かなり景気は悪くなると判断している。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		木材木製品製造業(営業部長)	・大手ハウスメーカーの販売戸数が回復しており、この状況が続けば順調に回復していくと予想している。
		電気機械器具製造業(経営者)	・新型コロナウイルス禍のなかで、再生可能エネルギーの設備に関する需要は一定数あり、今後もこの状況は続くと考えている。
		電気機械器具製造業(経理)	・短期ではあるが、今後2~3か月の需要は継続する見込みである。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスの影響が少しずつ減少していく可能性があると考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者の増加に歯止めが掛からないと推測する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響でウェットクリーナーの売上が伸びていたが、最近では供給過多になっている。原因は同業他社や海外企業の供給力がアップしたことが考えられる。しかし、需要は依然として高く、当社の売上が急激に落ちることはないと考える。
		建設業（経営者）	・年度末に掛けて繁忙期に入り、安定的な売上を見通すことができることに加え、補正予算や次年度予算に対する期待感があり、景況感は今までと変わらない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響と人手不足が心配である。
		輸送業（営業）	・年度末にあたる3月に決算を迎える企業も多く、例年であれば3～4月は取扱物量が増加する繁忙期にあたるが、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の収束が見通せない現状においては、景気の動向を予測しづらい。
		通信業（企画・売上管理）	・3月までは都市部の大手企業を中心に、一定の売上を期待している。
		広告代理店（経営者）	・Go Toキャンペーンの効果等で少し上向いてきていたが、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の影響で、客の販売促進広告計画の変更があり、今後も削減傾向が続くと予想されるため、余り変わらない見込みである。
		農林水産業（職員）	・寒波の状況次第だが、新型コロナウイルス禍の影響は大きく、業務用品目を中心に厳しい販売状況が今後も想定される。
		繊維工業（経営者）	・今年を振り返ると、インバウンドの恩恵があった全国の有名観光地の落ち込みは70～80%弱と大変厳しく、まだしばらくはこの状態が続くものと思われる。ここ2～3か月はその他の地域の売上でカバーし、全体では前年並みを確保してきたが、新型コロナウイルスの第3波が発生し、これまで良かった地域が悪化すれば当社も全体では厳しくなると予想する。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの第3波の影響で、Go Toキャンペーンの一部が停止されたことにより、再び悪化すると考える。
		輸送業（経理）	・当地域内での新型コロナウイルスの影響は限定的だが、都市部への原料輸送や海外向けの輸出に関して影響が出てくると思われる。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、対面営業を行う商材の販売に影響が見込まれる。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・受注残も底を突き始めている。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の継続や原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
	×	輸送業（経営者）	・先がみえない状況である。
	×	金融業（副支店長）	・Go Toキャンペーンも一部中止となり、第3波の沈静化にはしばらく時間を要すると思われる。特に飲食や宿泊関係の経営者は再度の大打撃を懸念しており、事業存続が厳しい取引先も増加している。
雇用 関連		-	-
(四国)		-	-
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により、人の動きが若干増えてきて、状況は緩やかに改善していたが、現在は日本全体で新規感染者数が増加傾向となっている。Go Toキャンペーンの一時停止等、第3波の襲来で状況は既に悪化しており、この状況がしばらく続くと思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で企業が採用活動を控えると思われる。
		人材派遣会社（営業）	・年末年始から人の移動自粛が要請され、これまでの常識では通用しない状況となっている。飲食や交通、宿泊、観光などに関わる人材の雇用維持が不安定になってきており、今後は新しい様式のビジネス体制が求められる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌（営業）	・不景気業界での離職が増加し、求職者数は増える見込みだが、今後求人の増加が見込める主な業種は、一部の製造業と介護福祉業界のみである。そのため、求職者と求人側のマッチングがスムーズにいかず、景気としては悪化すると思われる。
		求人情報誌制作会社（従業員）	・新型コロナウイルスの第3波の影響により求人数の減少が予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・早く経済活動が元に戻ることを期待している。
		職業安定所（職員）	・3月の離職者が最も多くなると考えられるが、その離職者が再就職できるかどうか、求職者数と求人数の動向も注視する必要がある。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、宿泊業を中心に観光関連の求人は今以上に厳しくなる可能性がある。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が今後更に増加していけば、景気回復は一層厳しい状況になると危惧される。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、企業の生産活動の不安定化やサービス業の需要減少が進んでいる。それに比例して、派遣社員の需要もなくなってきており、先行きがみえない状況である。

## 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルス第3波が落ち着き、人の動きが出てくる。年末年始のGo To Travelキャンペーンの一時停止が解除され、国内旅行が復活すると予想している。
(九州)		競馬場（職員）	・来客数の更なる増加が見込まれる。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が始まり、暖かくなる3月には、今の状況より若干上向くと期待している。
		スーパー（統括者）	・年末商戦は、新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が増幅すると予想され、当社の強み期間になる。数百品目の安心価格も好調であり、若干期待ができる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンに期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・第3波の抑えこみとワクチン接種開始に期待している。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルスの影響で、ステイホームが多くなると近隣の事業所の休業が多くなるため、巣籠り需要でコンビニエンスストアの利用に変化があり、第1波の状況のように売上や客数が伸びると予想される。
		家電量販店（従業員）	・年末年始の買換えと暖房器具の需要が増加していることで、若干良くなる。
		乗用車販売店（総務担当）	・年度末の需要期でもあり、前年レベルの販売台数や売上高を確保予定であるが、新型コロナウイルス第3波の影響が懸念される。
		観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルスの状況次第であるが、暖かくなって収束し、旅行ブームが始まることに期待している。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で止まっていた予算が、確定し始めている。また、新型コロナウイルス終息後に向けての企画や引き合いが増えている。
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスワクチンの配布が開始されれば、多少回復すると見込んでいる。
		学習塾（従業員）	・3か月先は春になり、新型コロナウイルスは落ち着くと考えている。
		住宅販売会社（従業員）	・グリーン住宅ポイント制度の公表によって住宅検討の材料は増え、上向き傾向になっていく。
		商店街（代表者）	・このままの状況では、影響が大きくなり先行きが全くみえず、当地でも感染が拡大しているため、来年もこの状態が続くと懸念される。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、状況が変わらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの状況によるため、全く予想が付かない。ワクチン接種に期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・消費回復が少しでも上向きになることに期待したいが、地方では、近隣で新型コロナウイルス感染の報道が流れた途端に外出控えが発生し、商店街の人通りは減少し、売上に響いている。今後の不安を隠せない。
		百貨店（企画担当）	・寒さのピークと、年度末が近づくとつれ、人の往来や接触がこれまで以上に活発になる時期が重なるため、新型コロナウイルス感染拡大による客足の鈍化が懸念される。
		百貨店（営業担当）	・ギフトやクレジット催事利用、年末年始商品購入のための友の会金券やプレミアム付商品券の利用は好調である。帰省自粛や県外客との接触警戒による外出抑制で3世代の来店は依然減少しているものの、購買意欲はあり、季節催事のWebや通販受注は伸びている。店頭での自家需要のための紳士・婦人衣料雑貨や家電製品、し好性の高い舶来雑貨、時計、工芸品は堅調であるが、一方、慎重な行動姿勢・生活防衛意識は依然継続しており、街への外出抑制が強く回復感が弱い。
		百貨店（売場担当）	・1月は各店対策をして初売り等に臨むため現状の流れが継続し、2月はイベントが中止になることで全体的な数字が減少すると考えられる。しかし、3月は前年が落ちすぎているため上向くと予想している。
		百貨店（経営企画担当）	・来客数の減少傾向は継続しているものの、客単価の増加により売上は回復傾向にあるが、現在、新型コロナウイルス感染者の増加傾向が強まっており、先行き不透明な状況が続いている。
		百貨店（プロモーション担当）	・ワクチン接種で新型コロナウイルス禍が落ち着いても、消費者の価値観が変化し、戻らないのではないかと考えている。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス禍により、年末年始の帰省自粛や外出自粛といった状況となっており、本来ならば消費が拡大する年末商戦も予想ができず、微妙なところである。年明けも感染が拡大すれば、再度巣籠り需要による売上増加も見込まれるが、以前とは違い、消費者も新型コロナウイルス禍慣れしているため、巣籠り一辺倒とはいかず、外食やテイクアウト、デリバリー等を組み合わせた生活様式を選択でき、さほど上向かないとも考えられる。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスがほぼ収束すると旅行や外食、宴会、外飲み等で一気にスーパーマーケット需要が落ちると予想しているが、急激な収束はないと考えている。
		コンビニ（経営者）	・3か月後も新型コロナウイルスのワクチン効果は未知数であり、不安定材料も多く、厳しい状況は大きく改善されない。
		コンビニ（経営者）	・年末の予約商材であるクリスマスケーキは、新型コロナウイルスの影響で大々的にキャンペーンをしていないこともあるが、前年と比較して低調な結果になっている。おせちは高額品に客の目が向き、良い結果となっているが、客の全てに対する自粛や第3波の影響で、出口がみえない状態である。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が始まれば、心理的にも景気は上向き、買物利用も増加すると考えられるが、テレワークやリモート等のニューライフは継続するため、当面は現状維持である。
		コンビニ（経営者）	・政府の発表やメディアの報道等では、新型コロナウイルスの終息は当面見込めず、外出自粛要請や飲食店の時短営業要請等により、経済活動の回復が見込めない。
		コンビニ（店長）	・一刻も早くワクチン接種が開始され、沈静化に向かうことに期待している。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスが収束する気配が全くないが、その状況が続けば巣籠り需要は継続する。
		家電量販店（店長）	・前年比2けた伸長が続いており、新型コロナウイルス禍で依然として家電業界は好調である。再び感染者増加により、自宅で過ごす時間が増え、この流れが継続すると予想している。
		家電量販店（店員）	・家電量販店では、新型コロナウイルス禍であるが、余り影響が出ていない。逆に巣籠り需要により、テレビやビデオ関係、ゲーム機が非常に動いており、前年比100%の売上がある。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（総務担当）	・当面現状のまま推移すると予想されるが、新型コロナウイルス感染の長期化による消費全体の落ち込みが懸念される。
		家電量販店（広報・IR担当）	・現在、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、先行き不透明である。ワクチンの接種状況も判断していく必要がある。
		乗用車販売店（従業員）	・現況では、なかなか見通しができない。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・毎年12月のコーヒーの売上は、歳暮需要もあって客単価が上がり、増加傾向にある。今年に限っては、来客数は減少しているものの、売上は前年より僅かであるが増加している。年が明けてもこの状況は余り変わらないと考えられる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格の見込みは、予想しづらい。都道府県をまたぐ移動は自粛傾向にあり、当地を訪問する観光客やビジネス客は、余り期待できない。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルス第3波が収束しない限り、Go To キャンペーンの再開も見込めず、厳しい状況は続く。
		都市型ホテル（販売担当）	・Go To Travelキャンペーンの延長が決まり、2月までは何とかしのぐことができそうだが、非常に不安である。
		旅行代理店（職員）	・1月11日まで決定しているGo To Travelキャンペーンの中止が延長されなければやや良くなる可能性があるが、現時点では中止延長も想定されるため、変わらないと予想している。
		タクシー運転手	・まだ新型コロナウイルスが終息する気配がないため、横ばいが継続する。
		通信会社（業務担当）	・今後の新型コロナウイルスの影響により、悪くなる可能性がある。先が読めない状況である。
		美容室（経営者）	・2～3月の景気は、通年下がり気味であるが、12月は高い数字ではないため、横ばいで推移していくものと予想している。飲食業のように9割減少ではないため、新型コロナウイルスが少しずつ収束していけば、ファッション産業は徐々に回復していくと考えられる。
		設計事務所（所長）	・結果は2～3か月後に出るため、現在の悪い状況が続いている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍が収束しなければ、全ての状況が回っていかず、売上にも大きな打撃を受けている。今後の新型コロナウイルスの影響による客の動向を危惧している。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・まだ第3波が底打ちをしておらず、年末年始には人の動きもあり、1～3月は新型コロナウイルスの影響を見極める時期になると予想される。人や物の動向に注視しており、厳しい状態が続く。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・年明けは例年悪くなるが、今年は帰省客も少なくなるため、土産等も減少することで、現状より若干悪くなると予想している。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店向けの卸売が、更に悪化するものと予想される。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大のためにGo To Travelキャンペーンも中止となり、来客数は回復しない見込みである。福袋やクリアランスセールといった正月商戦も規模の縮小を余儀なくされている。
		百貨店（営業担当）	・Go To キャンペーンは、混乱を招いただけで、失敗である。
		百貨店（販売促進担当）	・年末年始に突入し、来客数が増加しているが、新型コロナウイルスの影響で減少することが予測される。
		百貨店（業務担当）	・成人式の中止など、コト需要が大きく減少すると、しばらくは大きく停滞すると予想される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気動向は変動する。したがって、現状の段階では、景気は下降すると推測される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・年末年始の帰省客減が、来客数に大きく影響すると予想される。福袋は前年実績並みの数量確保をしているが、アパレルテナントは事前予約にシフトしており、これも来客数の減少につながる懸念される。一方で1月4日から通常業務が始まることから、日常的な消費は、早く回復すると予測している。
		衣料品専門店（総務担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況による。
		住関連専門店（経営者）	・12月は感染者の増加が止まらず、年末年始この状態が継続すればキャンペーン中止になり、今年の2～3月のような先行きの厳しい状況が考えられる。
		住関連専門店（従業員）	・高級寝具の需要は、春が近づくにつれピークアウトするため、売上は落ち着いていくと考えられる。また、新型コロナウイルスの変異種のまん延等ネガティブな要素があり、先行きが懸念される。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、景気は悪くなる。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・年末年始が明け、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めが利けば、前年超過している今の水準を保つことができるが、感染者数とワクチンの状況からも、今後2～3か月の先行きは明るくない。倒産が増える前に、支援策に期待したい。
		観光旅館組合（職員）	・このまま新型コロナウイルス感染者数が増加すれば、Go To Travelキャンペーン再開も延期される可能性があり、先行き不透明のため非常に不安である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・第3波がいつまで長引くのか、また、新型コロナウイルスの変異等の不安定材料ばかりで、先行きは不透明である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況と対策に大きく左右されるが、夏までこの状況が繰り返されると予想される。
		タクシー運転手	・全てが新型コロナウイルス収束に懸かっているため、見通しが立たない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスに起因すると考えられる需要増加がほぼなくなり、低調な販売量に戻ると予想される。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響が出てくると予想される。
		ゴルフ場（従業員）	・ここ2～3年は積雪もなく、韓国人来場者も順調に推移していたが、今年は韓国人来場者が見込めず、積雪の予想もあり厳しい状況が予想される。
		ゴルフ場（営業）	・首都圏を中心に、新型コロナウイルスの流行が収まる気配がない。
		美容室（店長）	・今月は少し良くなっているが、2～3か月先は新型コロナウイルスの影響が分からないため、予測できない。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・委託契約業務は、年間契約をしており、今年度に限っては影響は少ないが、再契約の際には単価見直し意向が強い。また、年間契約でないサービス業務は、明らかに売上が落ちてきており、今の新型コロナウイルス禍の状況では回復を望めない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・第3波の感染拡大状況によっては、第3者の訪問リスクから、サービスキャンセルが増加することが懸念される。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・冬季に掛かり、新型コロナウイルス感染の拡大が景気に影響してくると考える。
		設計事務所（代表）	・イベント自粛により、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍にあり、感染者数増加の影響により、来客数も間違いなく減少すると予想しており、明るい兆しが無い。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが流行している状況では、景気は良くならない。
	×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえないことが主因である。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの終息が分からないために、先行き不透明で予測が立てられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（店長）	・外出が減少すると新しい洋服も不要になり、来店する機会も減少している。そのため、売上が上がり、明るい要素が見られない。
	×	乗用車販売店（従業員）	・初売り商戦後は、新型コロナウイルスの影響が出そうである。
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響が、かなり出てきそうである。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが感染拡大し、ワクチンをすぐに接種できないため、ますます人の動きが止まり、忘年会や新年会等が9割なくなっている。来年は一層悪くなるのではないかと危惧している。
	×	高級レストラン（経営者）	・2～3か月後は、全く見通しができない。年明けの予約状況もパラパラで、今後新型コロナウイルスがどのように影響するのか、また、収束後に来店客が戻ってくるのか予想できず、懸念している。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況による。Go Toキャンペーンの実施は評価できるが、中断されることによる危機感や自治体の明確な取組がなく、先行きがみえず不安しかない。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・全てにおいて悪くなる要因しかない。
	×	スナック（経営者）	・12月に入り新型コロナウイルス感染者数が増加しており、今後は更に気温が低下し、ますます感染者は増えていく可能性が高い。その影響により、宴会や会食も自粛され、来客数は大幅に下がると予想され、忘年会の予約も軒並みキャンセルされている現状から、新年会や春の歓送迎会も期待できない。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・年未年始に見込んでいたほどの売上がなく、通期見通しも下方修正となる。会社業績が給与やボーナスにも反映され、また雇用調整助成金の特例も2021年2月までとなり、それ以降の雇用も今後不透明である。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、収入減少傾向になっており、個人や企業で建物を新築、増築する事は当分の間見合わせると考えられる。そのため、今後の業務に大きく影響すると予想される。
×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、ステイホームが多くなり、年未年始の消費動向が動いていないために、3か月先は景気が悪い状態が継続する。	
企業 動向 関連  (九州)	-	-	-
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末に向けた予算実行が見込まれるため、若干良くなる。
		化学工業（総務担当）	・自動車関連製品の需要が持ち直している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の生産計画が、上向きである。
		精密機械器具製造業（従業員）	・前月後半から受注量が増産傾向にあり、2021年3月までは受注増産が継続する計画である。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・3月から生産アップの情報はあるものの、新型コロナウイルスにより、今後の状況も変わる可能性があるため、先行き不透明である。
		建設業（従業員）	・大型物件の受注が取れそうである。また、物件の着工が始まり、見積案件も程々にあり、景気は良くなると考えられる。
		広告代理店（役員）	・第4四半期予想が、現状よりも回復基調を示している。
		農林水産業（経営者）	・1～2月は通常でも伸びない月である。3月は移動や行楽シーズンで12月に次ぐ期待できる月ではあるが、現況では自粛ムードで期待できそうにない。しかし、2～3月に掛けワクチン接種が始まる報道があり、消費者心理の変化に期待をしている。ただ、基本的には外食部門が元の状態に戻るとは考えられず、新しいビジネススタイルへの転換も考えなければいけない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・通常の地元取引は、余り変わっていない。新型コロナウイルス禍で出張もままならない状態ではあるが、インターネット販売でのふるさと納税は、前年より随分伸びている。今後、新型コロナウイルスの影響によっては、状況は変わっていくのではないかと危惧している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（事業統括）	・新たな建築設備投資を客から感じられず、新型コロナウイルスの終息に懸かっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・客の機構上の問題や米中貿易摩擦、また、新型コロナウイルスという大きな問題が解決されなければ前向きにならず、期待する状況にならないため懸念している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・増産計画はないが、10月からの下期生産計画も高水準で安定している。
		建設業（社員）	・今年度は、災害復旧工事の予算も補正されているため、発注され受注できる状況である。技術者や作業員不足では、手の付けようがないが、技術者は、兼務が認められているため、災害復旧工事が年度初めも継続して発注されることを期待している。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、明るい材料がない。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は、経済にダメージを与えている。一方、厳冬により機能性衣料品や暖房機器等に関する購入意欲は増える見込みがある。今後は、新型コロナウイルス変異種をいかに封じ込めるかが鍵になる。
		通信業（職員）	・年度末までは受注済みの案件対応で、売上量も見込める状況である。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの変異種出現で、収束や景気の先行きには不透明感が広がる。中小零細企業や個人事業主の資金繰りは切迫しており、より効果的な経済対策や支援策が求められる。
		金融業（得意先担当）	・飲食業では、予約がキャンセルになるなど売上回復が見込めない状況になっている。当面足元の資金繰りを注視する必要があり、大幅な改善は見込めない。
		不動産業（従業員）	・賃貸マンション物件の入居率が横ばいに推移している。
		経営コンサルタント（社員）	・外部への働きかけが難しい現況では、新しい動きは見られそうにない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・客の人材投資は、若干増えつつあるが、この先、再度投資を控える企業も出てくる。
		食料品製造業（経営者）	・商品主原料の農産物が不作のために減産が見込まれ、受注調整を行わなければならない。
		繊維工業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第のため、すぐに良くなることはまずないと考えられる。Go Toキャンペーンが開始された頃に戻る必要がある。
		家具製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの第3波が猛威を振るっており、コントラクト市場はより一層冷え込むことが予想される。また、消費財とは異なる点から巣籠り需要における特需は期待できず、先のみえない状況が当分の間は続くものと考えられる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で、一部の生産計画が下方修正となっている。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが不透明なため懸念される。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び大幅に増加してきたことから、Go To Travelキャンペーンが全国一斉に停止され、ホテルや旅館、飲食店等では先行きを不安視する声が増大している。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の急拡大によりGo To Travelキャンペーンの一時停止になり、人の動きが当面鈍ることが予想される。取引先でも積極的な設備投資や資金を必要とする事業拡大は、1か月でマインドが冷えている状況である。したがって、新型コロナウイルス感染者の増減次第ではあるが、2～3か月先の景気は悪くなる。
		金融業（営業）	・上向いてきた国内消費は、新型コロナウイルス第3波で、再び下降すると考えられ、書き入れ時である12月の落ち込みの影響は大きい。また、今後のプラス要因も乏しく、当面景気は停滞する。
		金融業（調査担当）	・地場企業の多くが、新型コロナウイルスの影響によるセーフティネット保証制度を利用し、順次当該借入金の返済が開始される。ただ、感染再拡大で資金繰りや事業継続に影響を及ぼす懸念があり、今後は、各国の経済対策の効果や雇用、所得、企業の倒産件数の動向等、幅広く注視していく必要がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		新聞社〔広告〕（担当者）	・ITや医療関係等好調な業種はあるが、それ以上に状況が悪い業種が多い。	
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・今期についても厳しい状況が続いているが、新型コロナウイルスの更なる増加に伴い、景気はより悪化する可能性が高い。	
	×	農林水産業（従業者）	・年始は、更にモノの動きが悪くなると危惧している。	
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・12月の駆け込み需要が、売上を多少引き上げたが、見積りや引き合い件数の減少幅が大きい。1月以降の事業運営は更に厳しくなる。	
	×	経営コンサルタント（社員）	・家庭用マーケットは活発であるが、業務用販売の減少が大き過ぎるため、全体の悪化となっている。	
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・補正予算による調査や計画策定等の委託業務のコンサルタントへの発注が少ない傾向が続くことが予想される。今年度は当初の見込みより受注が減少することになり、経営的に厳しい状況が続く。一部の県のように当県からの移動の制限が行われると業務の継続にも影響が出るおそれがある。	
雇用 関連  (九州)		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチンも開発され、時間の問題である。どの企業も景気 の先取りになると考えられ、景況感は急速にアップする。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの状況が若干好転することが期待でき、加えて、春には駅ビルオープン等景気が活性化されるトピックもあるため、少し上向くものと予想している。	
		人材派遣会社（社員）	・派遣だけでは厳しい状態が続く、業務委託や直接雇用案件等にも力を入れ、何とか次年度の業務体制を維持していく状況である。	
		人材派遣会社（社員）	・年始の新型コロナウイルスの感染者数にもよるが、多くの企業の担当者は、今の体制で様子を見ている。また、求職者の動きも鈍くなっている。	
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の終息の見込みが不透明である。	
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・対面に加え、オンラインによるインターンシップの実施等、採用選考活動に向けた動きがみられる。継続的な企業活動により、多くの企業で採用者数を大幅に減少させることは考えにくい。新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続し、新卒採用者数の調整は、更に進むと予想される。	
		人材派遣会社（社員）	・長期の人材依頼数が減少している。	
		人材派遣会社（社員）	・雇用調整助成金が2月末に終了するため、経営が厳しくなる取引先が増加すると考えられる。	
		職業安定所（職員）	・飲食業や宿泊、観光業の事業所から先行き不透明感に対する不安の声が増加している。	
		職業安定所（職員）	・Go To Travelキャンペーン等の事業で、年末年始に向け観光事業等の消費が戻りつつあったが、新型コロナウイルスの感染拡大により再び冷え込むようになっている。	
		×	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に歯止めが掛かっておらず、引き続き経済活動の停滞、すなわち新聞広告量の減少が予想される。Go To Travelキャンペーンの先行きは不透明であるが、世論の反発を考えると、以前ほどの規模での再開は考えにくく、旅行関連の広告の回復も大幅には見込めない。年末年始の休暇で、人の動きが止まり、年明けに感染者数が減少すれば、状況が変わることも予想される。
		×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業の年度末決算が出ると、来期計画が大きく変わると予想され、特に早期退職や人員削減、新卒採用の見送りが出てくる。また、国の持続化給付金や家賃支援給付金等の支給が終了するとかなり大きな影響がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないところに、変異種も発見され、しばらくは企業業績も回復する見込みもない。今年新型コロナウイルス禍で採用を減らしながらもどうにか採用していた企業も、来年は縮小や見送りの動きが出てくる。

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - ：回答が存在しない、\* ：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (沖縄)		-	-
		一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスワクチンのめどが立っているので、少しずつ景気回復も見込める。
		百貨店（店舗企画）	・全国的に自粛ムードではあるが、販売側もEC販売を強化することで、物流の動きは前年を上回る傾向にある。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで次第に来客数が徐々に戻りつつあり、売上も増加するとみられる。
		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルス対処への慣れが客の動きから見受けられる。
		通信会社（営業担当）	・3月に新料金プランが開始されるまでに、他社からの乗換えが増えると見込まれる。他社への乗換えも減少傾向にあり、契約数も純増へと転じてきている。
		住宅販売会社（役員）	・年明けの3月までは引越しの繁忙期で順調に進むとみられる。
		コンビニ（経営者）	・現状の来客数は新型コロナウイルスの感染者数によって増減することもあり、第3波の影響、年末年始の行政機関の自粛要請など取り巻く環境は改善されておらず、経済回復に対するマイナス要因が多すぎる。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの影響はここしばらく続くと考えられる。また、県内感染者数の動向も県内消費に大きく影響する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は年末ということで期待をしていたが、天候の影響、新型コロナウイルス対策のための自粛などが重なっているのか、客の購買意欲は感じられず景気は悪いままである。まだ先も変わるような見通しはない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス終息のめどは立っておらず、感染者は増える一方なので景気も悪くなるとみられる。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・2021年2月以降の先行受注は前年比50%を割り込んでおり、非常に厳しい状況が続くものと予想される。Go To Travelキャンペーン一時停止の影響は大きく、早期に実施を再開していただきたい。
		住宅販売会社（代表取締役）	・今後の新型コロナウイルスの影響は見通せないが、現在の受注ペースで進むとみられる。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス禍のなかで、新規感染者の数が高止まりの状態が続くようだと、客の消費マインドの低下や節約志向がますます高まる可能性が高い。
		コンビニ（副店長）	・政府、国民が勝負の数週間を何度も経たが、新型コロナウイルスの感染者数は日々過去最多を更新している。全国民へのワクチン安定供給までは景気の上下が激しいとみられる。
		通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルス、格安モバイル、新料金プランの影響で販売が伸びない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンの開発ができない限りは、まだまだ厳しい状況は続くと思われる。国の施策もいろいろあるが、現時点では新型コロナウイルスの感染者は多くなる一方で、大変危機感を持っている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・人の動きはドーナツ化現象が起こっており、ビジネス官庁街は夜に飲食する人は全くないが、ステイホームで住宅の近く、離れた北部の観光地、離島には人が集まっている。業者の話では前年比110%以上入っている飲食店もあるとのことである。一方で離島でも新型コロナウイルス感染のクラスターの発生が始まっており、これからが懸念される。資金力のないところの閉店も始まっており、このままでは地元の中堅飲食チェーンが本土系列の大型チェーンに変わり、新型コロナウイルスの終息後の観光需要をゴッソリと持っていかれそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルスの感染者数増加、Go To Travelキャンペーン、Go To Eatキャンペーンの一時停止が大きく影響している。再開も決定していないので、先行きがみえない。
	×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの12月の販売室数は前年比21%増とプラスなのに対して、12月末時点での3月の予約室数は前年比53%減とマイナスに転じている。
	×	旅行代理店（マネージャー）	・観光業界は一度止まると回復に時間が掛かる。同業者と会話しても、負の連鎖、悪循環、振り回されてる、というようなワードしか出てこない。
	×	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、先がみえない。
企業 動向 関連  (沖縄)	-	-	-
	-	建設業（経営者）	・住宅、リフォーム以外の事業用工事の引き合い件数が増加している。
	-	窯業・土石製品製造業（経営者）	・当面横ばいが続く見通しである。
	-	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス禍における先行き景気への不安から県内企業の販促活動は、引き続き低調に推移するものとみられる。
	-	会計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの対抗ワクチンの普及状況による。
	-	食料品製造業（総務）	・Go Toキャンペーンの一時停止等で、年末から来年に向け観光関連、飲食関係の落ち込みが予想される。
	-	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては新型コロナウイルスの感染拡大で現場も戦々恐々としているが、自衛隊関連の建設工事を中心に比較的好調に推移すると考える。ただし、民需は大手企業のホテル建設は持ち直しつつあるが、中小企業のホテルやアパート等の需要は落ちている。積荷不足や船舶供給過多も影響し始めている。
	×	輸送業（経営企画室）	・Go Toキャンペーンの一時停止等の影響と再開のめどに左右されると考えられるが、悪くなると推察する。
雇用 関連  (沖縄)	-	-	-
	-	求人情報誌製作会社（営業）	・沖縄県の緊急事態宣言のあった8月以降、全体的な求人数は増減を繰り返しながら緩やかに上昇しているため、2～3か月後も上昇傾向と予測しているが、新型コロナウイルスの第3波といわれている現在の状況下では、7～8月期の感染者数を優に超えているため、仮に緊急事態宣言が発令された場合の企業活動の停滞や下降による採用活動停止も懸念される。
	-	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新年度を控えた頃には企業の採用計画が落ち着き、未達部分の採用穴埋めがあると推測する。
	-	* 人材派遣会社（総務担当）	* ・新型コロナウイルス感染者の増加が影響する。
	-	職業安定所（職員）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止決定により、雇用調整助成金の相談が増加傾向にあり、その相談内容も深刻になってきており、経済の冷え込みが感じられる。
	×	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染状況に影響されるとみられる。